

子ども・子育て支援事業計画二一ズ調査 結果報告書

令和6年11月

三 浦 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童の保護者	2
(1)	居住地域	2
(2)	お子さんご家族の状況について	3
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	6
(4)	保護者の就労状況について	10
(5)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
(6)	地域の子育て支援事業の利用状況について	39
(7)	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	54
(8)	病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	62
(9)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	73
(10)	こども誰でも通園制度について	82
(11)	小学校就学後の放課後の過ごし方について	83
(12)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	96
(13)	現状での子育て環境の満足度等について	111
(14)	子育てにかかる費用等について	118
2	小学生の保護者	119
(1)	居住地域	119
(2)	お子さんご家族の状況について	120
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	123
(4)	保護者の就労状況について	127
(5)	お子さんの病気の際の対応について	141
(6)	お子さんの放課後の過ごし方について	151
(7)	三浦市の子育て環境について	163
(8)	お子さんの子育てにかかる費用等について	171

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「三浦市こども計画」策定に当たり、計画に内包する子ども・子育て支援事業計画における需要量の見込みを設定するうえでの基礎資料とするため、また、こども計画を策定するうえで必要な資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

住民基本台帳から無作為抽出（世帯重複がないよう抽出）

就学前児童の保護者：本市在住の就学前児童の保護者

小学生の保護者：本市の小学校に通う小学生の保護者

3 調査期間

令和6年7月～令和5年8月

4 調査方法

郵送配付・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,000通	334通	33.4%
小学生の保護者	500通	291通	58.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

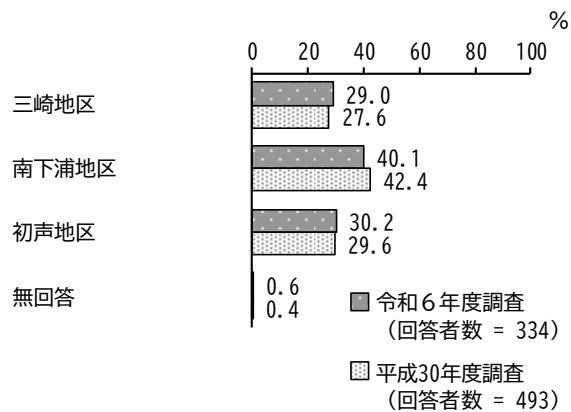
1 就学前児童の保護者

(1) 居住地域

問1 お住まいの地区（○は1つ）

「南下浦地区」の割合が40.1%と最も高く、次いで「初声地区」の割合が30.2%、「三崎地区」の割合が29.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

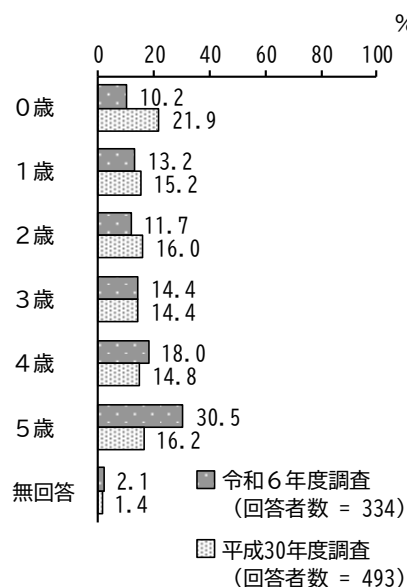


(2) お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月(数字で記入)

「5歳」の割合が30.5%と最も高く、次いで「4歳」の割合が18.0%、「3歳」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5歳」の割合が増加しています。一方、「0歳」の割合が減少しています。



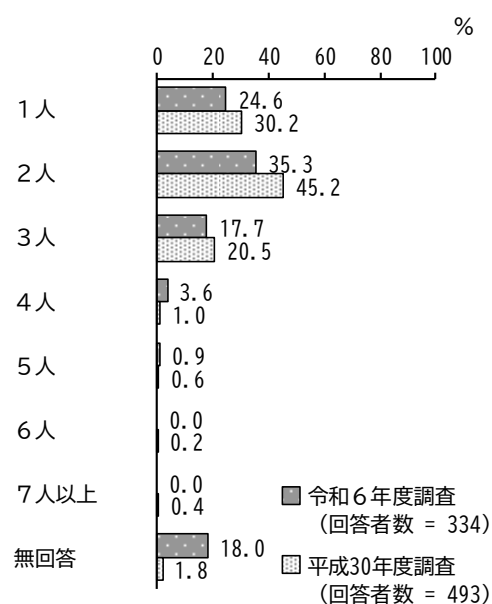
問3 あて名のお子さんのきょうだいはあて名のお子さんを含めて何人ですか。(数字で記入)

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

「2人」の割合が35.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が24.6%、「3人」の割合が17.7%となっています。

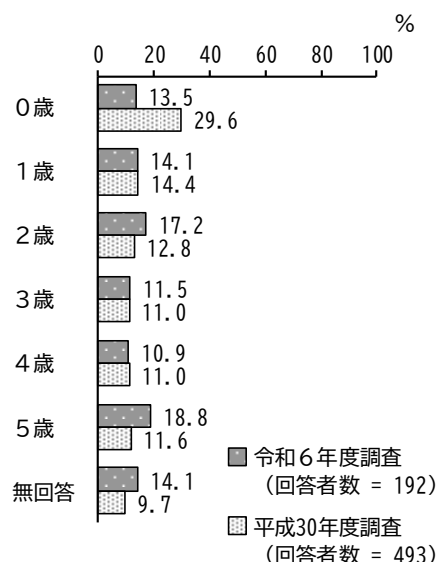
平成30年度調査と比較すると、「1人」「2人」の割合が減少しています。



末子の年齢

「5歳」の割合が18.8%と最も高く、次いで「2歳」の割合が17.2%、「1歳」の割合が14.1%となっています。

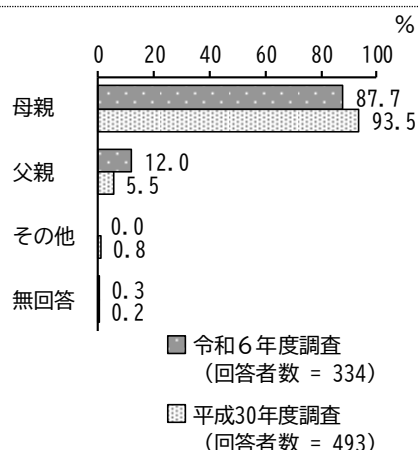
平成30年度調査と比較すると、「5歳」の割合が増加しています。一方、「0歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はあて名のお子さんからみてどなたですか。
(○は1つ)

「母親」の割合が87.7%、「父親」の割合が12.0%となっています。

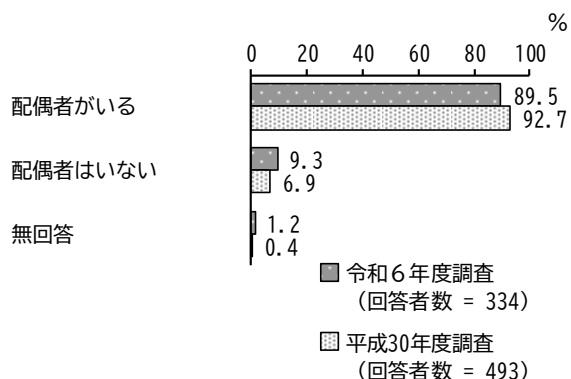
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。
(○は1つ)

「配偶者がいる」の割合が89.5%、「配偶者はいない」の割合が9.3%となっています。

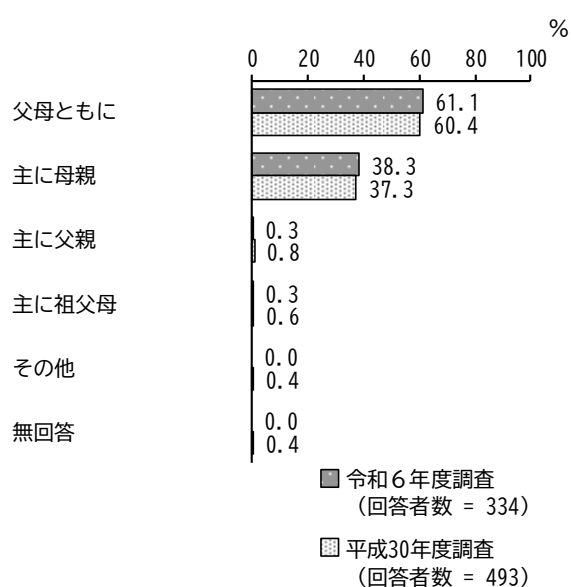
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはあて名のお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）

「父母ともに」の割合が61.1%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が38.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

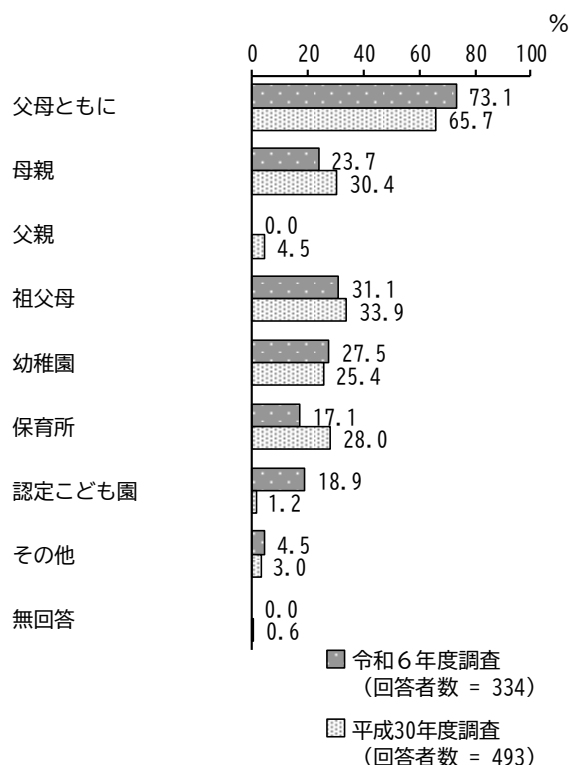


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はあて名のお子さんからみてどなた（施設）ですか。（○はいくつでも）

「父母ともに」の割合が73.1%と最も高く、次いで「祖父母」の割合が31.1%、「幼稚園」の割合が27.5%となっています。

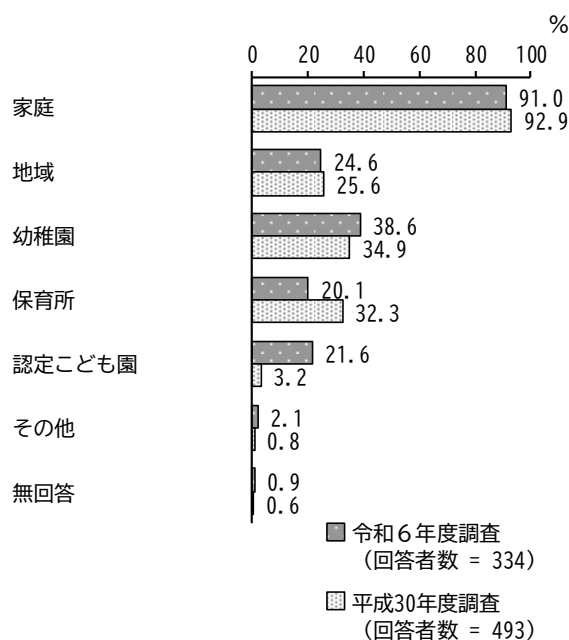
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「母親」「保育所」の割合が減少しています。



問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。（○はいくつでも）

「家庭」の割合が91.0%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が38.6%、「地域」の割合が24.6%となっています。

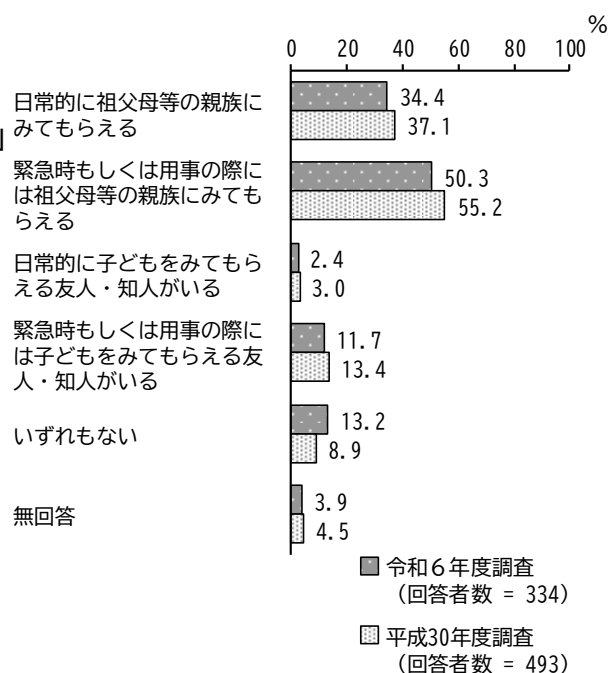
平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「保育所」の割合が減少しています。



問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(〇はいくつでも)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が50.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が34.4%、「いずれもない」の割合が13.2%となっています。

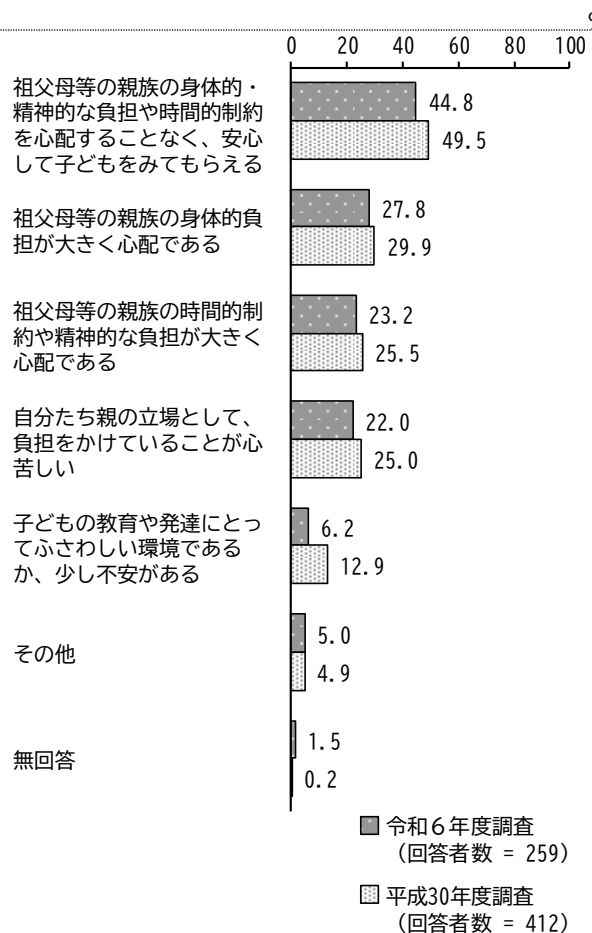
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に回答された方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(〇はいくつでも)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が44.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が27.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が23.2%となっています。

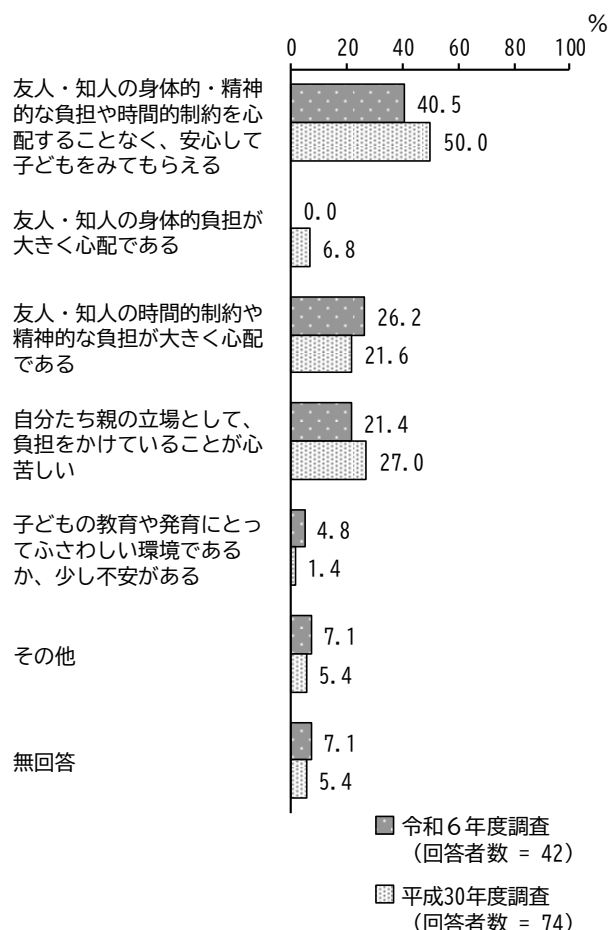
平成30年度調査と比較すると、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」の割合が減少しています。



問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に回答された方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(〇はいくつでも)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が40.5%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が26.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.4%となっています。

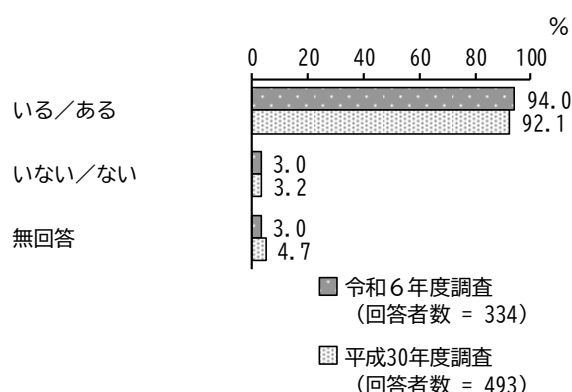
平成30年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

「いる／ある」の割合が94.0%、「いない／ない」の割合が3.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

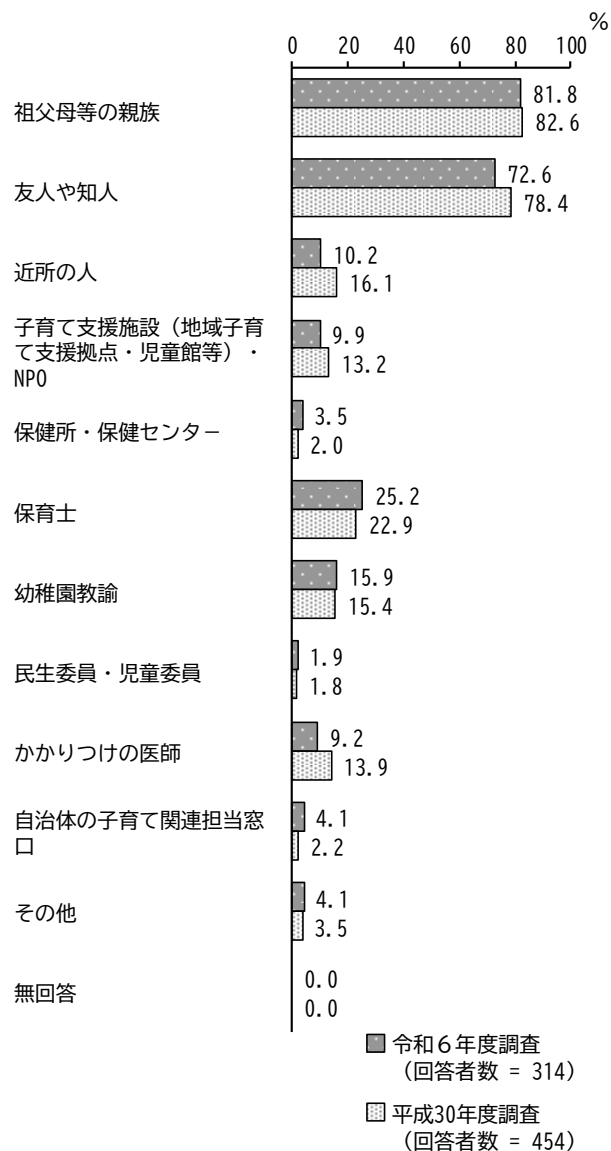


問 10－1 問 10 で「いる／ある」に回答された方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

「祖父母等の親族」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 72.6%、「保育士」の割合が 25.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」「近所の人」の割合が減少しています。



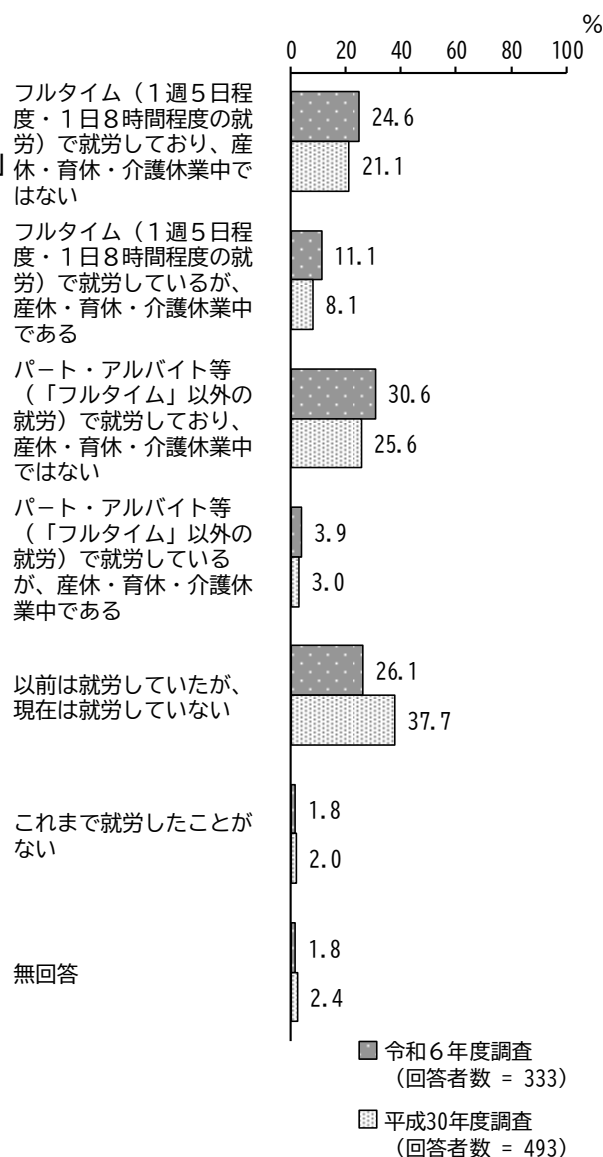
(4) 保護者の就労状況について

問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業者を含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 26.1%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 24.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



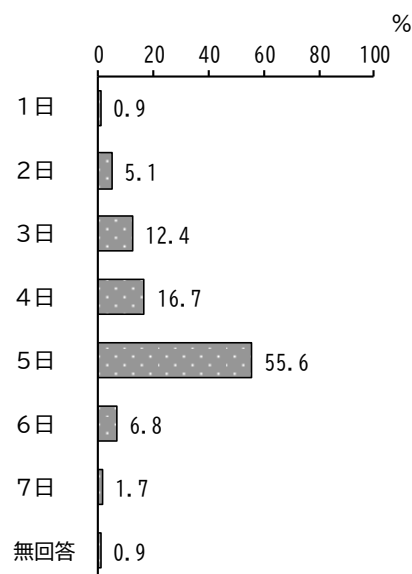
(1) - 1 (1)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(数字を記入)

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が55.6%と最も高く、次いで
「4日」の割合が16.7%、「3日」の割合が12.4%
となっています。

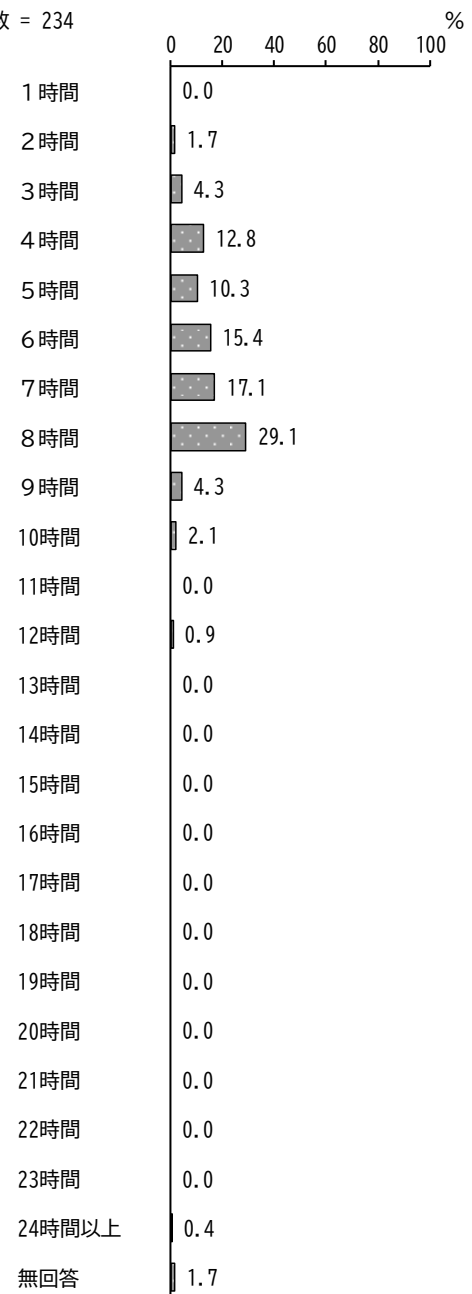
回答者数 = 234



1 日当たりの就労時間

「8時間」の割合が29.1%と最も高く、次いで「7時間」の割合が17.1%、「6時間」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 234



(1)-2 (1)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

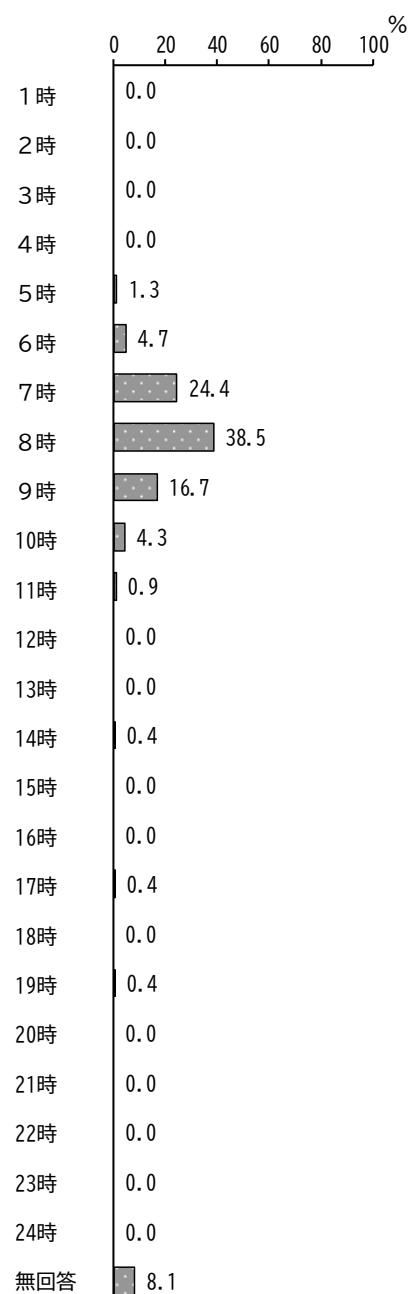
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(数字を記入)

家を出る時刻

回答者数 = 234

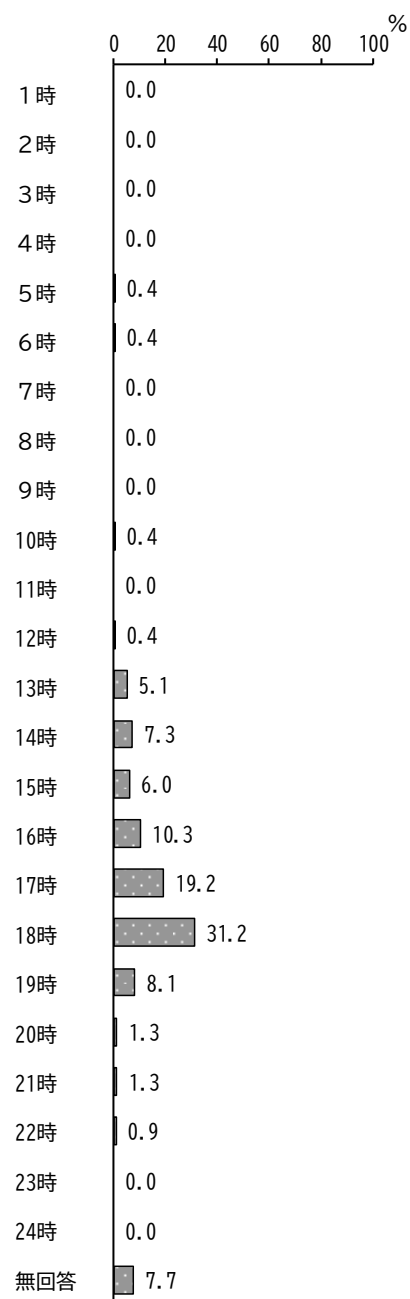
「8時」の割合が 38.5%と最も高く、次いで
「7時」の割合が 24.4%、「9時」の割合が 16.7%
となっています。



帰宅時刻

回答者数 = 234

「18 時」の割合が 31.2%と最も高く、次いで
「17 時」の割合が 19.2%、「16 時」の割合が 10.3%
となっています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である

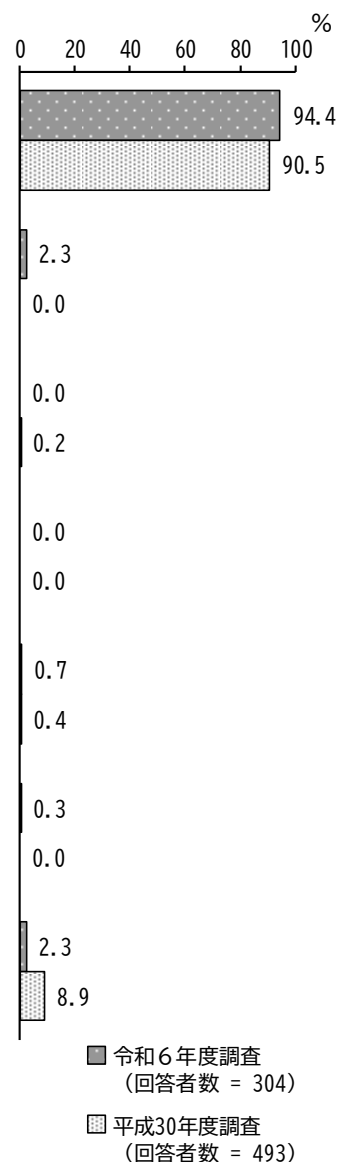
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



(2) - 1 (2)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

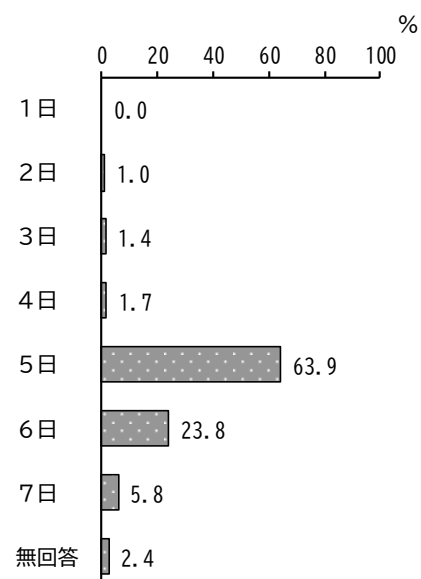
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(数字を記入)

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が63.9%と最も高く、次いで 回答者数 = 294

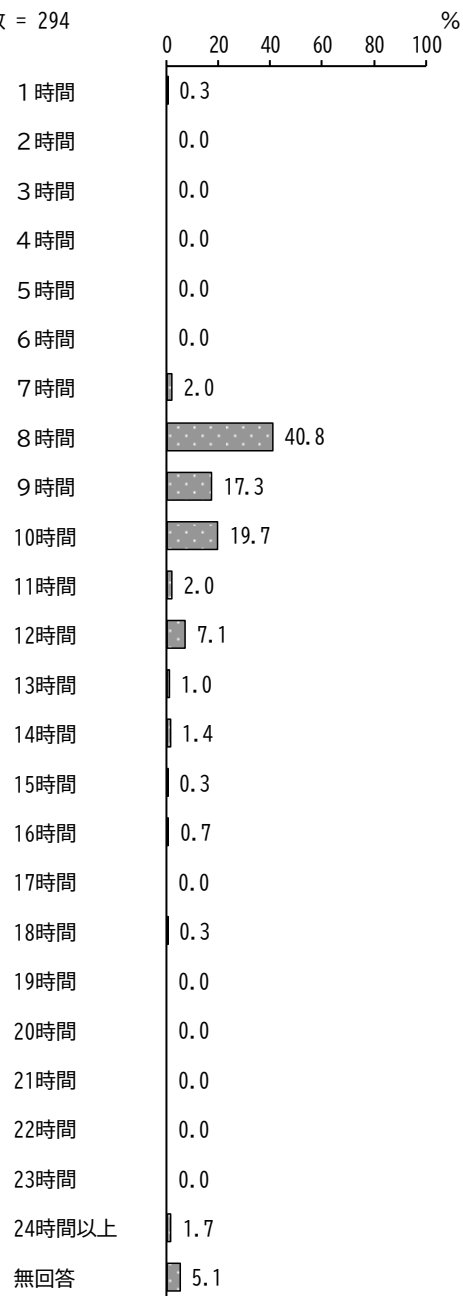
「6日」の割合が23.8%となっています。



1 日当たりの就労時間

「8時間」の割合が40.8%と最も高く、次いで「10時間」の割合が19.7%、「9時間」の割合が17.3%となっています。

回答者数 = 294



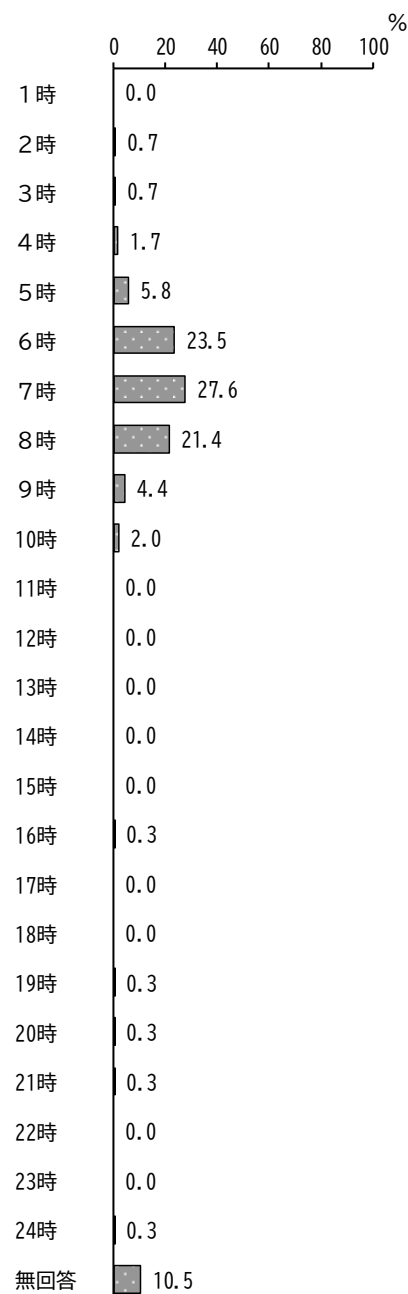
(2) - 2 (2)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻

回答者数 = 294

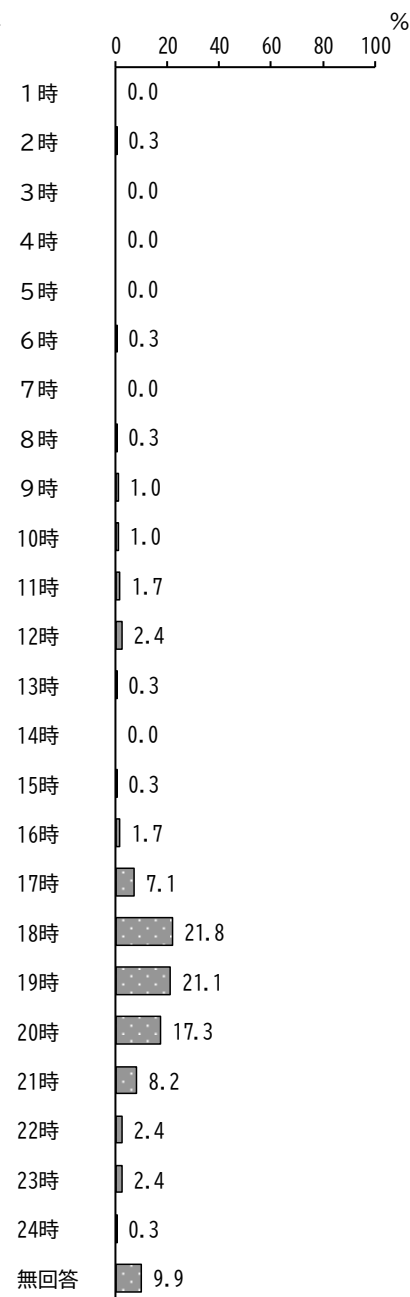
「7時」の割合が27.6%と最も高く、次いで「6時」の割合が23.5%、「8時」の割合が21.4%となっています。



帰宅時刻

「18 時」の割合が 21.8%と最も高く、次いで
「19 時」の割合が 21.1%、「20 時」の割合が 17.3%
となっています。

回答者数 = 294

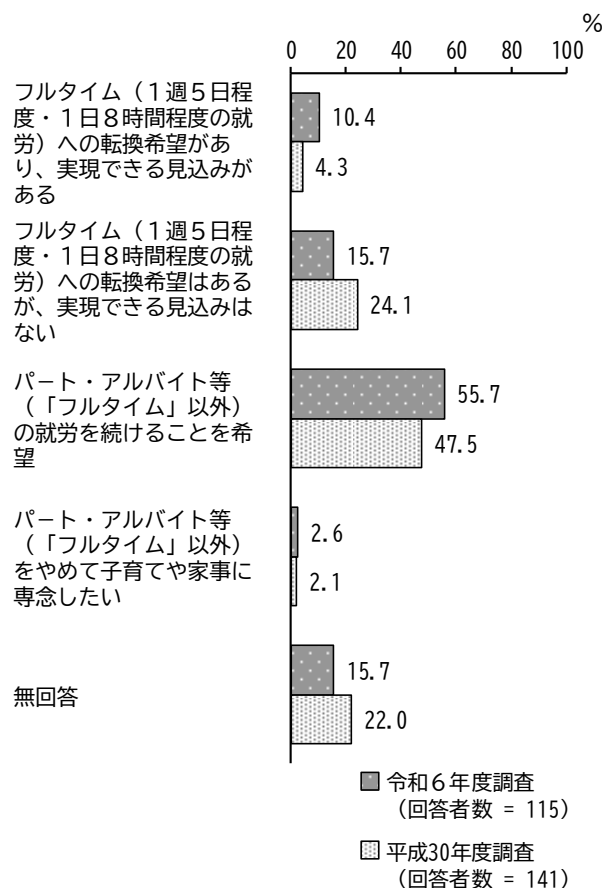


問13 問12の(1)または(2)で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」・「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に回答された方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が55.7%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が15.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。



(2) 父親

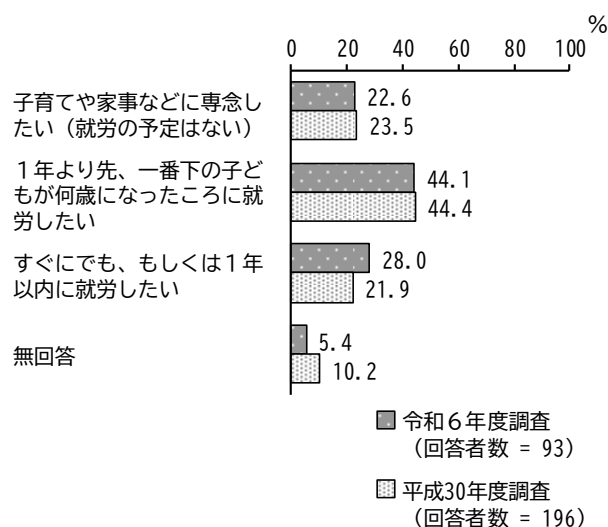
有効回答がありませんでした。

問 14 問 12 の（１）または（２）で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に回答された方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。（それぞれ○は１つ）（□内に数字を記入）

（１）母親

「１年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が 28.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 22.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が増加しています。

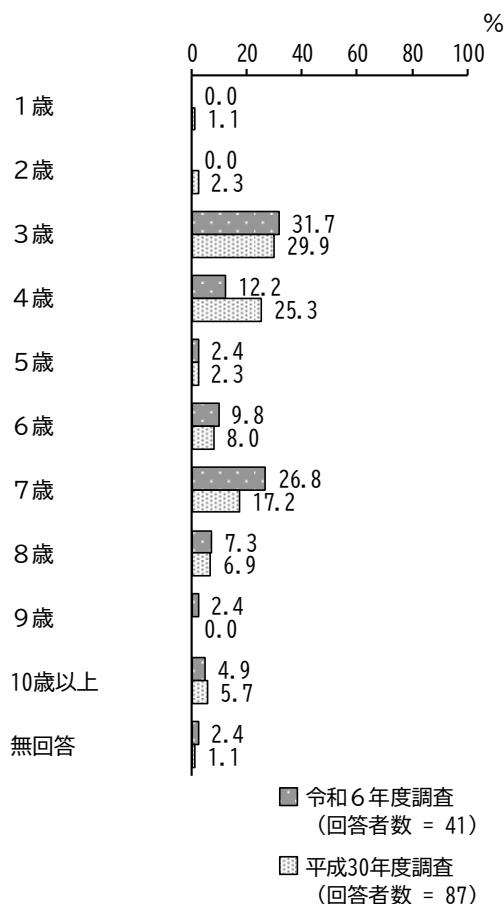


就労したい時の末子の年齢

（「１年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」と回答した方のみ）

「３歳」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「７歳」の割合が 26.8%、「４歳」の割合が 12.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「７歳」の割合が増加しています。一方、「４歳」の割合が減少しています。



希望する就労形態（「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ）

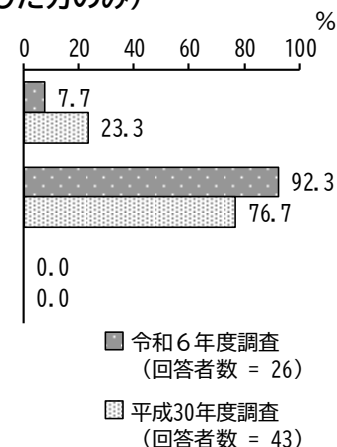
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が7.7%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が92.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等」の割合が増加しています。

フルタイム
（1週5日程度・
1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等

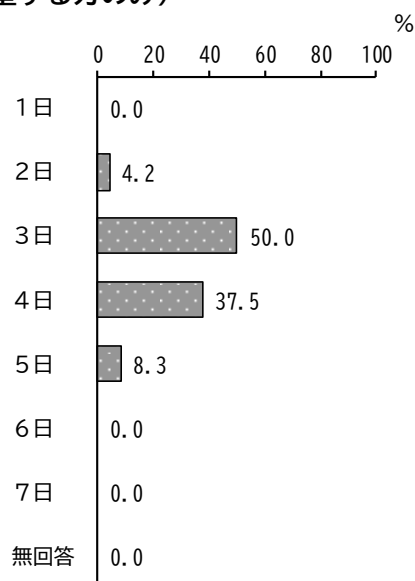
無回答



1週当たりの希望日数（「パートタイム、アルバイト等」の勤務を希望する方のみ）

「3日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が37.5%となっています。

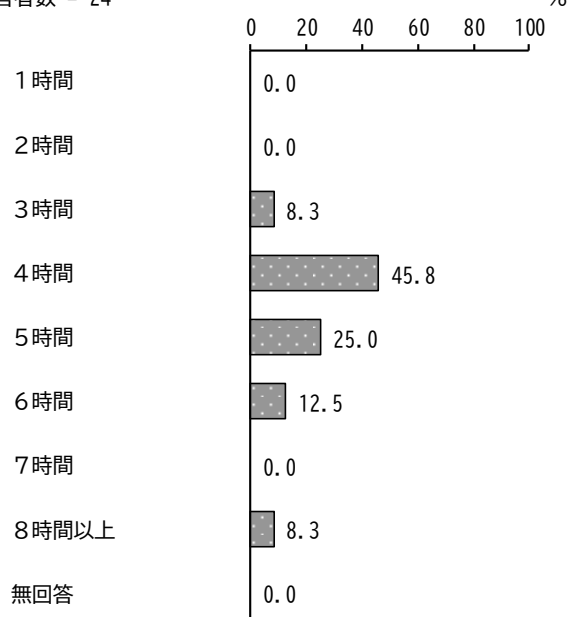
回答者数 = 24



1日当たりの希望時間（「パートタイム、アルバイト等」の勤務を希望する方のみ）

「4時間」の割合が45.8%と最も高く、次いで「5時間」の割合が25.0%、「6時間」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 24



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

就労したい時の末子の年齢

(「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」と回答した方のみ)
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態(「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が1件となっています。

1週当たりの希望日数(「パートタイム、アルバイト等」の勤務を希望する方のみ)

有効回答がありませんでした。

1日当たりの希望時間(「パートタイム、アルバイト等」の勤務を希望する方のみ)

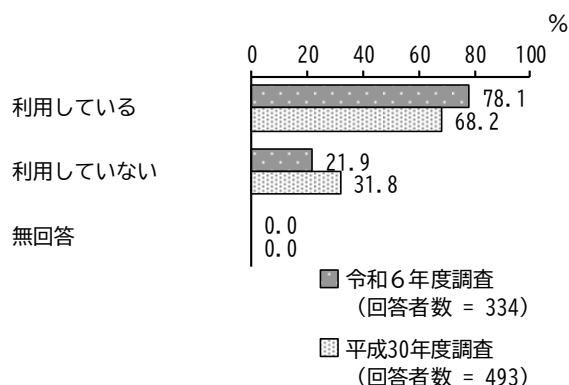
有効回答がありませんでした。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が78.1%、「利用していない」の割合が21.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。

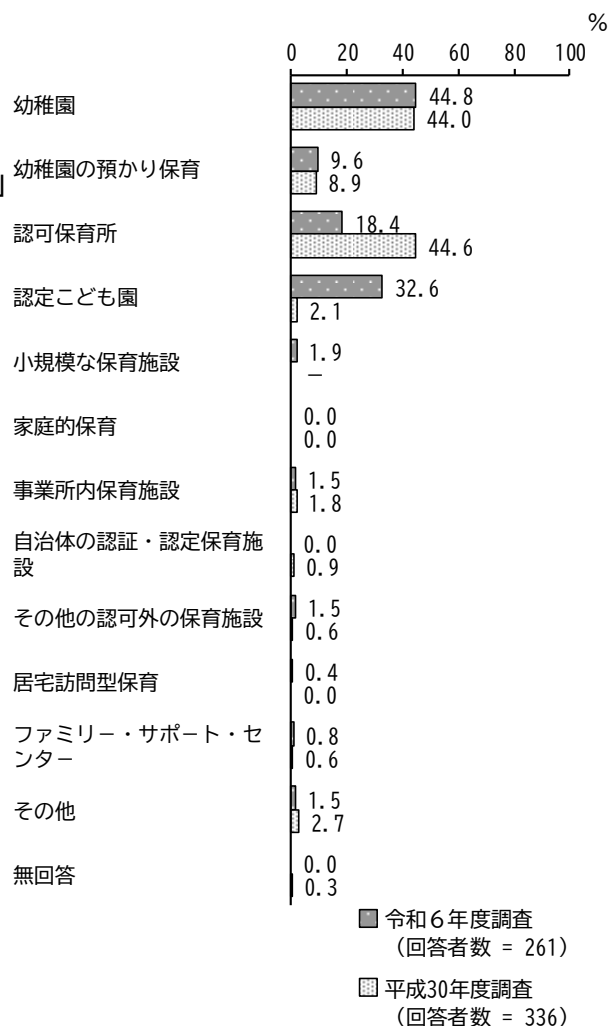


問 15-1 問 15-1～問 15-4は、問 15 で「利用している」に回答された方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。(○はいくつでも)

「幼稚園」の割合が44.8%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が32.6%、「認可保育所」の割合が18.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「認可保育所」の割合が減少しています。



※前回調査では、「小規模な保育施設」の選択肢はありませんでした。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	261	44.8	9.6	18.4	32.6	1.9	—	1.5	—	1.5	0.4	0.8	1.5	—
0歳	9	—	—	55.6	11.1	—	—	22.2	—	22.2	11.1	11.1	—	—
1歳	16	12.5	6.3	18.8	56.3	6.3	—	—	—	—	—	—	—	—
2歳	28	21.4	—	25.0	50.0	—	—	—	—	—	—	3.6	—	—
3歳	46	45.7	4.3	15.2	37.0	2.2	—	2.2	—	2.2	—	—	4.3	—
4歳	59	47.5	11.9	16.9	30.5	3.4	—	1.7	—	—	—	—	1.7	—
5歳	101	58.4	13.9	15.8	24.8	1.0	—	—	—	1.0	—	—	1.0	—

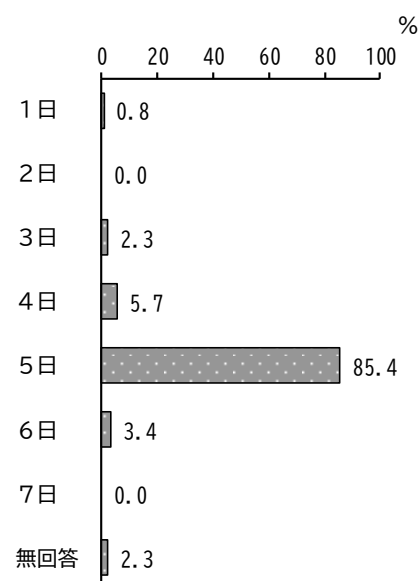
問 15－2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(問 15－1 で複数選択した場合は、合計を記載してください) 1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで) かをお答えください。(数字を記入)

(1) 現在

1 週当たり利用日数

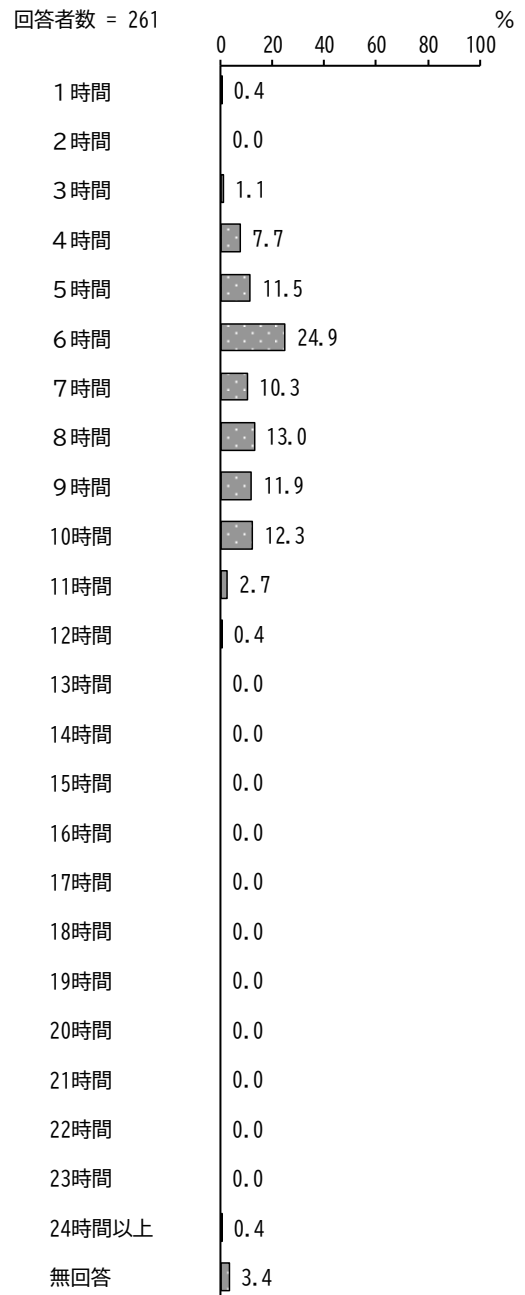
「5日」の割合が 85.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 261



1日当たりの利用時間

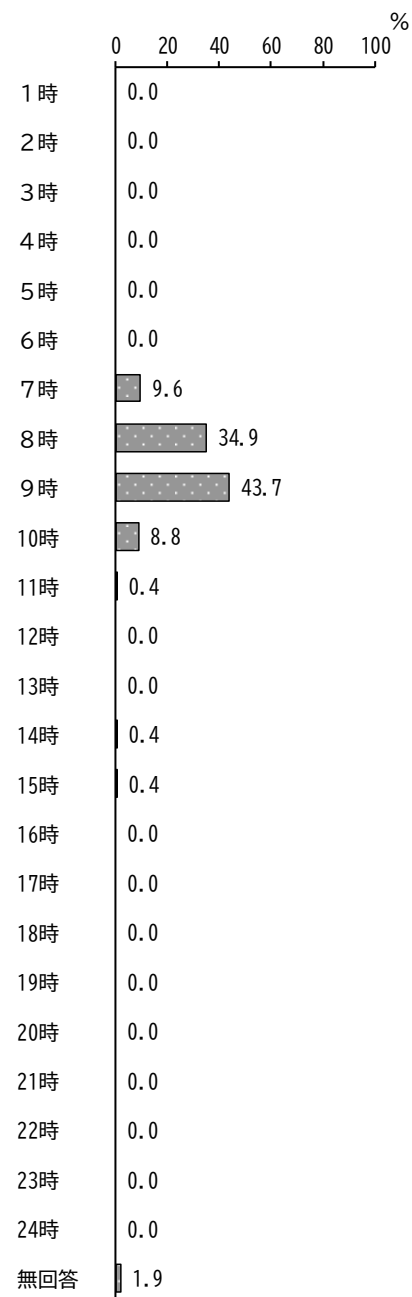
「6時間」の割合が24.9%と最も高く、次いで「8時間」の割合が13.0%、「10時間」の割合が12.3%となっています。



利用開始時刻

「9時」の割合が 43.7%と最も高く、次いで
「8時」の割合が 34.9%となっています。

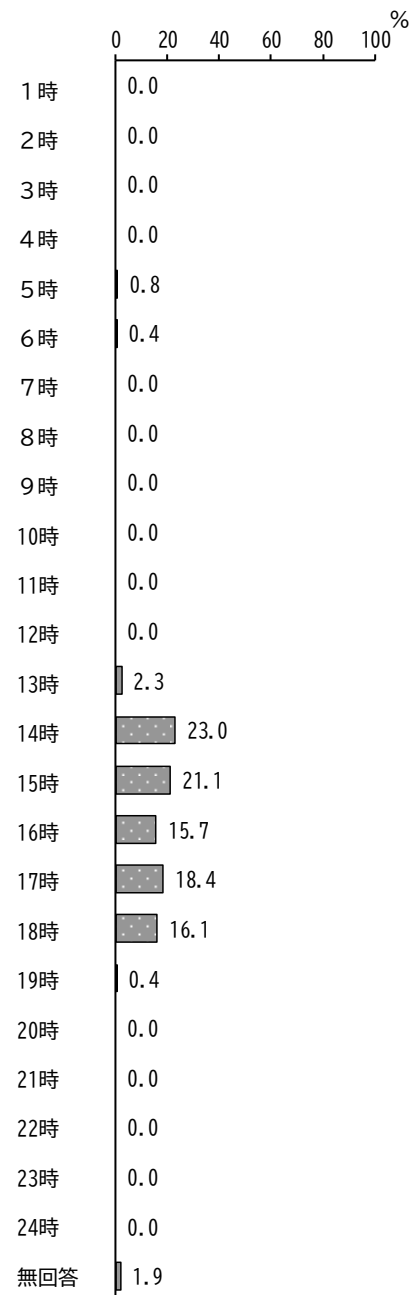
回答者数 = 261



利用終了時刻

「14 時」の割合が 23.0%と最も高く、次いで
「15 時」の割合が 21.1%、「17 時」の割合が 18.4%
となっています。

回答者数 = 261

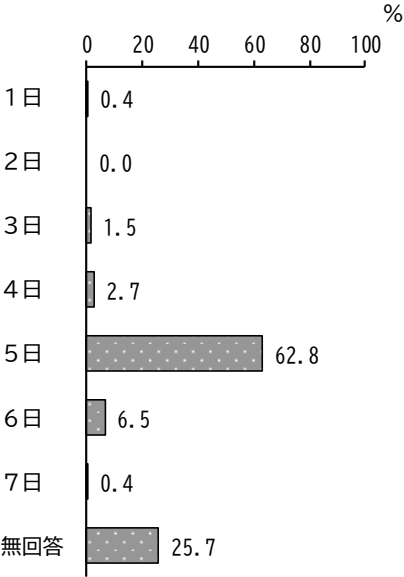


(2) 希望

1週当たり利用日数

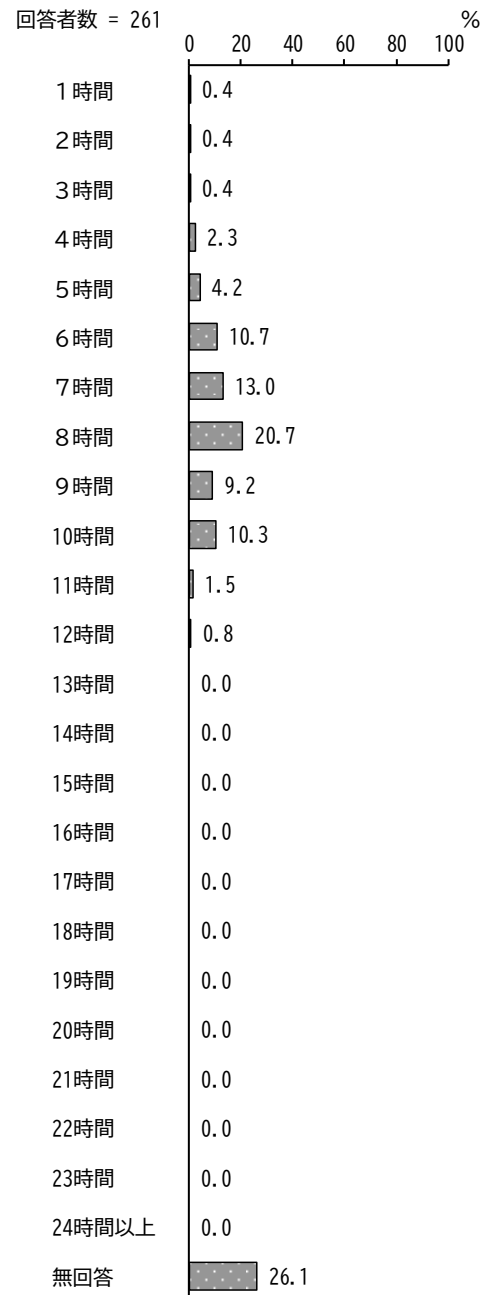
「5日」の割合が62.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 261



1日当たりの利用時間

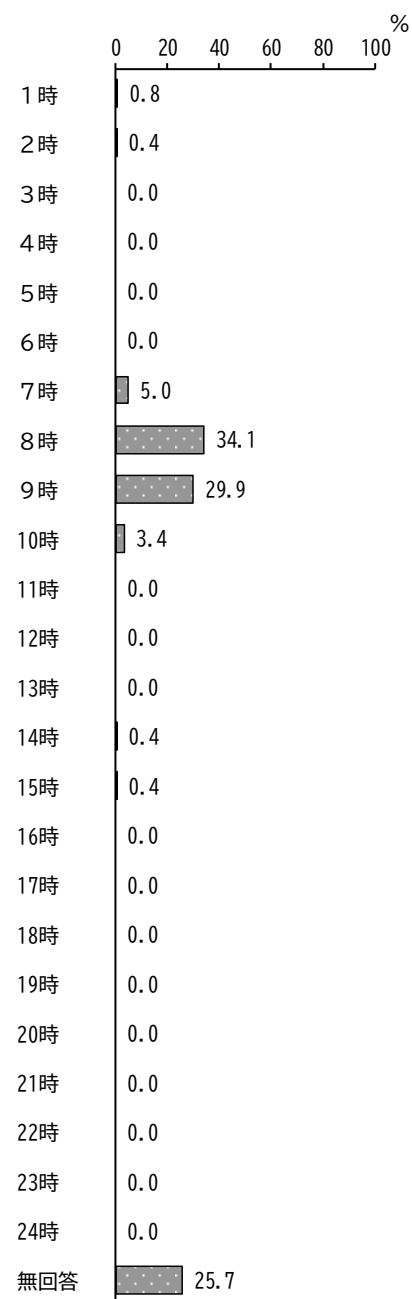
「8時間」の割合が20.7%と最も高く、次いで「7時間」の割合が13.0%、「6時間」の割合が10.7%となっています。



利用開始時刻

回答者数 = 261

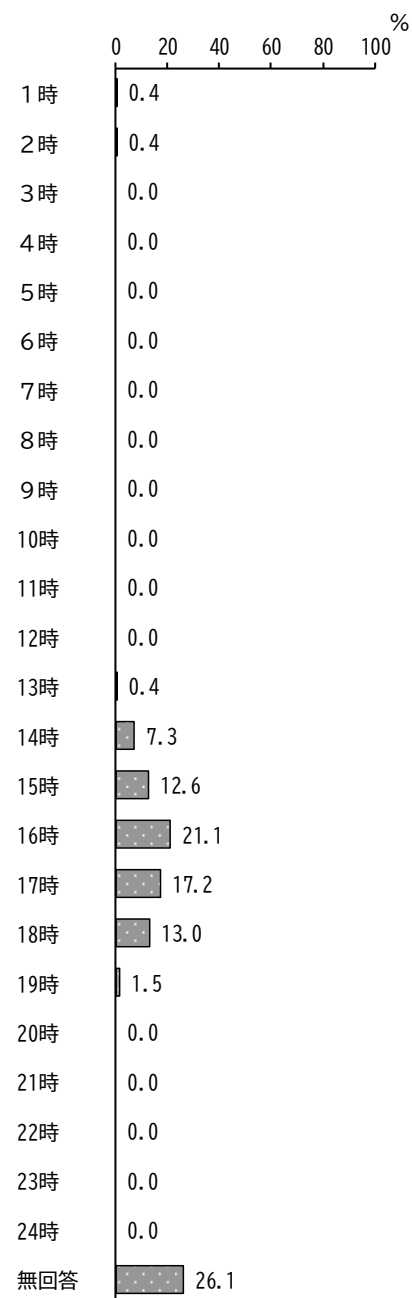
「8時」の割合が 34.1%と最も高く、次いで
「9時」の割合が 29.9%となっています。



利用終了時刻

「16 時」の割合が 21.1%と最も高く、次いで
「17 時」の割合が 17.2%、「18 時」の割合が 13.0%
となっています。

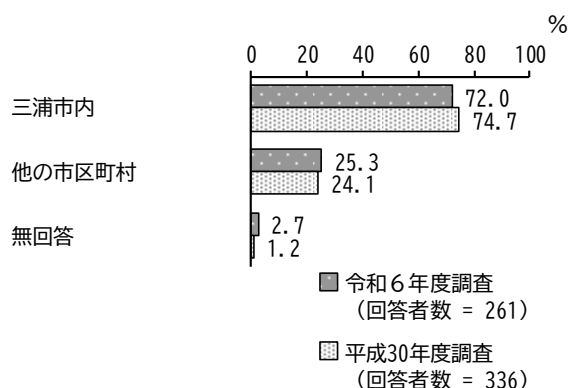
回答者数 = 261



問 15－3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(○は1つ)

「三浦市内」の割合が 72.0%、「他の市区町村」の割合が 25.3%となっています。

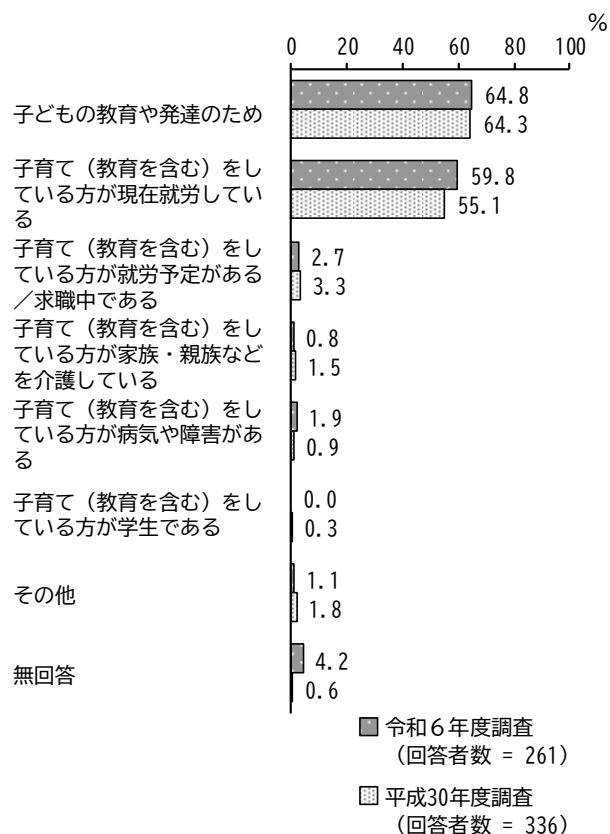
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15－4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

「子どもの教育や発達のため」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 59.8%となっています。

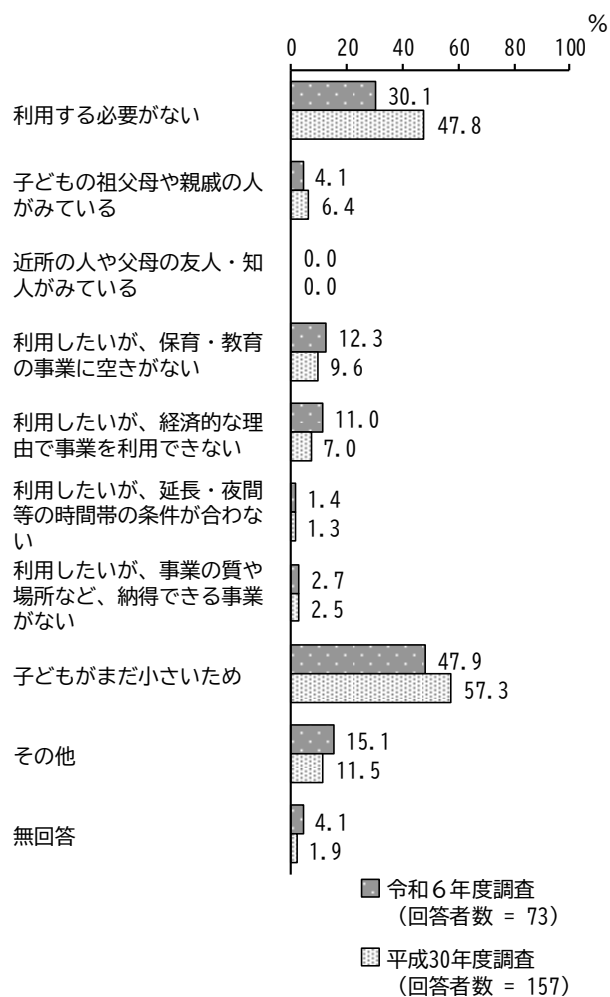
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15－5 問 15 で「利用していない」に回答された方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

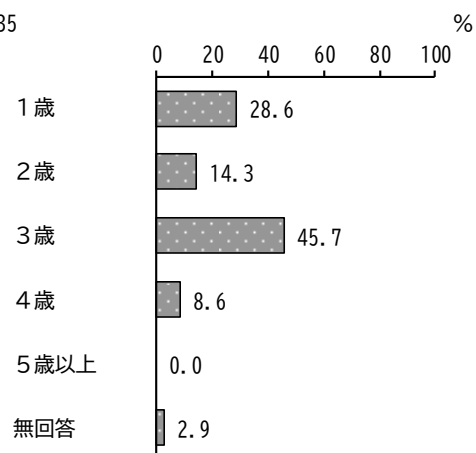
「子どもがまだ小さいため」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「利用する必要がない」の割合が 30.1%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 12.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がない」「子どもがまだ小さいため」の割合が減少しています。



何歳になったら利用したいか（「子どもがまだ小さいため」と回答した方のみ）

「3歳」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 28.6%、「2歳」の割合が 14.3%となっています。

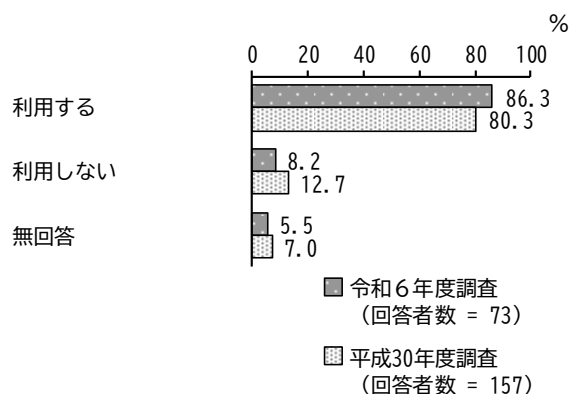


問 15－6 問 15 で「利用していない」に回答された方にうかがいます。

幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、教育・保育の事業を利用しますか。(○は1つ)

「利用する」の割合が 86.3%、「利用しない」の割合が 8.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する」の割合が増加しています。

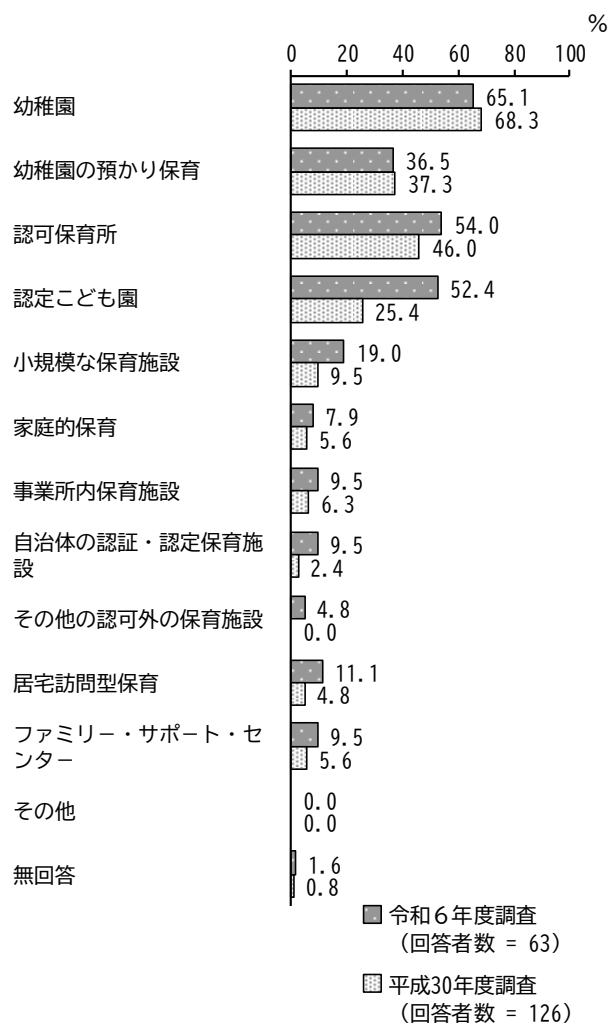


問 15－7 問 15－6 で「利用する」に回答された方にうかがいます。

幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、平日、定期的にどのような教育・保育の事業を希望しますか。(○はいくつでも)

「幼稚園」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 54.0%、「認定こども園」の割合が 52.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所」「認定こども園」「小規模な保育施設」「自治体の認証・認定保育施設」「居宅訪問型保育」の割合が増加しています。

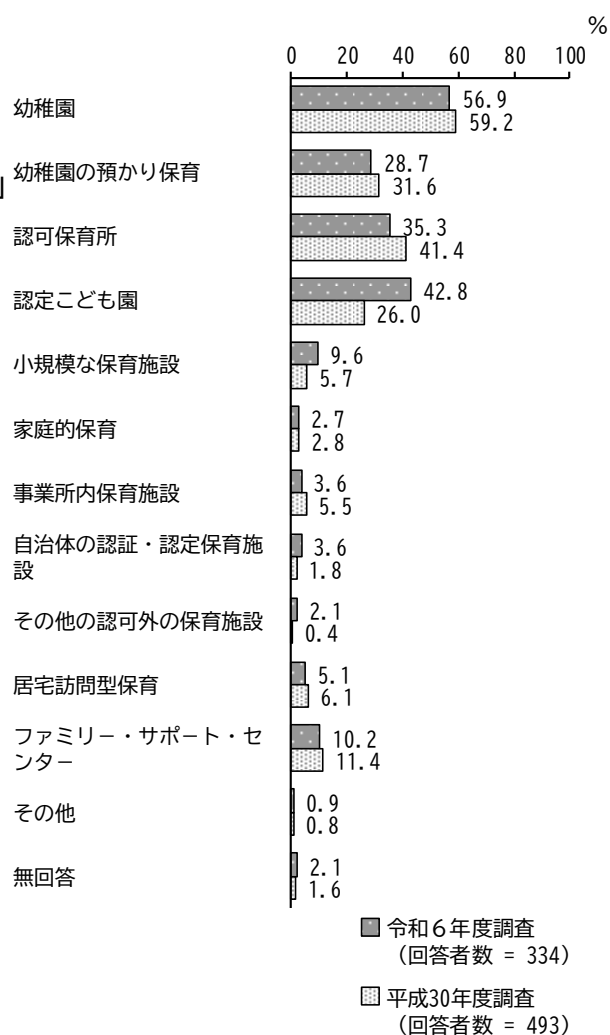


問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。
(〇はいくつでも)

「幼稚園」の割合が 56.9%と最も高く、次いで
「認定こども園」の割合が 42.8%、「認可保育所」
の割合が 35.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」
の割合が増加しています。一方、「認可保育所」の
割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	334	56.9	28.7	35.3	42.8	9.6	2.7	3.6	3.6	2.1	5.1	10.2	0.9	2.1
0歳	34	52.9	23.5	64.7	47.1	20.6	2.9	2.9	5.9	8.8	11.8	8.8	—	—
1歳	44	72.7	29.5	56.8	54.5	6.8	—	4.5	—	4.5	4.5	6.8	—	—
2歳	39	48.7	28.2	38.5	59.0	20.5	5.1	5.1	5.1	—	7.7	10.3	—	5.1
3歳	48	54.2	27.1	29.2	45.8	6.3	2.1	2.1	8.3	2.1	4.2	14.6	—	2.1
4歳	60	48.3	25.0	28.3	35.0	5.0	6.7	3.3	—	—	5.0	13.3	5.0	1.7
5歳	102	60.8	30.4	23.5	33.3	6.9	1.0	3.9	3.9	1.0	2.9	8.8	—	2.9

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

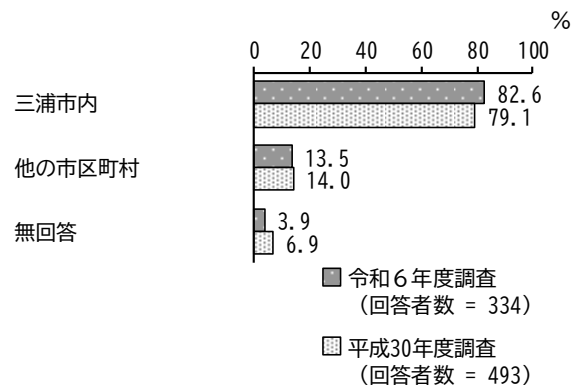
単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	333	57.1	28.8	35.4	42.6	9.6	2.7	3.6	3.6	2.1	5.1	10.2	0.9	2.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	82	29.3	23.2	48.8	57.3	8.5	3.7	6.1	3.7	2.4	8.5	13.4	2.4	2.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	37	48.6	29.7	48.6	51.4	13.5	—	5.4	5.4	8.1	5.4	13.5	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	102	54.9	25.5	32.4	38.2	7.8	2.9	2.0	1.0	—	2.9	9.8	1.0	2.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	13	46.2	38.5	38.5	69.2	7.7	—	—	—	—	—	7.7	—	7.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	87	88.5	36.8	21.8	29.9	12.6	3.4	3.4	5.7	2.3	5.7	6.9	—	2.3
これまで就労したことがない	6	100.0	50.0	—	—	—	—	—	16.7	—	—	16.7	—	—

問 16－1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

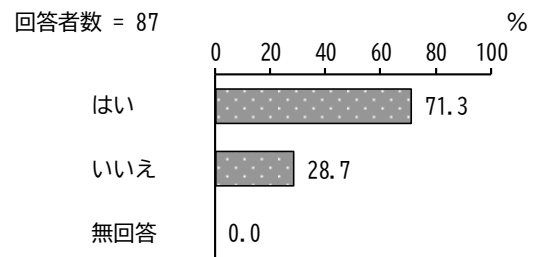
「三浦市内」の割合が 82.6%、「他の市区町村」の割合が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16－2 問 16 で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所」～「その他」いずれかに○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 71.3%、「いいえ」の割合が 28.7%となっています。

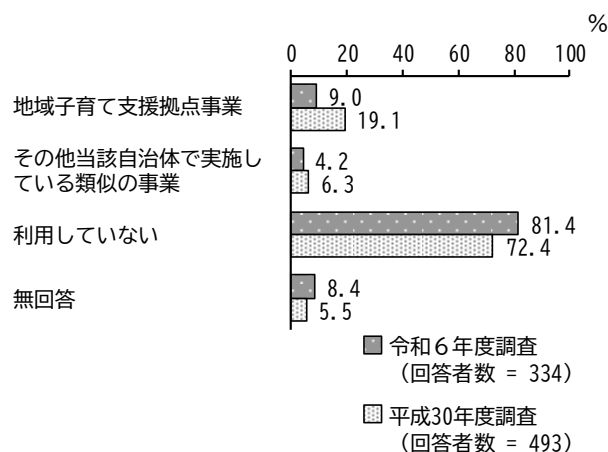


(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（〇はいくつでも）また、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（数字を記入）

「利用していない」の割合が81.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「地域子育て支援拠点事業」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、5歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

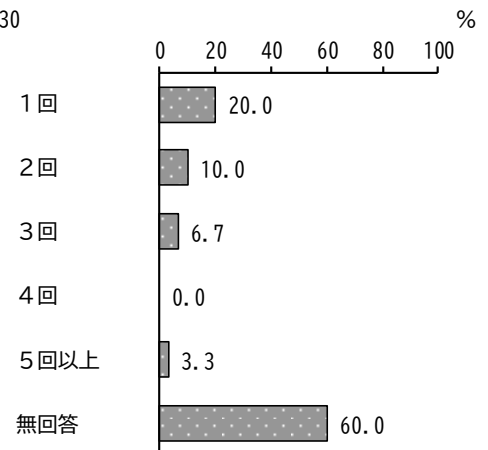
区分	回答者数(件)	地域子育て支援拠点事業	その他当該自治体で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全 体	334	9.0	4.2	81.4	8.4
0歳	34	20.6	5.9	73.5	5.9
1歳	44	18.2	11.4	70.5	9.1
2歳	39	7.7	10.3	79.5	5.1
3歳	48	12.5	6.3	77.1	10.4
4歳	60	5.0	—	85.0	10.0
5歳	102	2.9	—	88.2	8.8

地域子育て支援拠点事業

1週当たり利用回数

「1回」の割合が20.0%と最も高く、次いで
「2回」の割合が10.0%となっています。

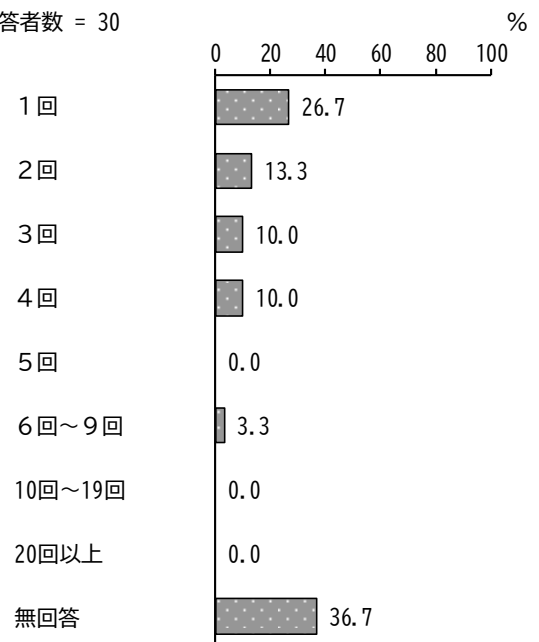
回答者数 = 30



1ヶ月当たり利用回数

「1回」の割合が26.7%と最も高く、次いで
「2回」の割合が13.3%、「3回」、「4回」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 30

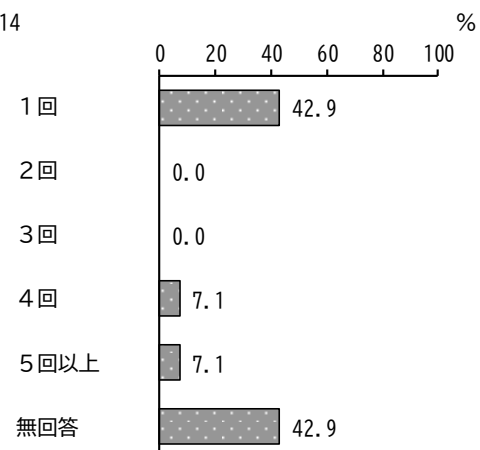


その他当該自治体で実施している類似の事業

1 週当たり利用回数

「1 回」の割合が 42.9%と最も高くなっています。

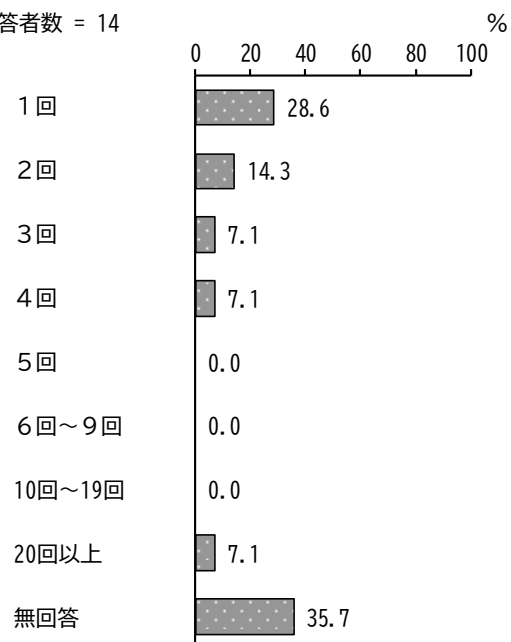
回答者数 = 14



1 ヶ月当たり利用回数

「1 回」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 14.3%となっています。

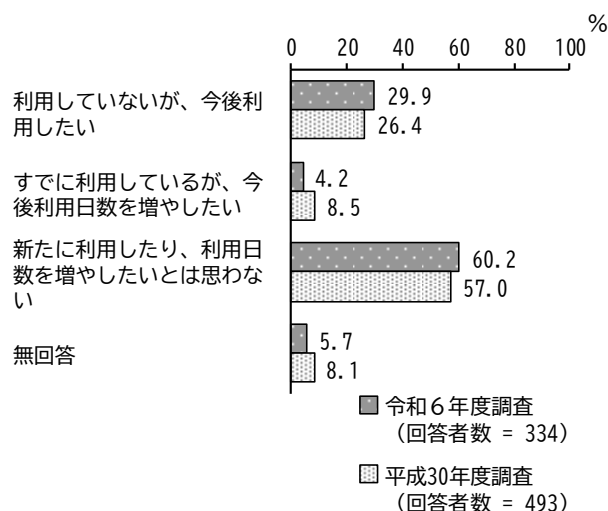
回答者数 = 14



問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（○は1つ）
また、おおよその利用希望回数（頻度）をお答えください。（数字を記入）

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 29.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、5歳で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

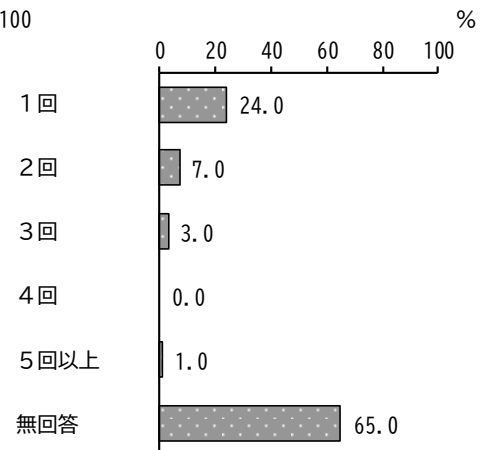
区分	回答者数(件)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全 体	334	29.9	4.2	60.2	5.7
0 歳	34	35.3	17.6	47.1	—
1 歳	44	36.4	6.8	52.3	4.5
2 歳	39	35.9	2.6	56.4	5.1
3 歳	48	27.1	4.2	60.4	8.3
4 歳	60	40.0	1.7	53.3	5.0
5 歳	102	17.6	1.0	73.5	7.8

利用していないが、今後利用したい

週当たり利用回数

「1回」の割合が24.0%と最も高くなっています。

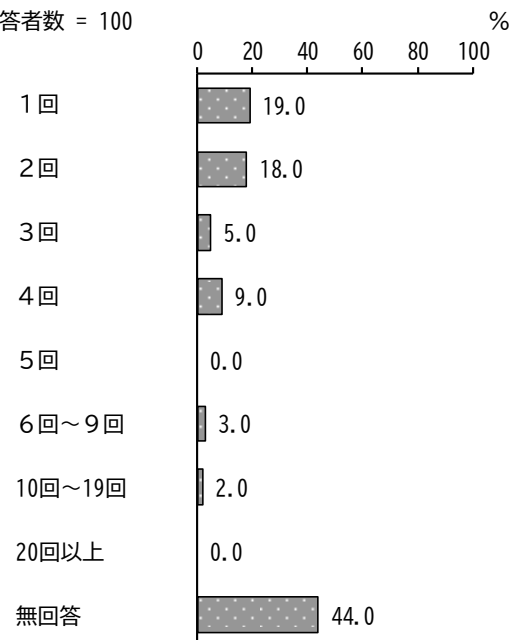
回答者数 = 100



1ヶ月当たり利用回数

「1回」の割合が19.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.0%となっています。

回答者数 = 100

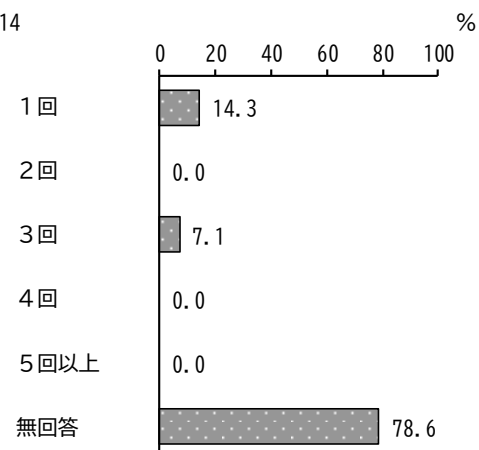


すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

週当たりの増やしたい利用回数

「1回」の割合が14.3%と最も高くなっています。

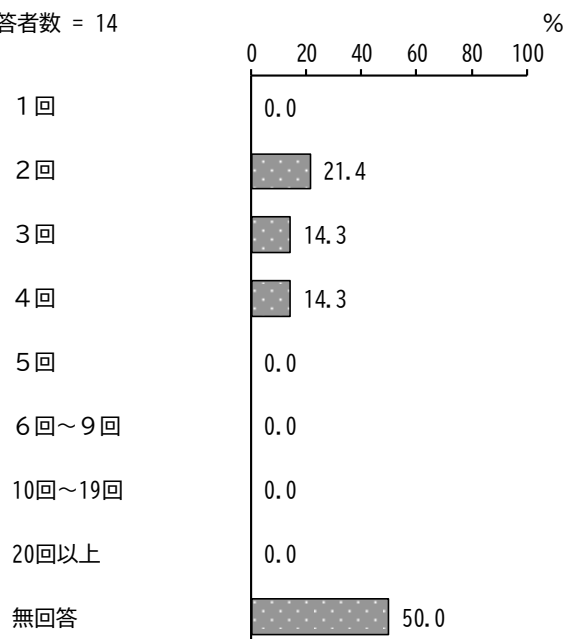
回答者数 = 14



1ヶ月当たりの増やしたい利用回数

「2回」の割合が21.4%と最も高く、次いで「3回」、「4回」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 14



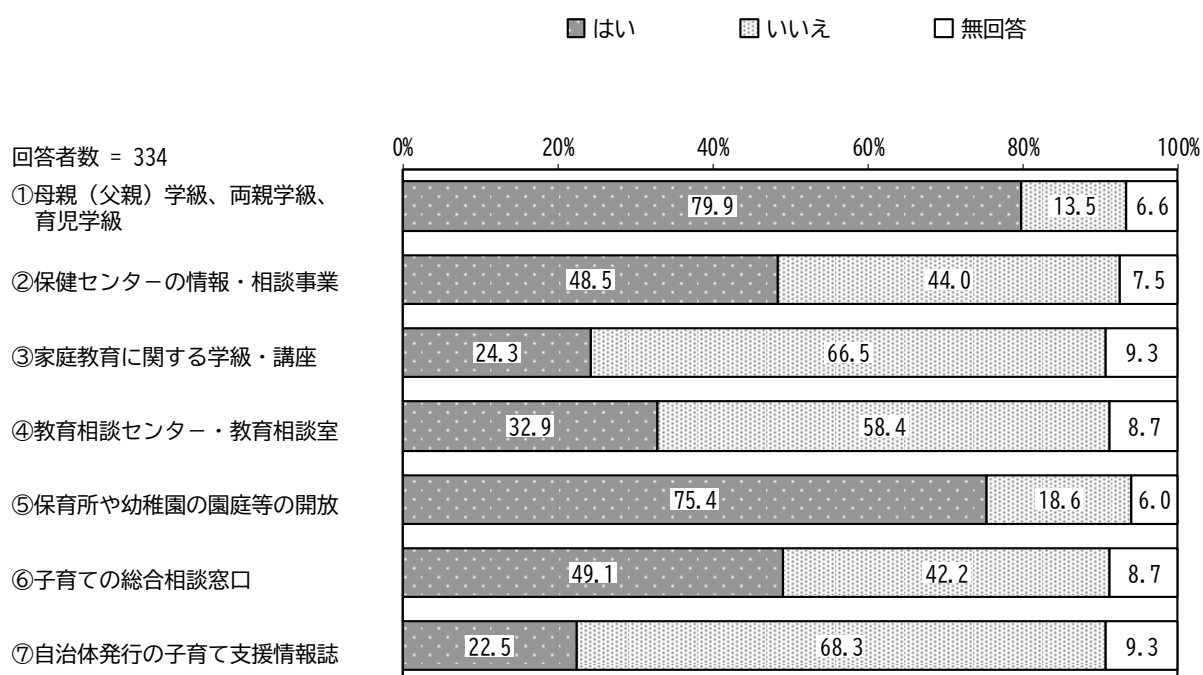
問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答え下さい。

(①～⑦の事業ごとにA、B、Cそれぞれ○は1つ) なお、事業によっては、三浦市で実施されていないものもあります。

A知っている

『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』、『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高く、70%を超えています。

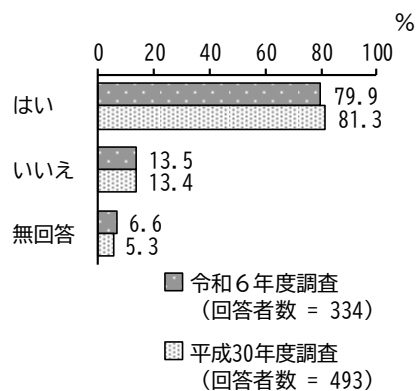
一方、『③家庭教育に関する学級・講座』、『⑦自治体発行の子育て支援情報誌』で「はい」の割合が低く、20%台となっています。



【令和 30 年度調査との比較】

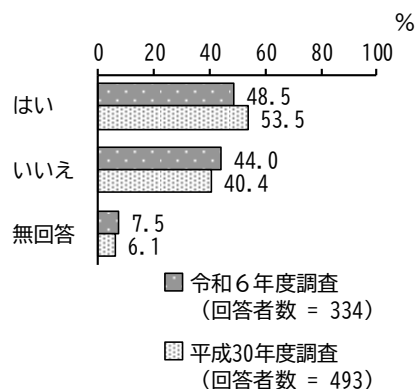
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



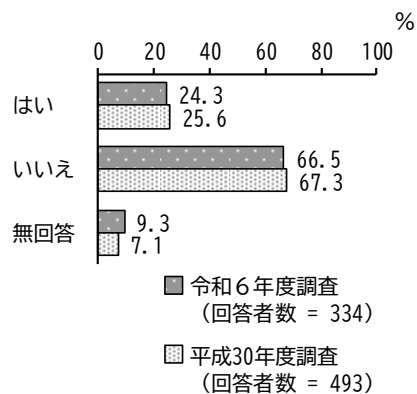
②保健センターの情報・相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



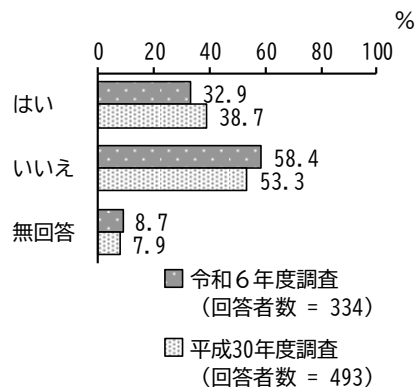
③家庭教育に関する学級・講座

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



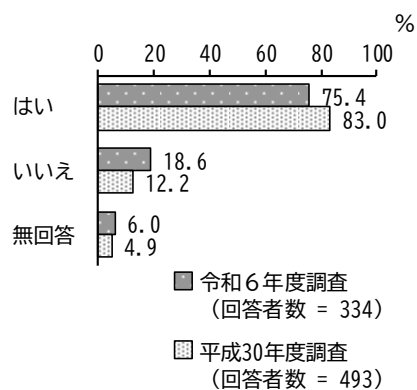
④教育相談センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



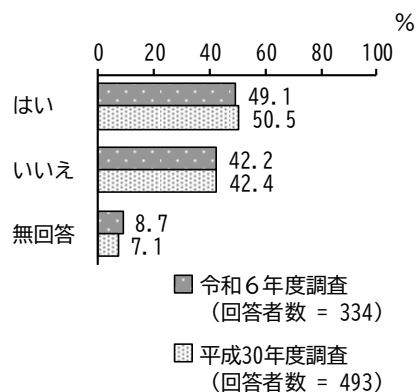
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



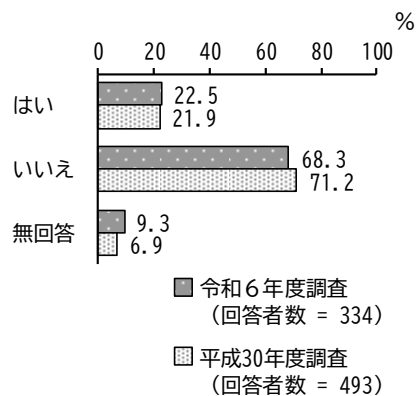
⑥子育ての総合相談窓口

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑦自治体発行の子育て支援情報誌

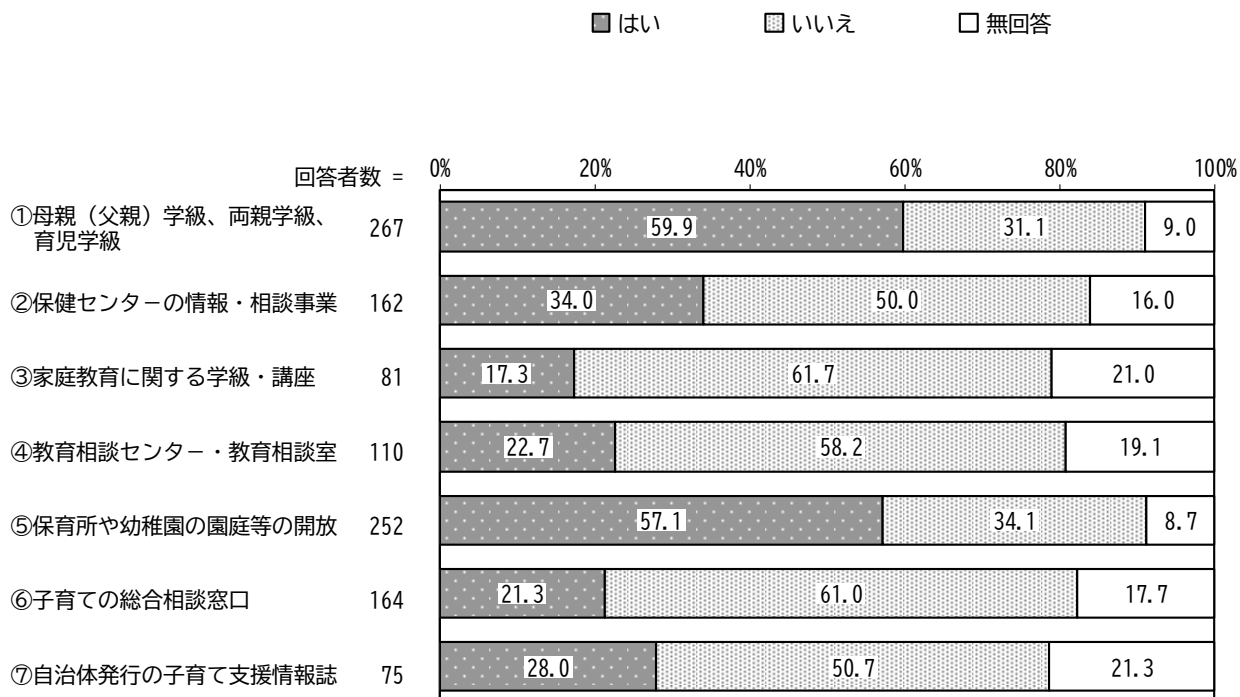
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



B これまでに利用したことがあるか

『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』、『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高く、約 60%となっています。

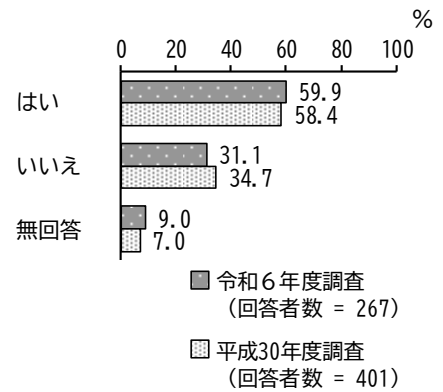
一方、『③家庭教育に関する学級・講座』、『④教育相談センター・教育相談室』、『⑥子育ての総合相談窓口』で「いいえ」の割合が高く、約 60%となっています。



【令和 30 年度調査との比較】

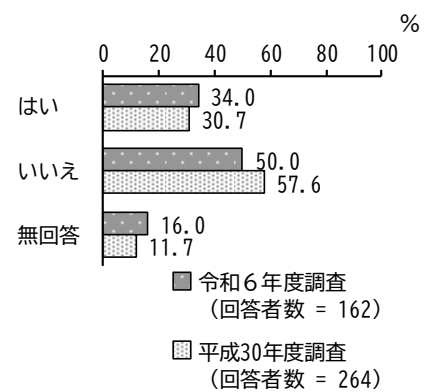
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



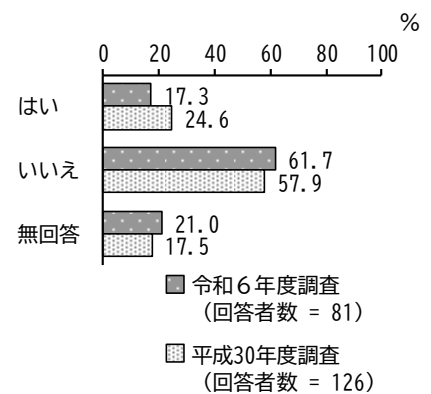
②保健センターの情報・相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



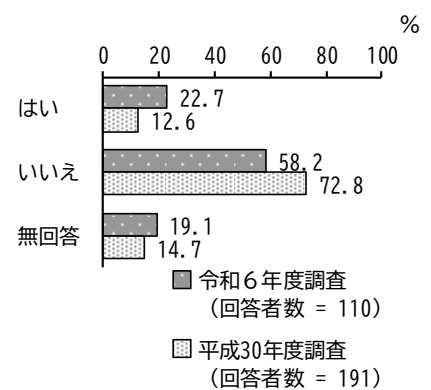
③家庭教育に関する学級・講座

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



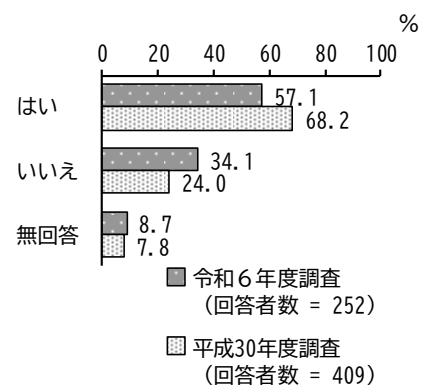
④教育相談センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



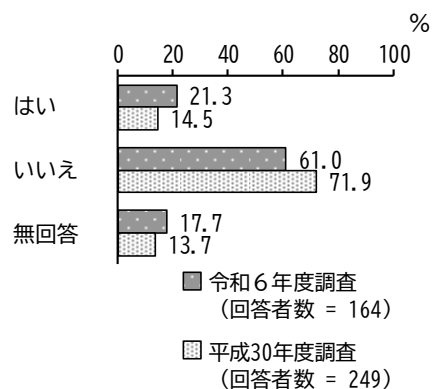
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



⑥子育ての総合相談窓口

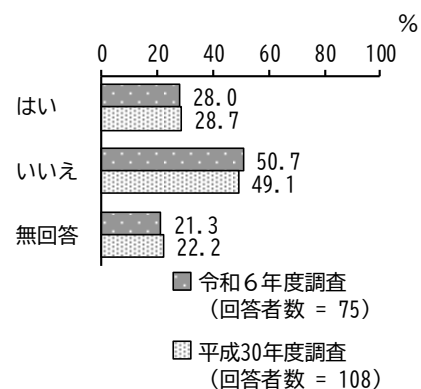
平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



⑦自治体発行の子育て支援情報誌

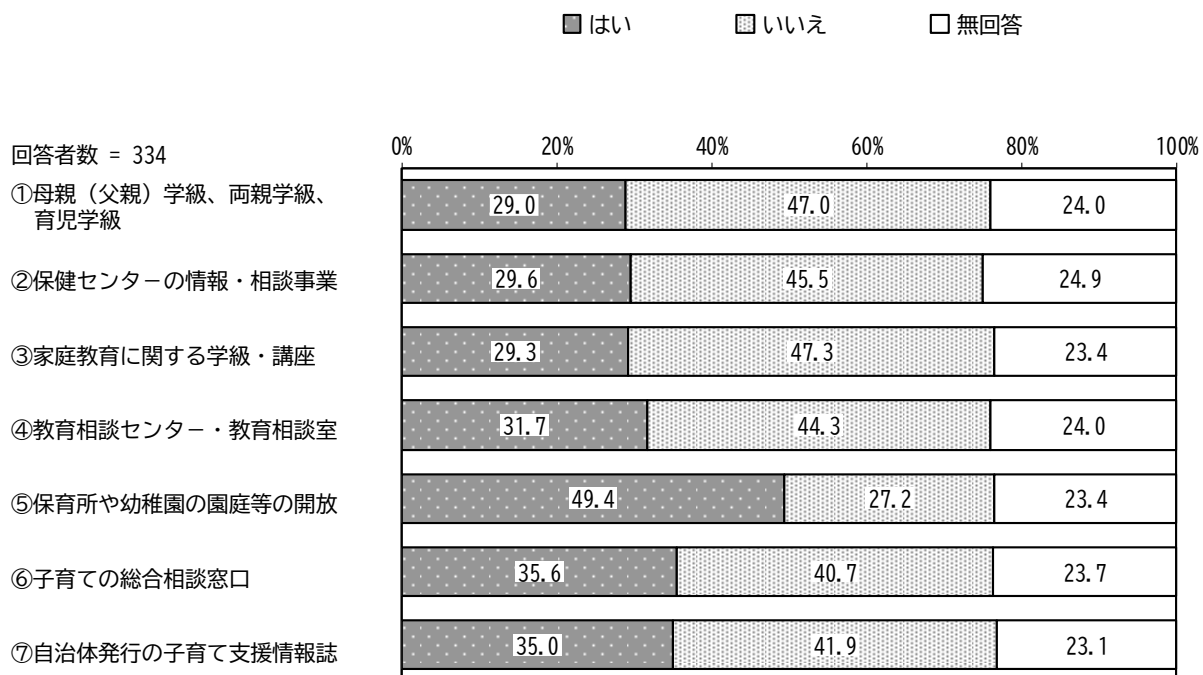
「はい」の割合が 28.0%、「いいえ」の割合が 50.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



C 今後利用したいか

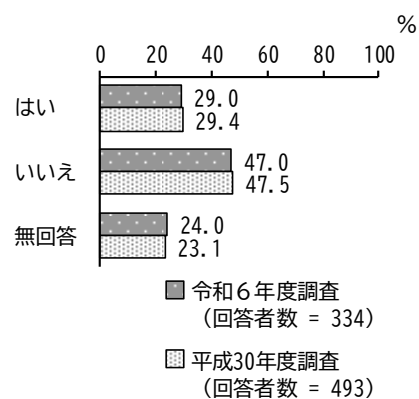
『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高く、約 50%となっています。その他の項目では「はい」よりも「いいえ」の割合が高くなっています



【令和 30 年度調査との比較】

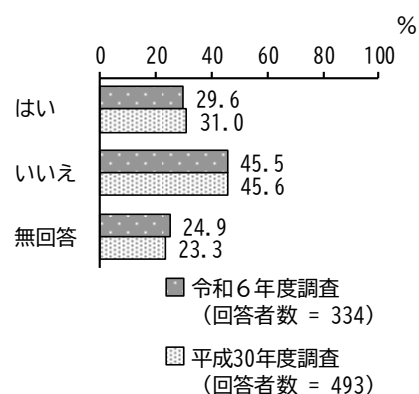
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



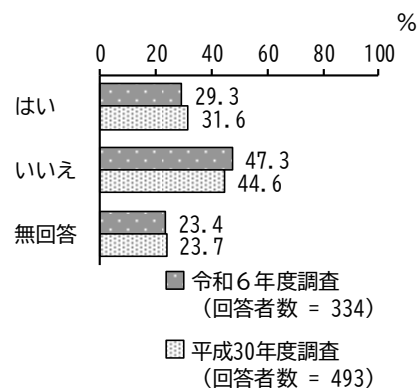
②保健センターの情報・相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



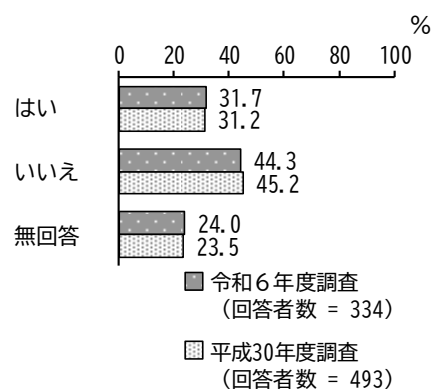
③家庭教育に関する学級・講座

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



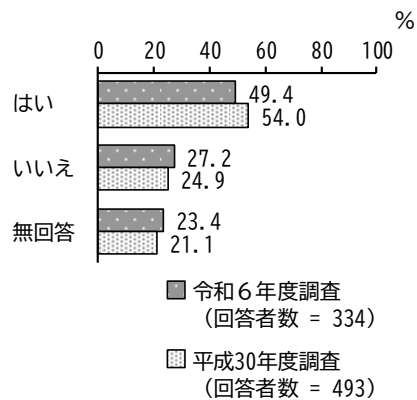
④教育相談センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



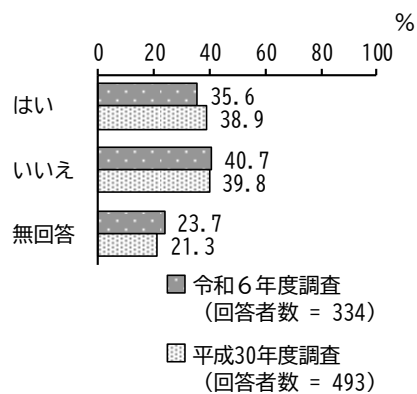
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



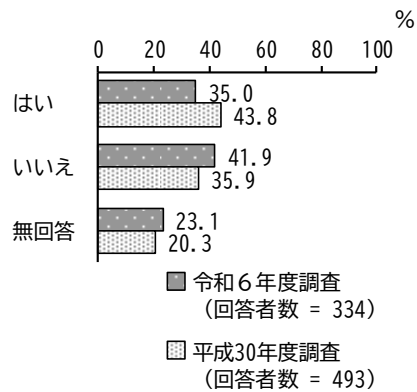
⑥子育ての総合相談窓口

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑦自治体発行の子育て支援情報誌

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



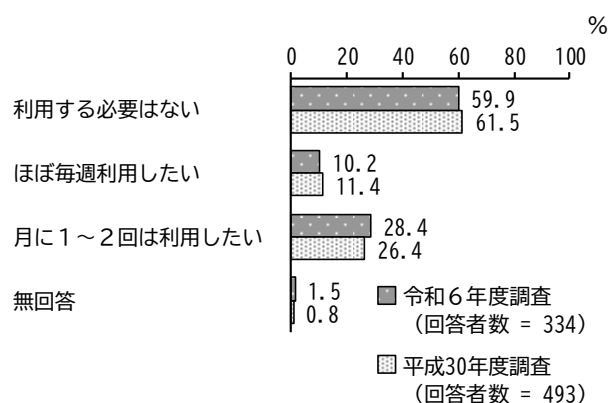
（７）土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）
希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 28.4%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 10.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

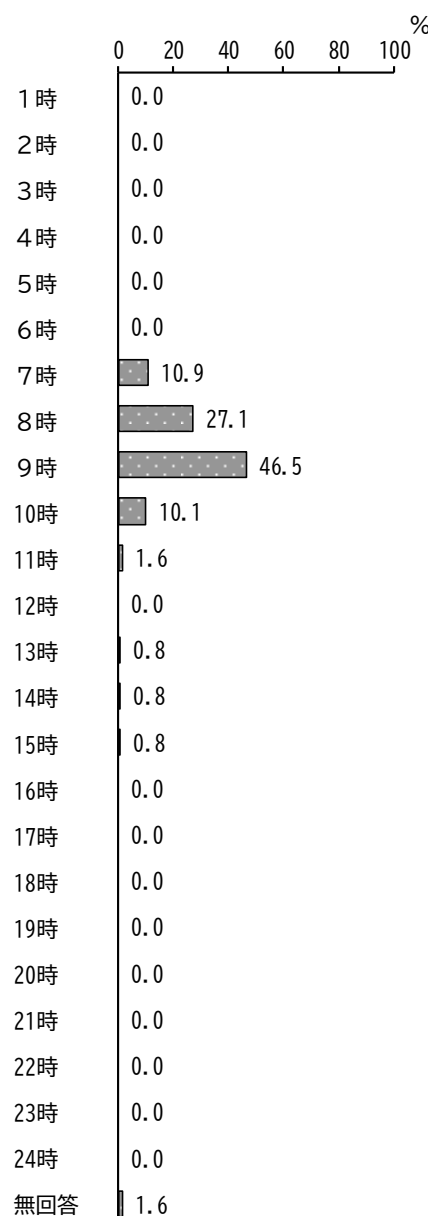


利用したい時間帯

開始時刻

「9時」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「8時」の割合が 27.1%、「7時」の割合が 10.9%となっています。

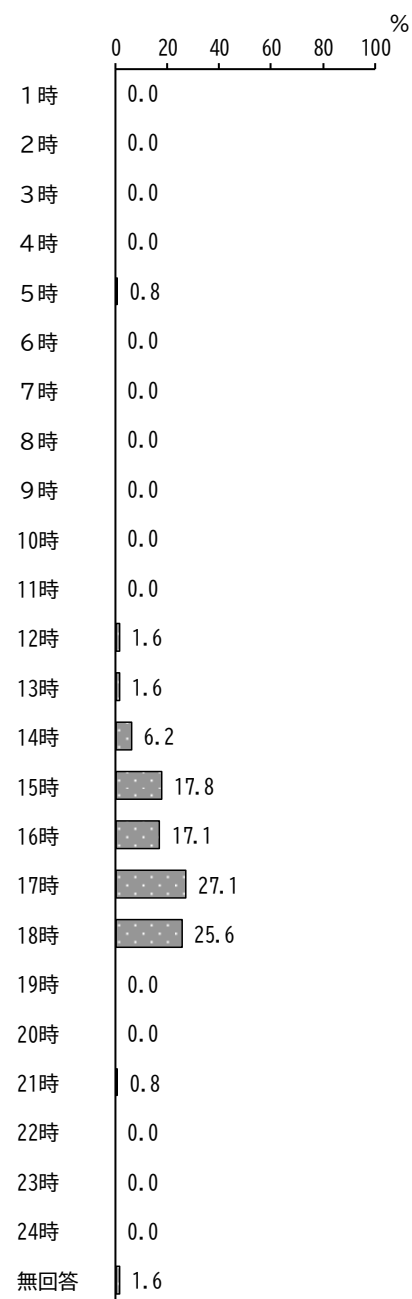
回答者数 = 129



終了時刻

回答者数 = 129

「17 時」の割合が 27.1%と最も高く、次いで
「18 時」の割合が 25.6%、「15 時」の割合が 17.8%
となっています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が73.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が19.5%となっています。

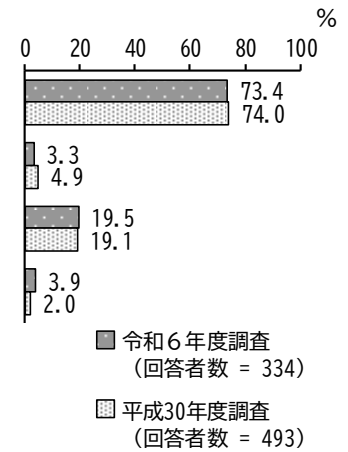
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

利用する必要はない

ほぼ毎週利用したい

月に1～2回は利用したい

無回答

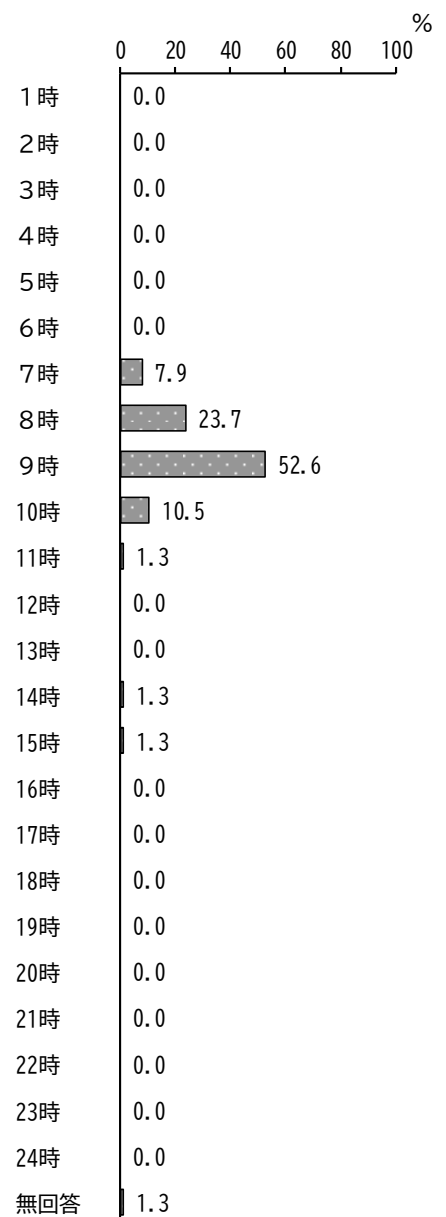


利用したい時間帯

開始時刻

「9時」の割合が52.6%と最も高く、次いで「8時」の割合が23.7%、「10時」の割合が10.5%となっています。

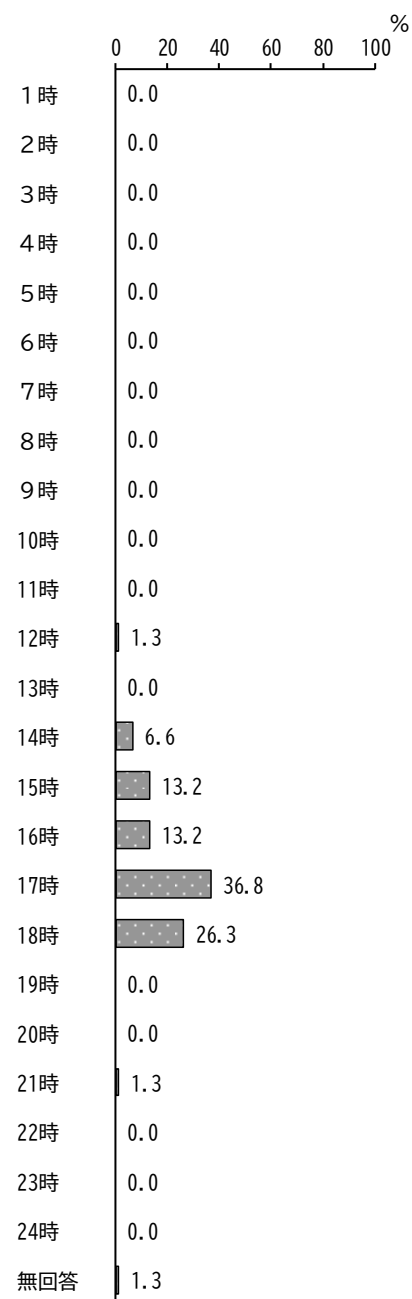
回答者数 = 76



終了時刻

回答者数 = 76

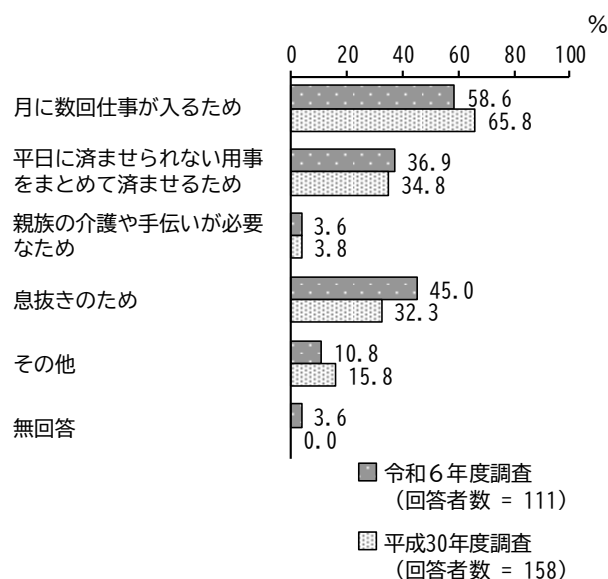
「17 時」の割合が 36.8%と最も高く、次いで
「18 時」の割合が 26.3%、「15 時」、「16 時」の
割合が 13.2%となっています。



問 20-1 問 20 の（１）もしくは（２）で「月に１～２回は利用したい」に回答された方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「月に数回仕事が入るため」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 45.0%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 36.9%となっています。

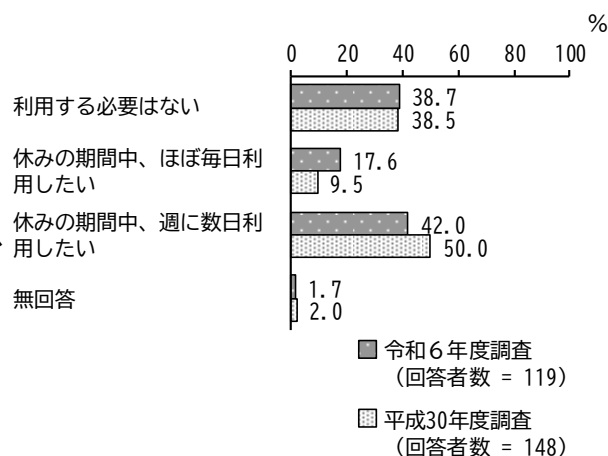
平成 30 年度調査と比較すると、「息抜きのため」の割合が増加しています。一方、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。



問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○は１つ） 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 38.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 17.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。一方、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。

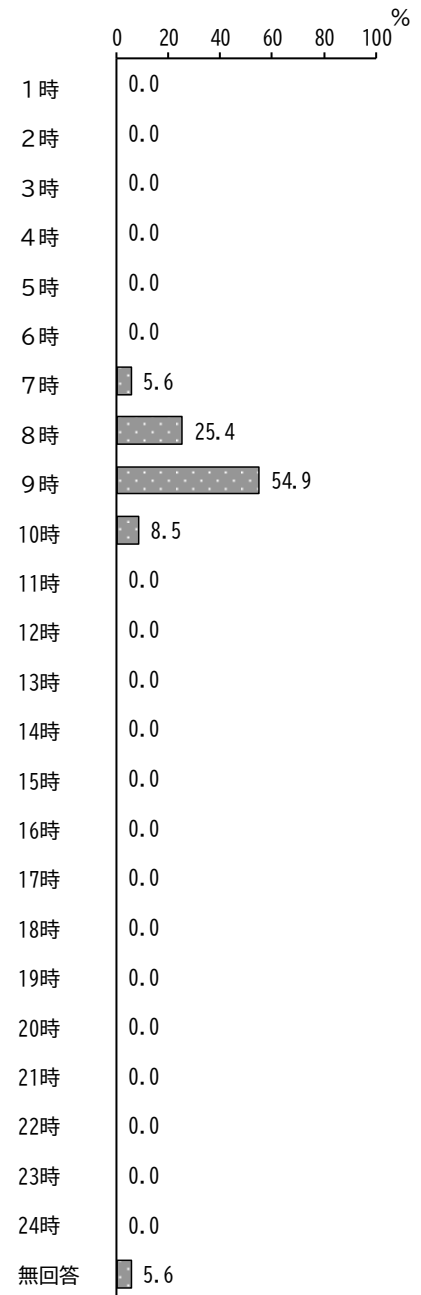


利用したい時間帯

開始時刻

回答者数 = 71

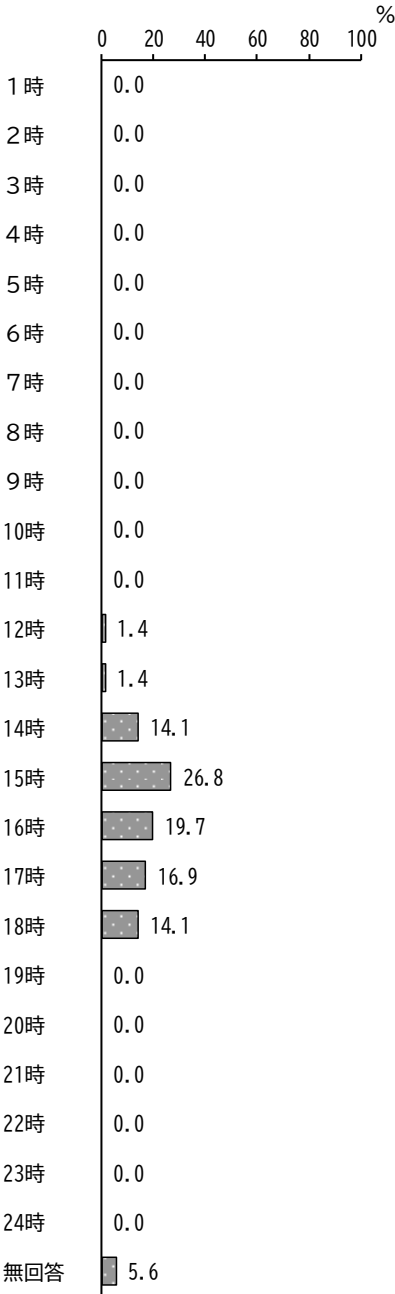
「9時」の割合が 54.9%と最も高く、次いで
「8時」の割合が 25.4%となっています。



終了時刻

回答者数 = 71

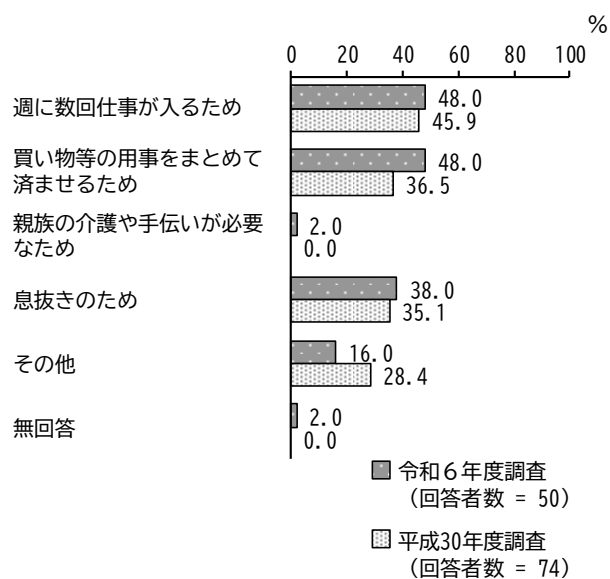
「15 時」の割合が 26.8%と最も高く、次いで
「16 時」の割合が 19.7%、「17 時」の割合が 16.9%
となっています。



問 21－1 問 21 で「週に数日利用したい」に回答された方にうかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

「週に数回仕事が入るため」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 38.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が増加しています。

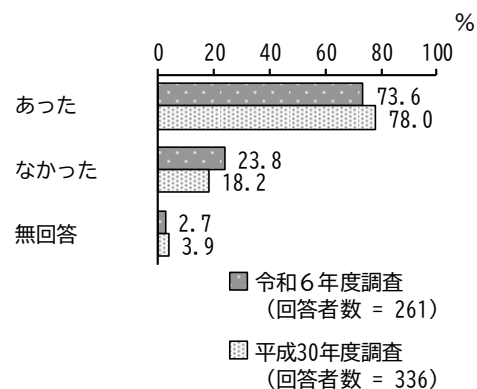


(8) 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。
この 1 年間にあて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 73.6%、「なかった」の割合が 23.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1 歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体	261	73.6	23.8	2.7
0 歳	9	66.7	22.2	11.1
1 歳	16	93.8	6.3	—
2 歳	28	82.1	14.3	3.6
3 歳	46	78.3	17.4	4.3
4 歳	59	76.3	22.0	1.7
5 歳	101	64.4	33.7	2.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「なかった」の割合が高くなっています。

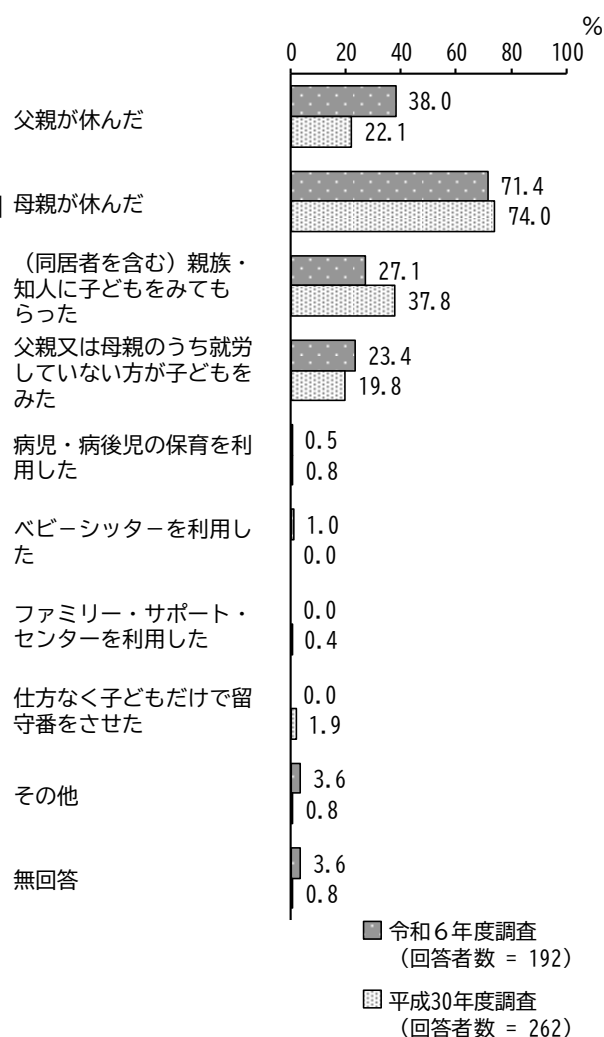
単位：％

区分	回答者数 (件)	あつた	なかった	無回答
全 体	260	73.8	23.5	2.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	80	78.8	18.8	2.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	13	84.6	15.4	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	89	77.5	20.2	2.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	83.3	16.7	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	60	60.0	35.0	5.0
これまで就労したことがない	6	50.0	50.0	—

問 22－1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお答えください。
 （〇はいくつでも）
 また、それぞれの日数もご記入ください（数字を記入）。

「母親が休んだ」の割合が 71.4%と最も高く、
 次いで「父親が休んだ」の割合が 38.0%、「(同居
 者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」
 の割合が 27.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」
 の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)
 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減
 少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	192	38.0	71.4	27.1	23.4	0.5	1.0	－	－	3.6	3.6
0歳	6	50.0	83.3	16.7	－	－	－	－	－	－	16.7
1歳	15	46.7	100.0	26.7	－	－	－	－	－	－	－
2歳	23	43.5	87.0	21.7	13.0	4.3	4.3	－	－	4.3	4.3
3歳	36	44.4	72.2	22.2	27.8	－	－	－	－	－	2.8
4歳	45	42.2	57.8	20.0	31.1	－	－	－	－	4.4	8.9
5歳	65	27.7	66.2	36.9	27.7	－	－	－	－	6.2	－

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

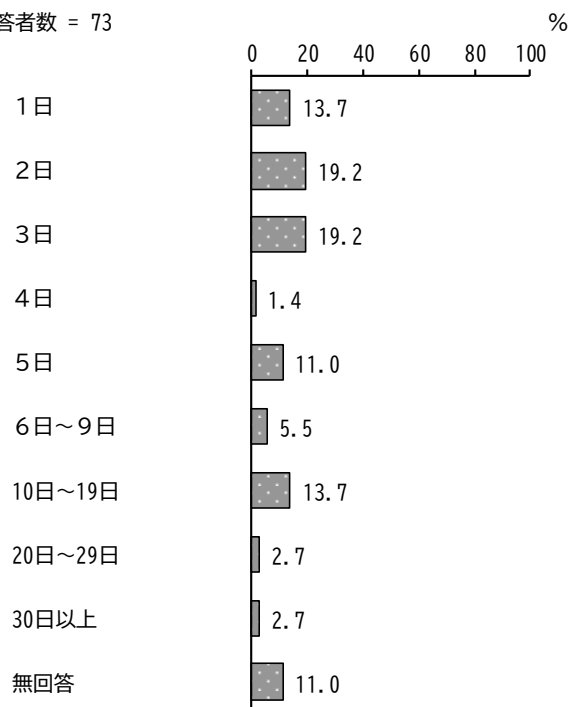
区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	192	38.0	71.4	27.1	23.4	0.5	1.0	－	－	3.6	3.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	63	47.6	87.3	44.4	1.6	1.6	1.6	－	－	7.9	3.2
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	11	72.7	81.8	27.3	18.2	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	69	34.8	84.1	23.2	14.5	－	－	－	－	2.9	2.9
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	20.0	100.0	20.0	20.0	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	36	16.7	16.7	2.8	77.8	－	2.8	－	－	－	5.6
これまで就労したことがない	3	33.3	－	33.3	100.0	－	－	－	－	－	－

年間日数

1. 父親が休んだ

「2日」、「3日」の割合が19.2%と最も高く、次いで「1日」、「10日～19日」の割合が13.7%となっています。

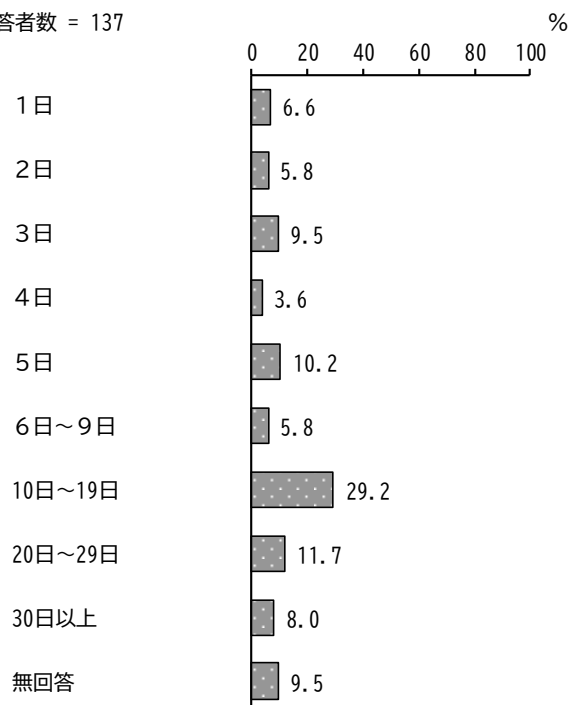
回答者数 = 73



2. 母親が休んだ

「10日～19日」の割合が29.2%と最も高く、次いで「20日～29日」の割合が11.7%、「5日」の割合が10.2%となっています。

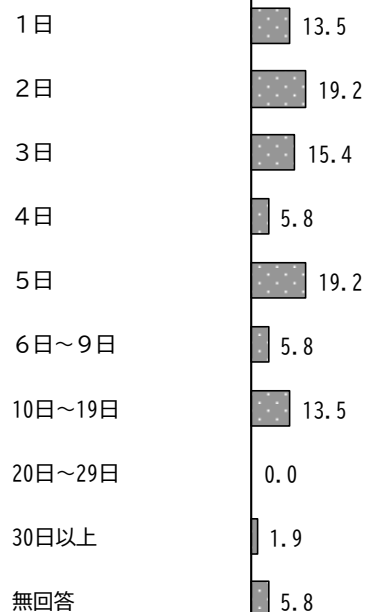
回答者数 = 137



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「2日」、「5日」の割合が19.2%と最も高く、
次いで「3日」の割合が15.4%となっています。

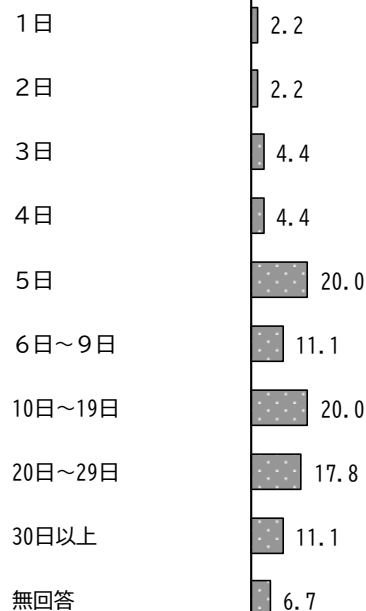
回答者数 = 52



4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

「5日」、「10日～19日」の割合が20.0%と最も高く、次いで「20日～29日」の割合が17.8%となっています。

回答者数 = 45



5. 病児・病後児の保育を利用した

「5日」が1件となっています。

6. ベビーシッターを利用した

「1日」、「6日～9日」が1件となっています。

7. ファミリー・サポート・センターを利用した

有効回答がありませんでした。

8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

有効回答がありませんでした。

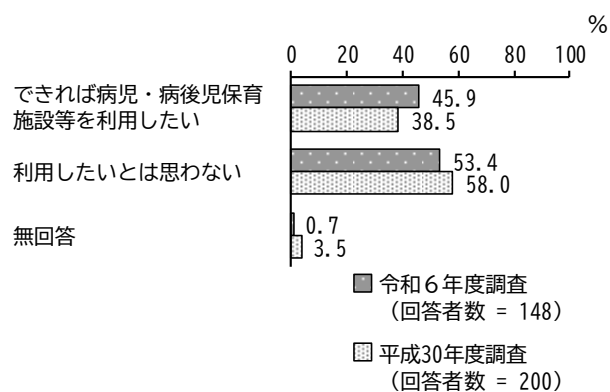
9. その他

「3日」、「5日」が2件、「4日」、「10日～19日」が1件となっています。

問 22－2 問 22－1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 (○は1つ)
 また、その日数もご記入ください。(数字を記入)

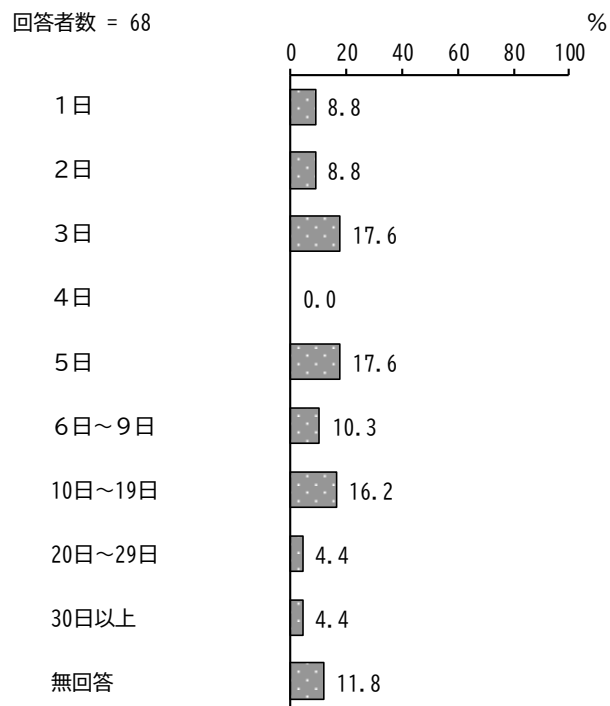
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 45.9%、「利用したいとは思わない」の割合が 53.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

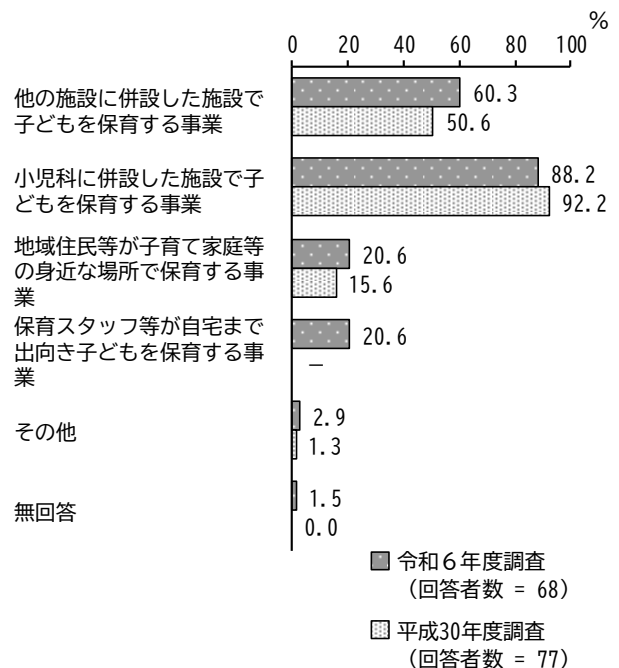
「3日」「5日」の割合が 17.6%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が 16.2%となっています。



問 22－3 問 22－2で「できれば、病児・病後児保育施設等を利用したい」に回答された方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 60.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」、「保育スタッフ等が自宅まで出向き子どもを保育する事業」の割合が 20.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が増加しています。

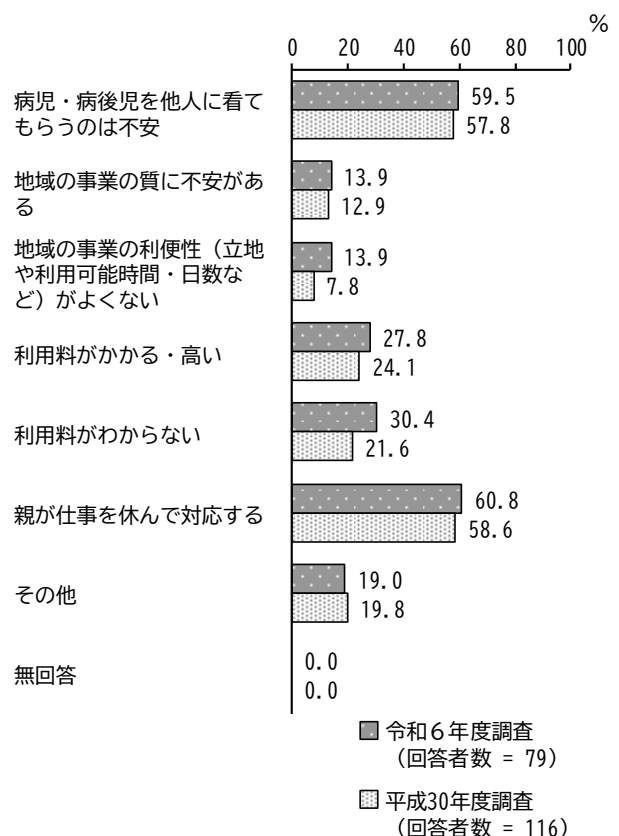


※前回調査では、「保育スタッフ等が自宅まで出向き子どもを保育する事業」の選択肢はありませんでした。

問 22－4 問 22－2で「利用したいと思わない」に回答された方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が 59.5%、「利用料がわからない」の割合が 30.4%となっています。

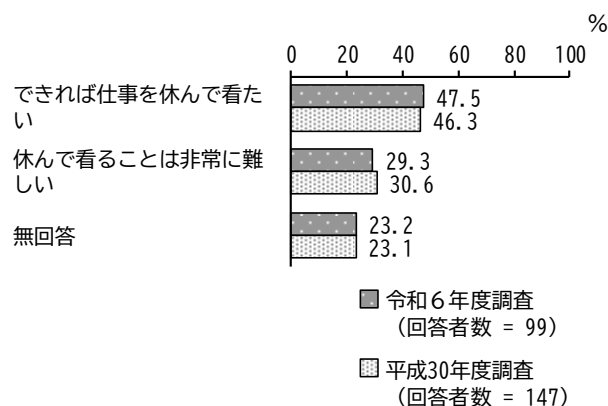
平成 30 年度調査と比較すると、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」「利用料がわからない」の割合が増加しています。



問 22－5 問 22－1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかに回答された方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 (○は1つ)
 また、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についてもお記入ください。

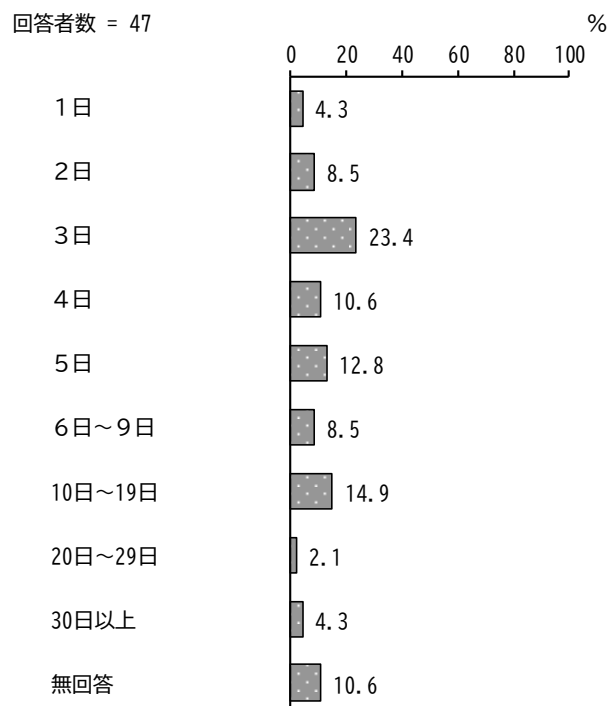
「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 47.5%、「休んで看ことは非常に難しい」の割合が 29.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



できれば仕事を休んで看たい日数

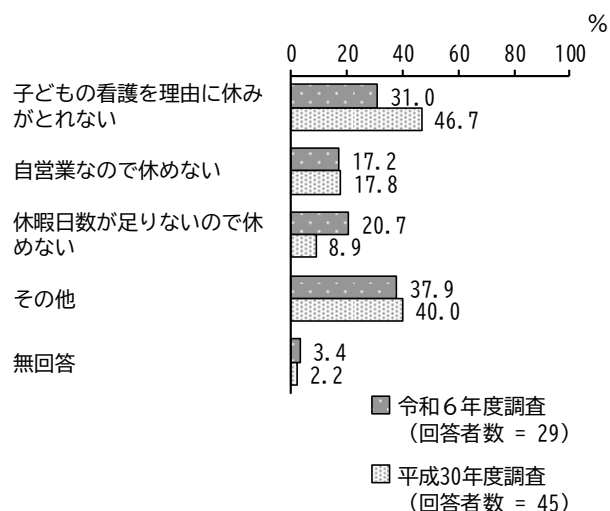
「3日」の割合が 23.4%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が 14.9%、「5日」の割合が 12.8%となっています。



問 22－6 問 22－5で「休んで見ることは非常に難しい」に回答された方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が31.0%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が20.7%、「自営業なので休めない」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



（９）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

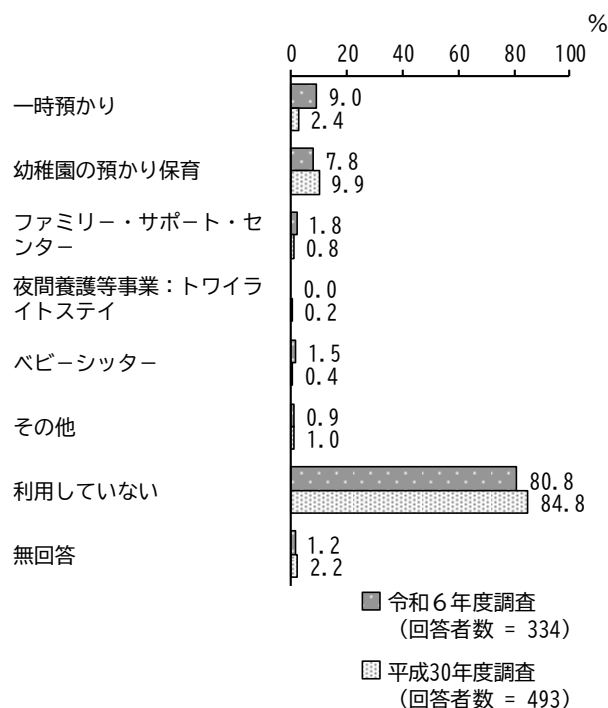
問 23 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

（○はいくつでも）

また、その場合の１年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（数字を記入）

「利用していない」の割合が 80.8%と最も高くなっています。

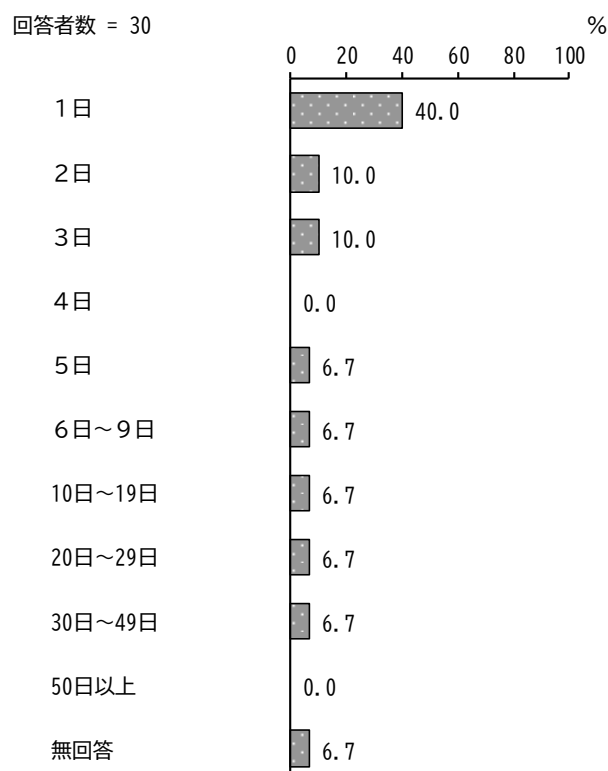
平成 30 年度調査と比較すると、「一時預かり」の割合が増加しています。



年間日数

1. 一時預かり

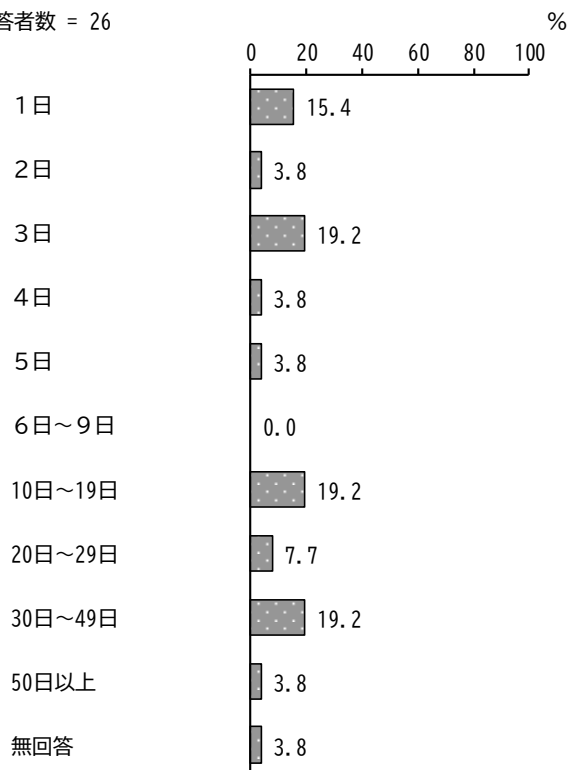
「1日」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が 10.0%となっています。



2. 幼稚園の預かり保育

「3日」、「10日～19日」、「30日～49日」の割合が19.2%と最も高くなっています。

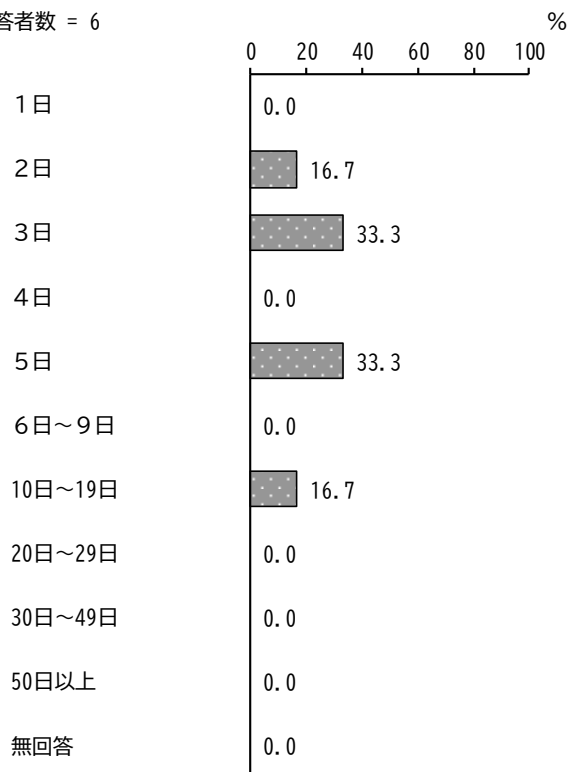
回答者数 = 26



3. ファミリー・サポート・センター

「3日」、「5日」が2件、「2日」、「10日～19日」が1件となっています。

回答者数 = 6



4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ

有効回答がありませんでした。

5. ベビーシッター

「1日」が3件、「5日」が1件となっています。

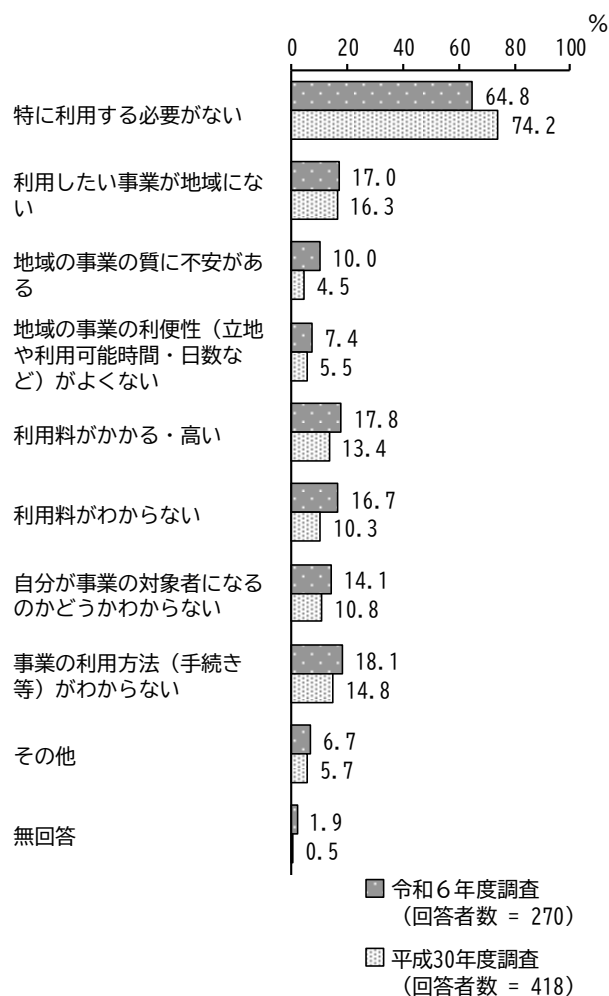
6. その他

「2日」、「3日」が1件となっています。

問 23－1 問 23 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「特に利用する必要がない」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 18.1%、「利用料がかかる・高い」の割合が 17.8%となっています。

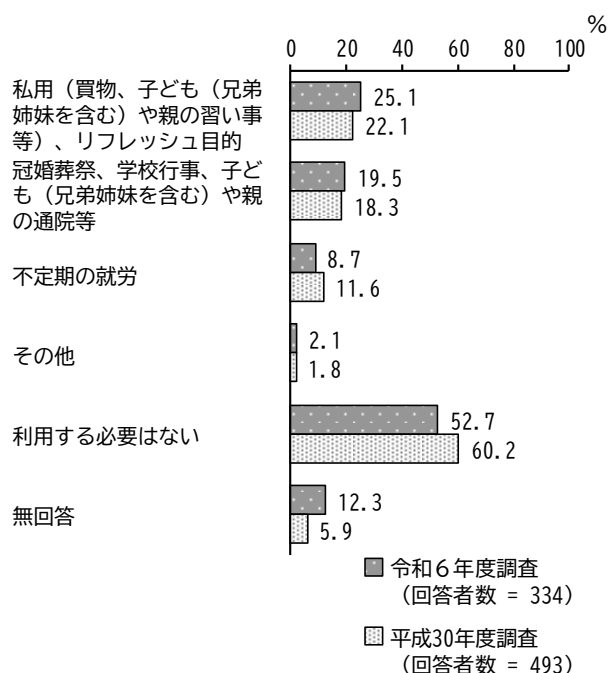
平成 30 年度調査と比較すると、「地域の事業の質に不安がある」「利用料がわからない」の割合が増加しています。一方、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。



問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労の目的で、利用する希望がありますか。ある場合、その利用の目的は何ですか。（○はいくつでも）
また、必要な日数も記入してください。（数字を記入）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 25.1%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 19.5%となっています。

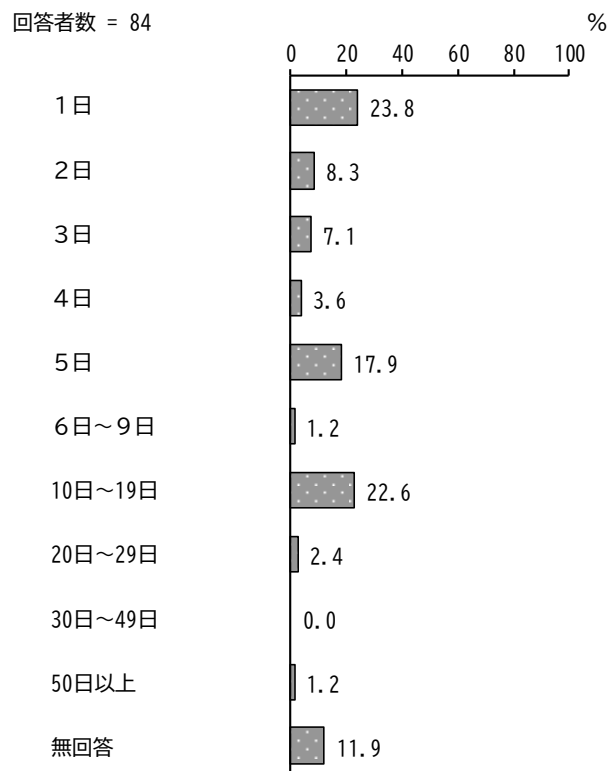
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



年間日数

1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

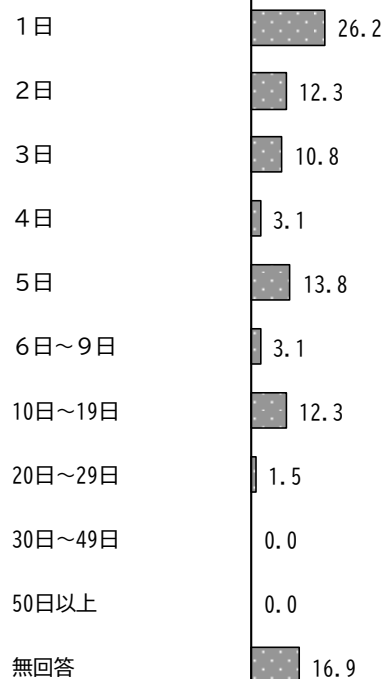
「1日」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が 22.6%、「5日」の割合が 17.9%となっています。



2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「1日」の割合が26.2%と最も高く、次いで
「5日」の割合が13.8%、「2日」、「10日～19日」
の割合が12.3%となっています。

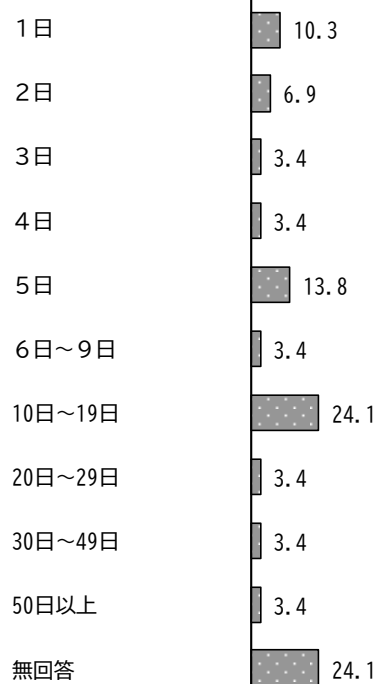
回答者数 = 65



3. 不定期の就労

「10日～19日」の割合が24.1%と最も高く、
次いで「5日」の割合が13.8%、「1日」の割合
が10.3%となっています。

回答者数 = 29



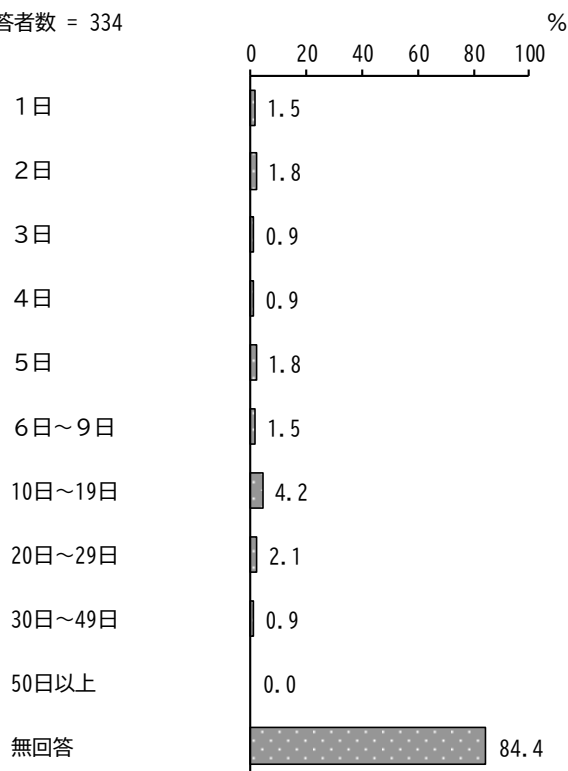
4. その他

「1日」、「10日～19日」が2件、「3日」、「4日」が1件となっています。

合計日数

「10日～19日」の割合が4.2%と最も高くなっています。

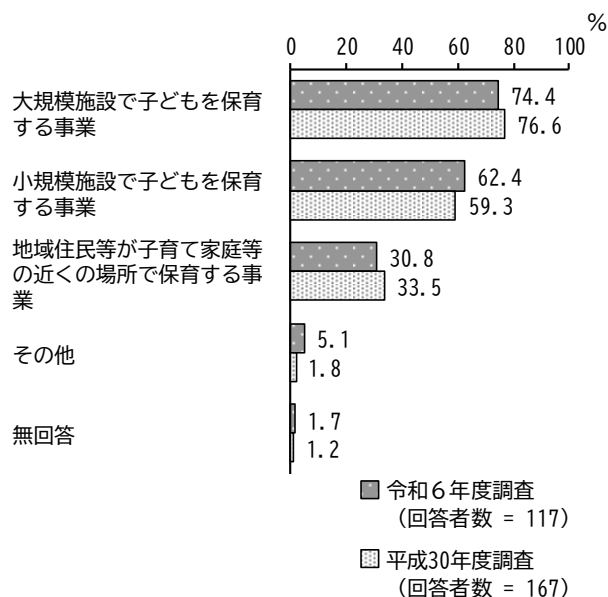
回答者数 = 334



問 24－1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が74.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が62.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が30.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護するサービス）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

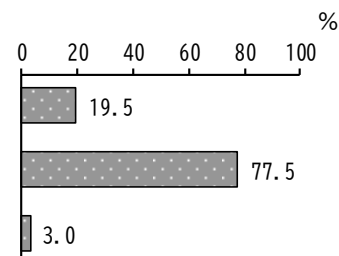
「利用したい」の割合が 19.5%、「利用する必要はない」の割合が 77.5%となっています。

回答者数 = 334

利用したい

利用する必要はない

無回答



利用したい理由

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 66.2%、「冠婚葬祭」の割合が 44.6%となっています。

回答者数 = 65

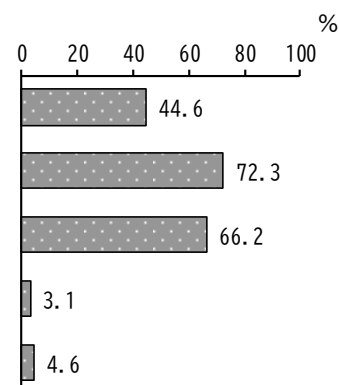
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

無回答



合計泊数

「6泊～9泊」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「3泊」の割合が 13.8%、「10泊～19泊」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 65

1泊

2泊

3泊

4泊

5泊

6泊～9泊

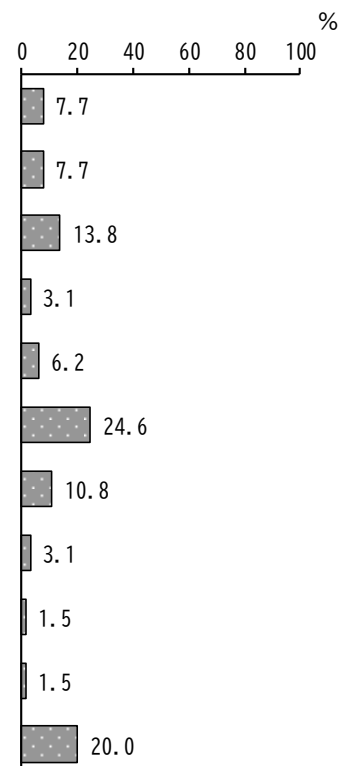
10泊～19泊

20泊～29泊

30泊～49泊

50泊以上

無回答

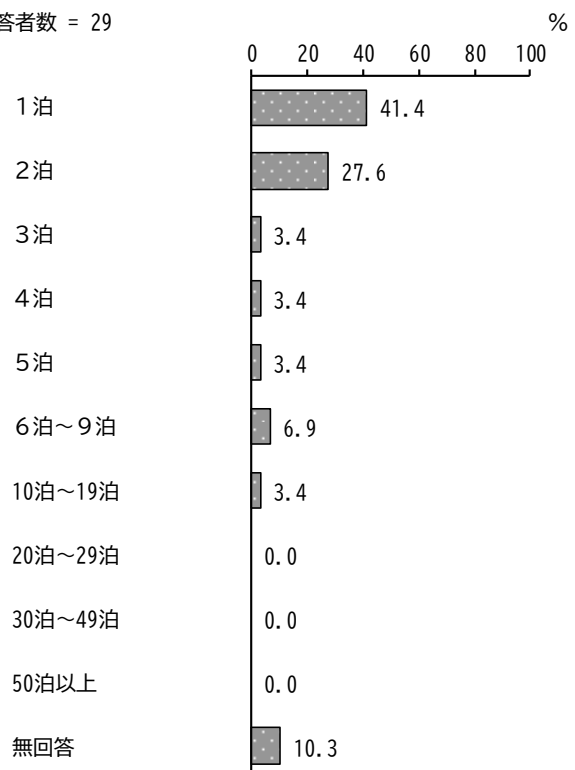


年間泊数

ア 冠婚葬祭の泊数

「1泊」の割合が41.4%と最も高く、次いで「2泊」の割合が27.6%となっています。

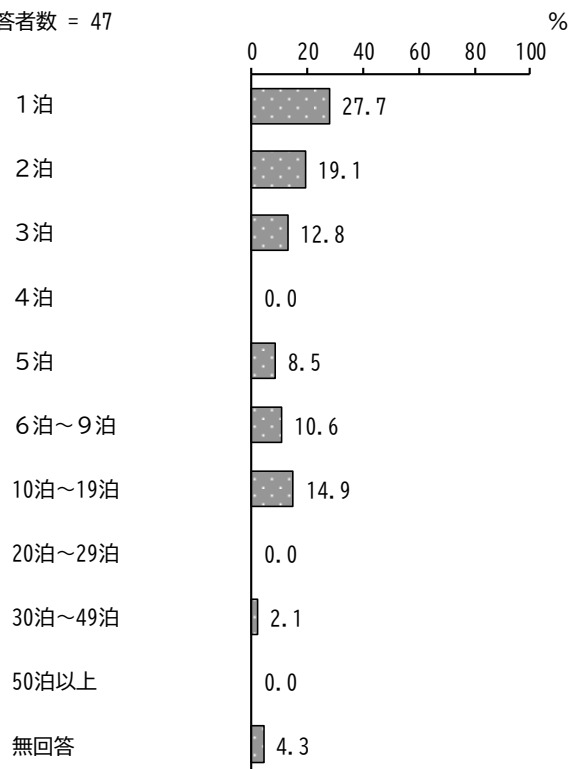
回答者数 = 29



イ 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「1泊」の割合が27.7%と最も高く、次いで「2泊」の割合が19.1%、「10泊～19泊」の割合が14.9%となっています。

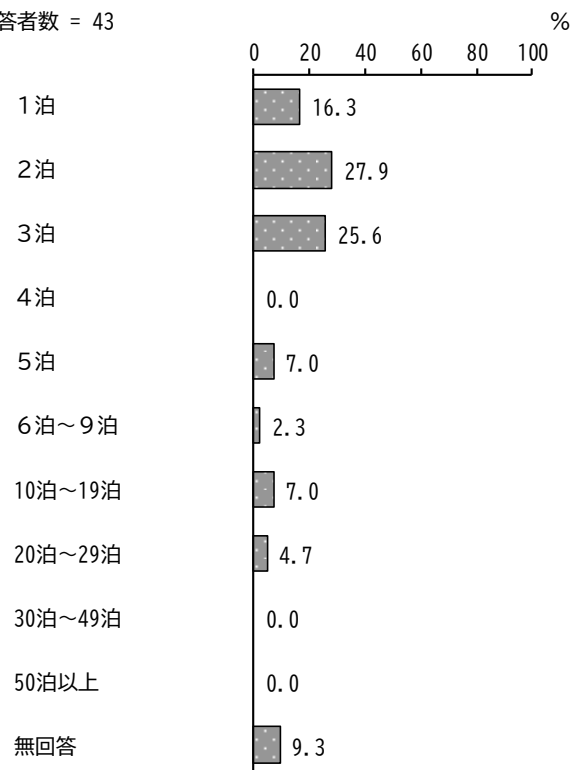
回答者数 = 47



ウ 保護者や家族の病気の泊数

「2泊」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「3泊」の割合が 25.6%、「1泊」の割合が 16.3%となっています。

回答者数 = 43



エ その他の泊数

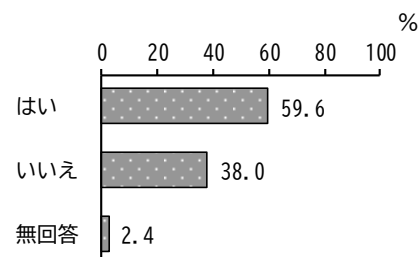
「1泊」、「6泊～9泊」が1件となっています。

(10) こども誰でも通園制度について

問 26 こども誰でも通園制度を利用したいですか。

「はい」の割合が 59.6%、「いいえ」の割合が 38.0%となっています。

回答者数 = 334

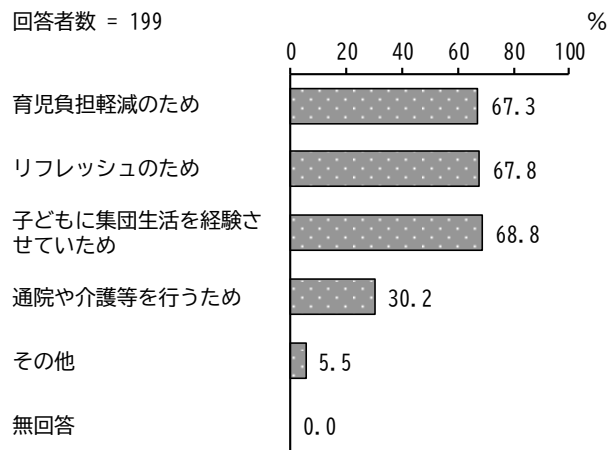


問 26-1 問 26 で「はい」と回答した方にうかがいます。

利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもに集団生活を経験させていたため」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が 67.8%、「育児負担軽減のため」の割合が 67.3%となっています。

回答者数 = 199

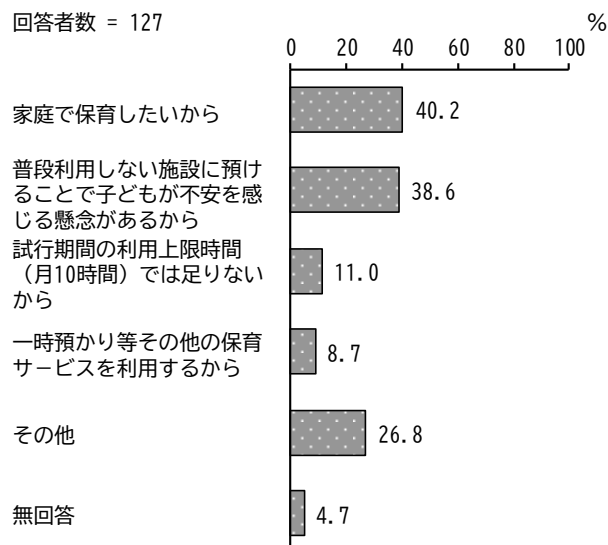


問 26-2 問 26 で「いいえ」と回答した方にうかがいます。

利用したくない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家庭で保育したいから」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「普段利用しない施設に預けることで子どもが不安を感じる懸念があるから」の割合が 38.6%、「試行期間の利用上限時間（月 10 時間）では足りないから」の割合が 11.0%となっています。

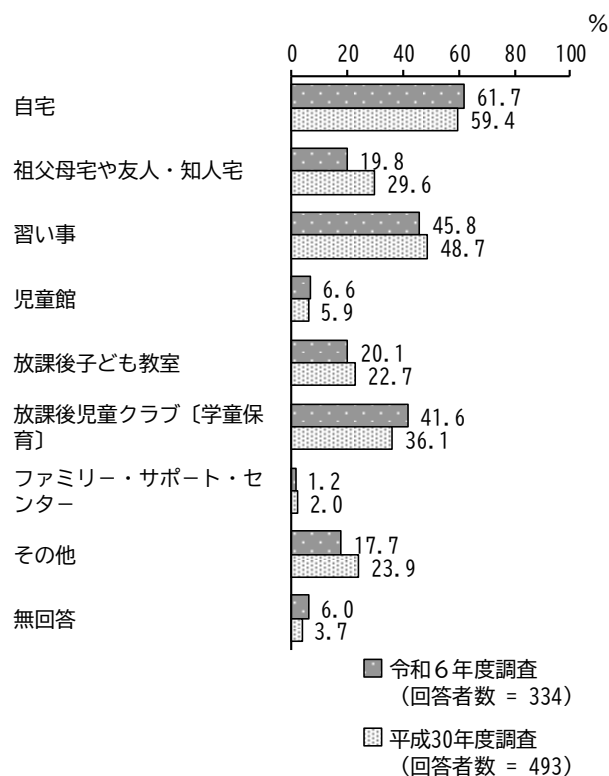
回答者数 = 127



(11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 27 あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間をご記入ください。（数字を記入）

「自宅」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 45.8%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 41.6%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が増加しています。一方、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。

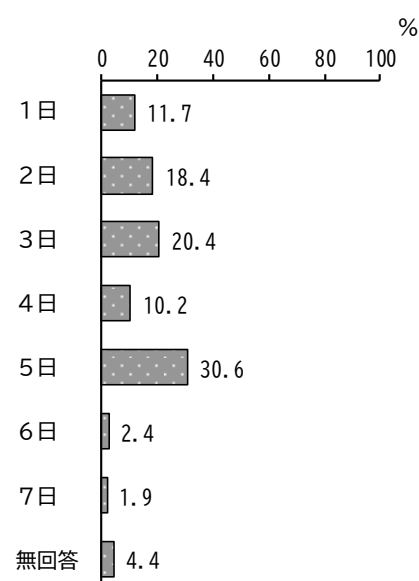


週当たり利用日数

1. 自宅

「５日」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「３日」の割合が 20.4%、「２日」の割合が 18.4%となっています。

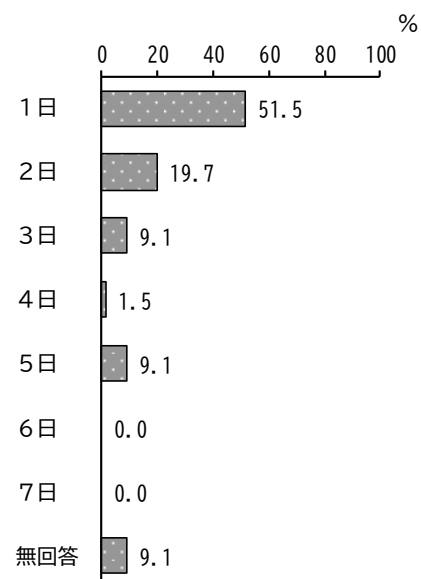
回答者数 = 206



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 51.5%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 19.7%となっています。

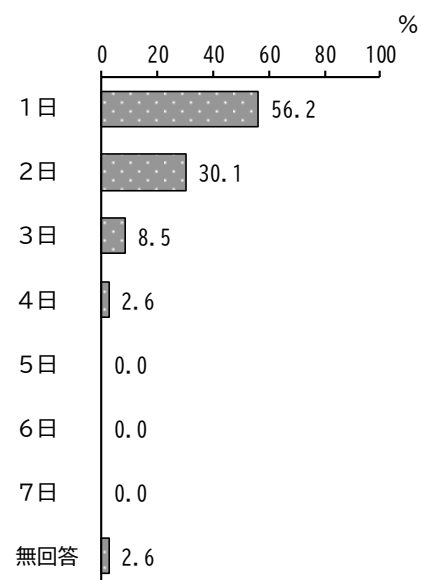
回答者数 = 66



3. 習い事

「1日」の割合が 56.2%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 30.1%となっています。

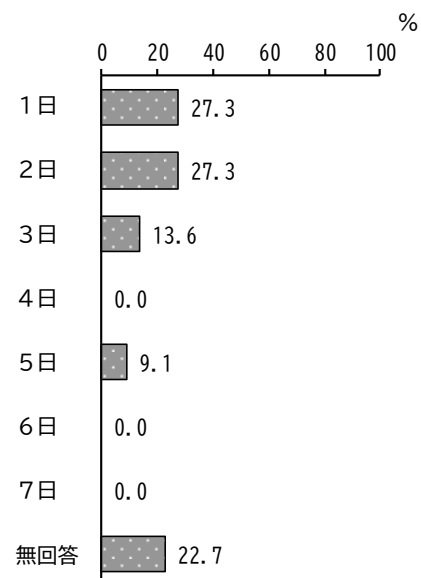
回答者数 = 153



4. 児童館

「1日」、「2日」の割合が 27.3%と最も高く、
次いで「3日」の割合が 13.6%となっています。

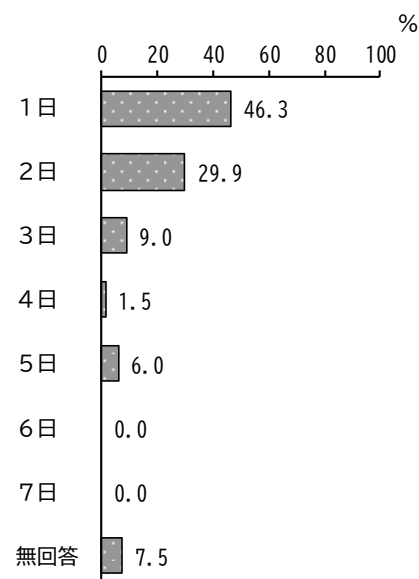
回答者数 = 22



5. 放課後子ども教室

「1日」の割合が 46.3%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 29.9%となっています。

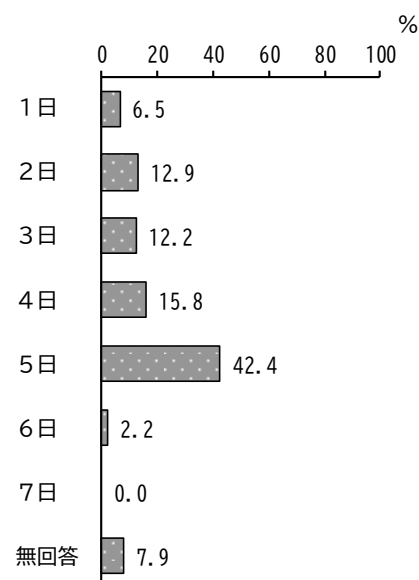
回答者数 = 67



6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」の割合が 42.4%と最も高く、次いで
「4日」の割合が 15.8%、「2日」の割合が 12.9%
となっています。

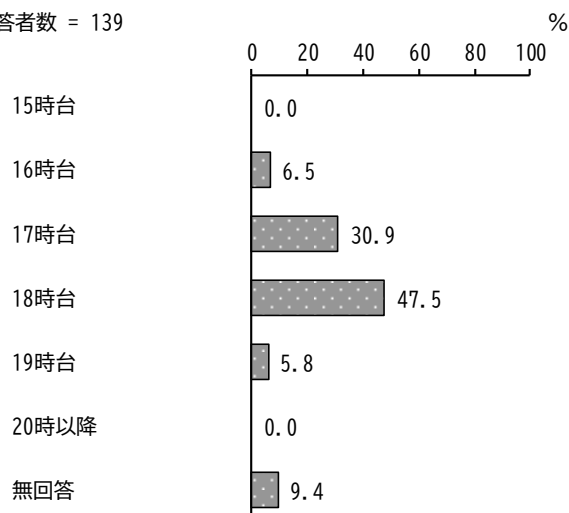
回答者数 = 139



放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 47.5%と最も高く、次い
で「17 時台」の割合が 30.9%となっています。

回答者数 = 139



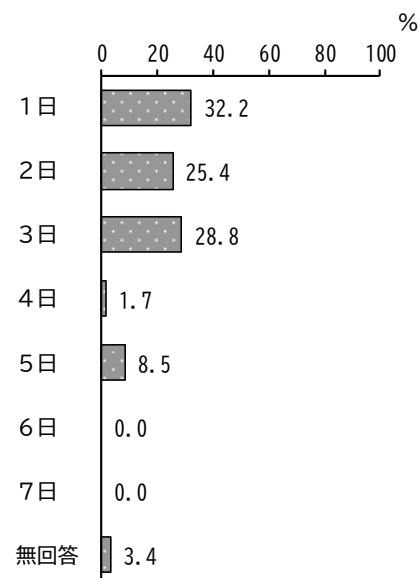
7. ファミリー・サポート・センター

「1日」、「5日」が1件となっています。

8. その他

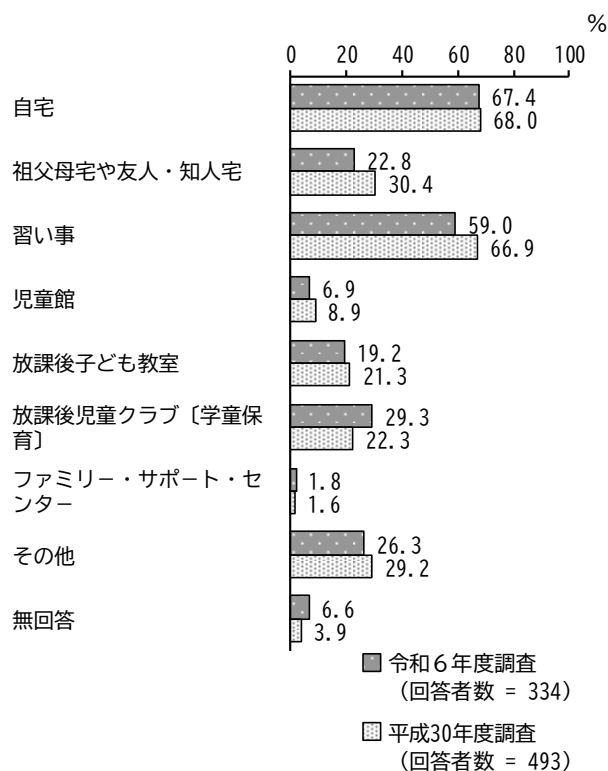
「1日」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が 28.8%、「2日」の割合が 25.4%となっています。

回答者数 = 59



問 28 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。（数字を記入）なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）

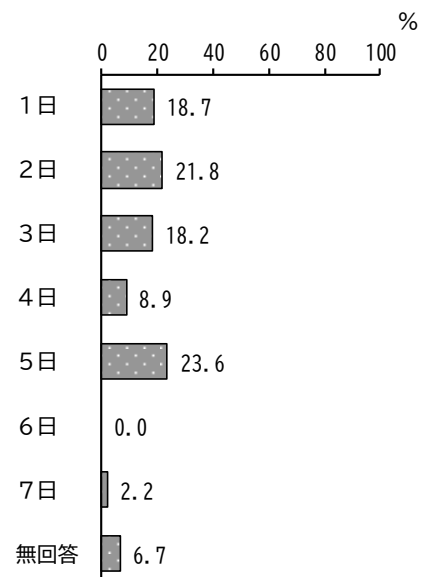
「自宅」の割合が 67.4%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 59.0%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 29.3%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が増加しています。一方、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少しています。



1. 自宅

「5日」の割合が 23.6%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 21.8%、「1日」の割合が 18.7%
となっています。

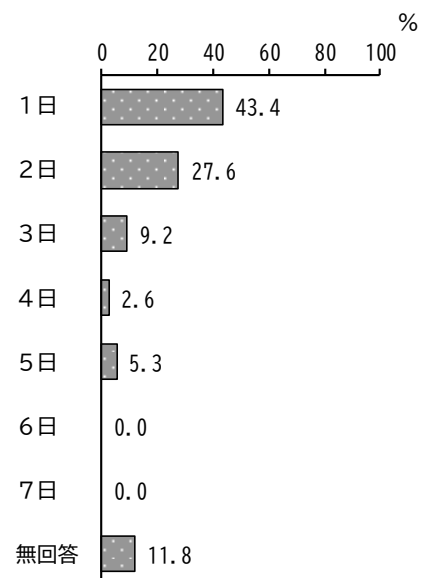
回答者数 = 225



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 43.4%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 27.6%となっています。

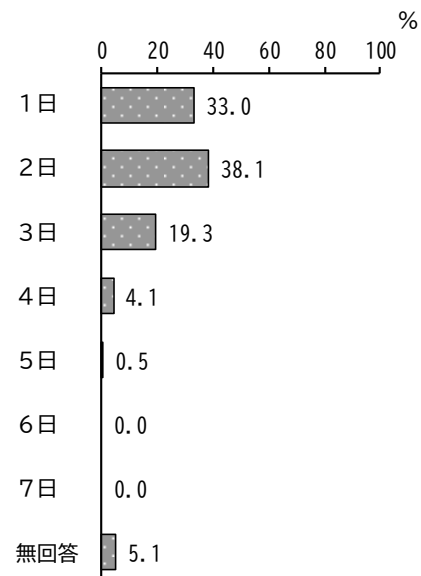
回答者数 = 76



3. 習い事

「2日」の割合が 38.1%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 33.0%、「3日」の割合が 19.3%
となっています。

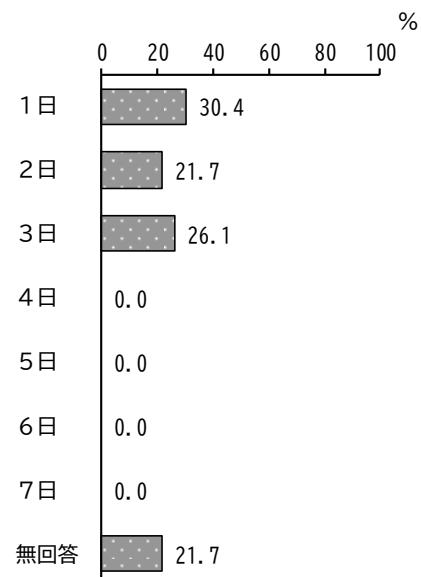
回答者数 = 197



4. 児童館

「1日」の割合が30.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.1%、「2日」の割合が21.7%となっています。

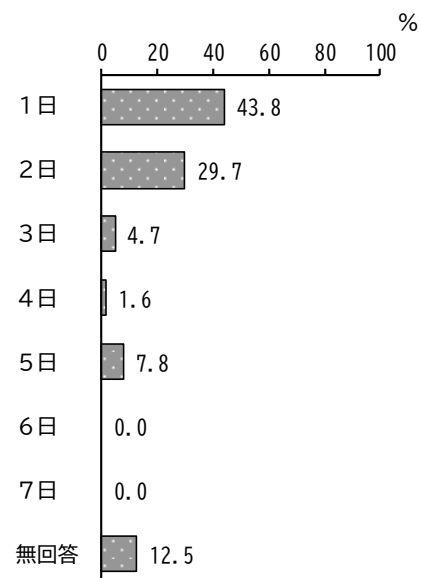
回答者数 = 23



5. 放課後子ども教室

「1日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.7%となっています。

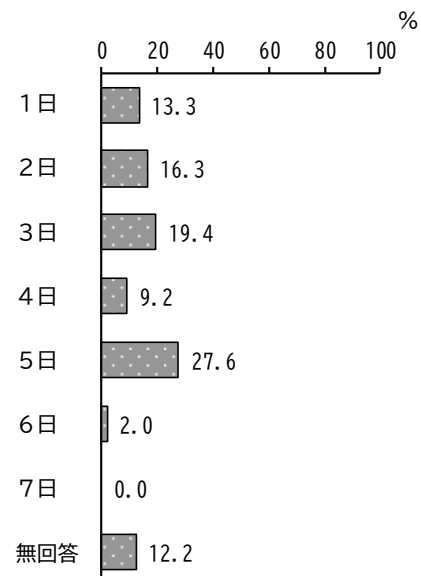
回答者数 = 64



6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」の割合が27.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.4%、「2日」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 98

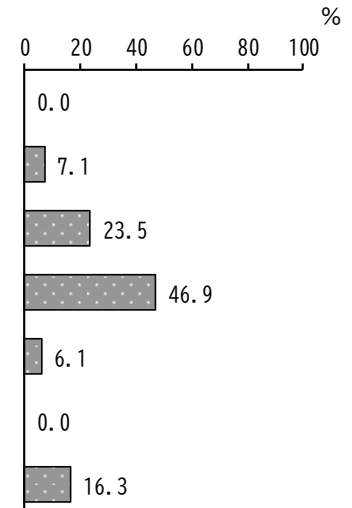


放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.5%となっています。

回答者数 = 98

15時台	0.0
16時台	7.1
17時台	23.5
18時台	46.9
19時台	6.1
20時以降	0.0
無回答	16.3



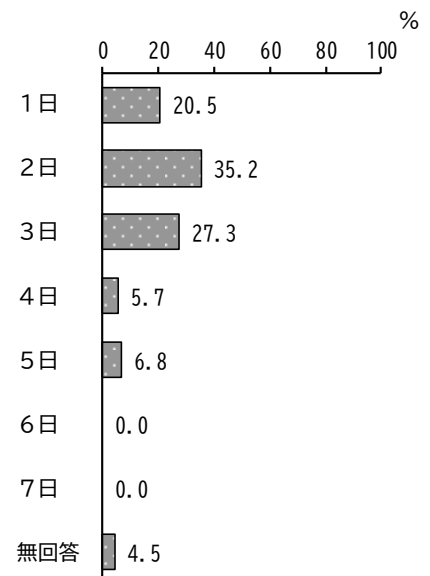
7. ファミリー・サポート・センター

「1 日」、「3 日」が2件となっています。

8. その他

「2 日」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「3 日」の割合が 27.3%、「1 日」の割合が 20.5%となっています。

回答者数 = 88

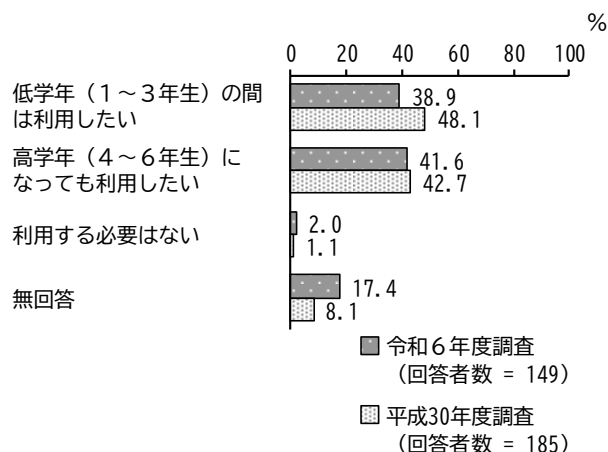


問 29 問 27 または問 28 で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に回答された方にうかがいます。
 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望をご記入ください。
 ((1)～(3) それぞれに○は1つ) また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(数字を記入)

(1) 平日

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が41.6%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が38.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



利用したい時間帯

開始時刻

「15 時台」の割合が28.3%と最も高く、次いで「14 時台」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 120

13時台

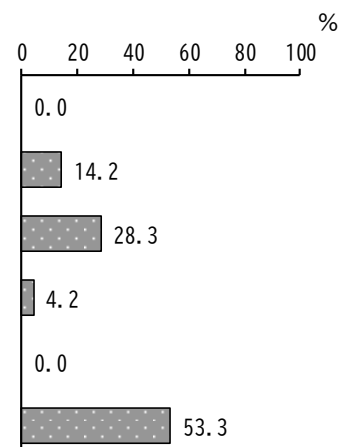
14時台

15時台

16時台

17時以降

無回答



終了時刻

「18 時台」の割合が57.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が24.2%となっています。

回答者数 = 120

15時台

16時台

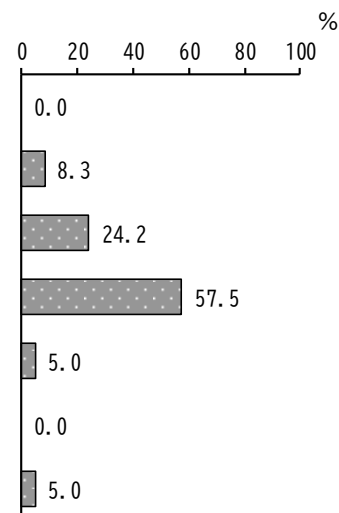
17時台

18時台

19時台

20時以降

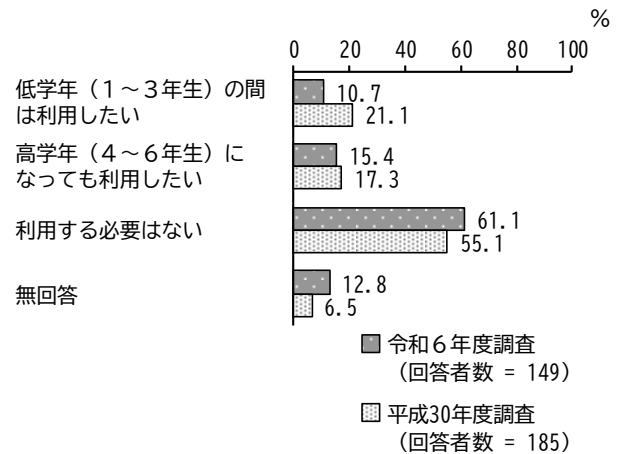
無回答



(2) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が61.1%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が15.4%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が減少しています。

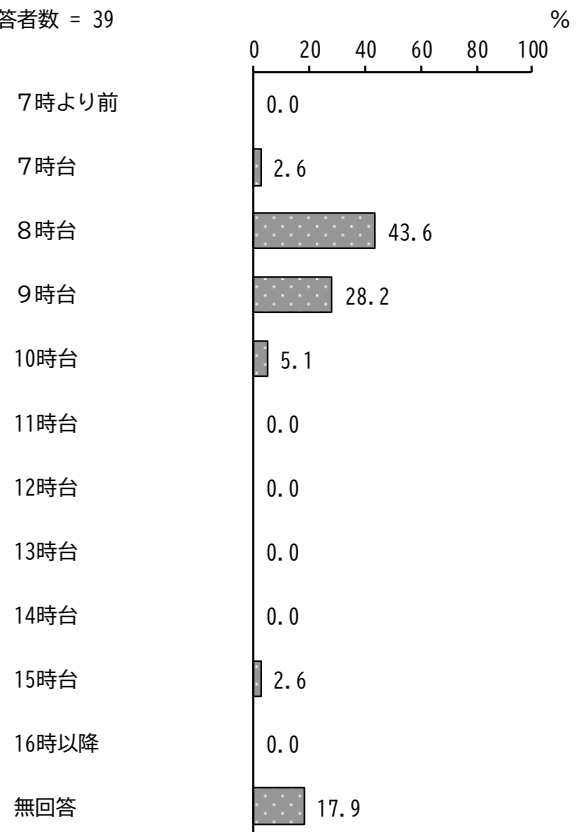


利用したい時間帯

開始時刻

「8時台」の割合が43.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.2%となっています。

回答者数 = 39



終了時刻

「18 時台」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「16 時台」、「17 時台」の割合が 12.8%となっています。

回答者数 = 39

12時より前

12時台

13時台

14時台

15時台

16時台

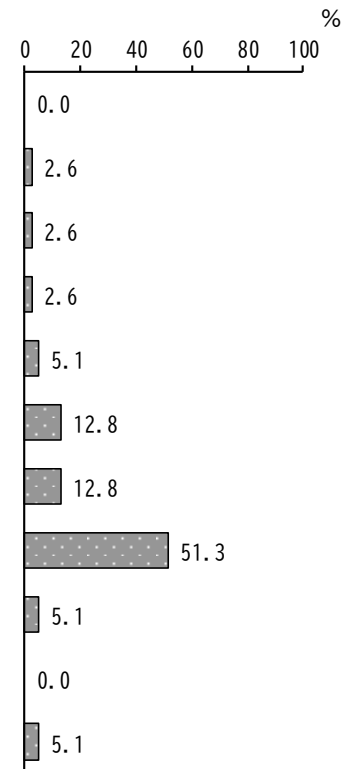
17時台

18時台

19時台

20時以降

無回答



(3) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 74.5%と最も高くなっています。

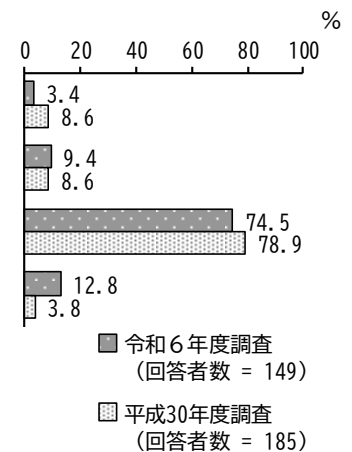
平成 30 年度調査と比較すると、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が減少しています。

低学年（1～3 年生）の間
は利用したい

高学年（4～6 年生）に
なっても利用したい

利用する必要はない

無回答



利用したい時間帯

開始時刻

「8時台」の割合が52.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.6%となっています。

回答者数 = 19

7時より前

7時台

8時台

9時台

10時台

11時台

12時台

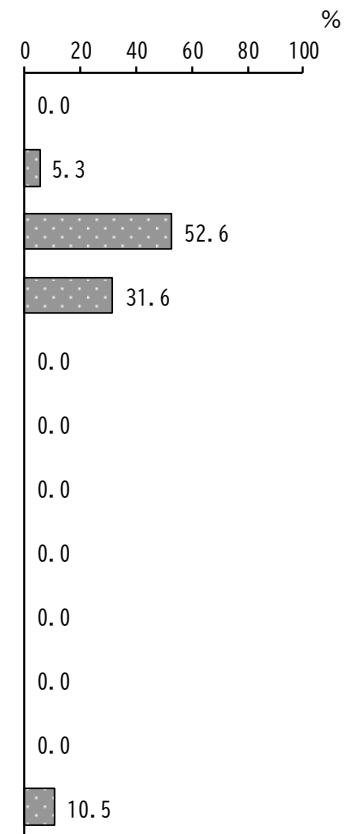
13時台

14時台

15時台

16時以降

無回答



終了時刻

「18時台」の割合が57.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が15.8%、「16時台」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 19

12時より前

12時台

13時台

14時台

15時台

16時台

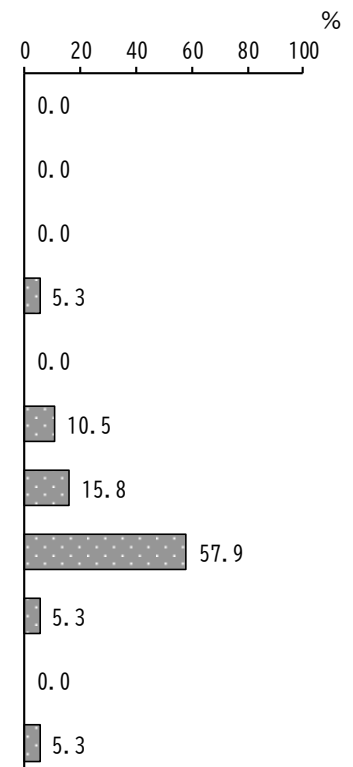
17時台

18時台

19時台

20時以降

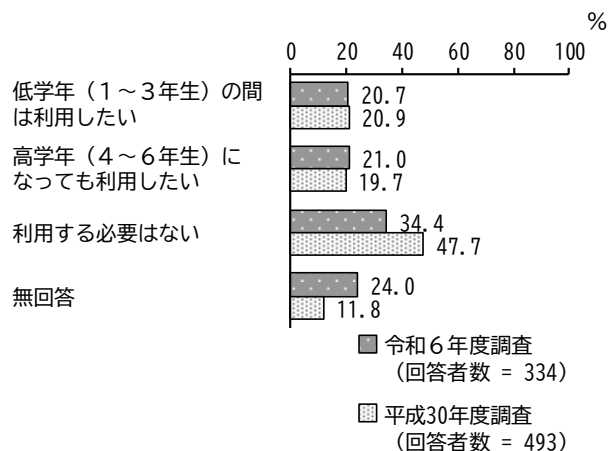
無回答



問 30 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ) 事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例) 09 時～18 時のように、24 時間制で記入してください。

「利用する必要はない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 21.0%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 20.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

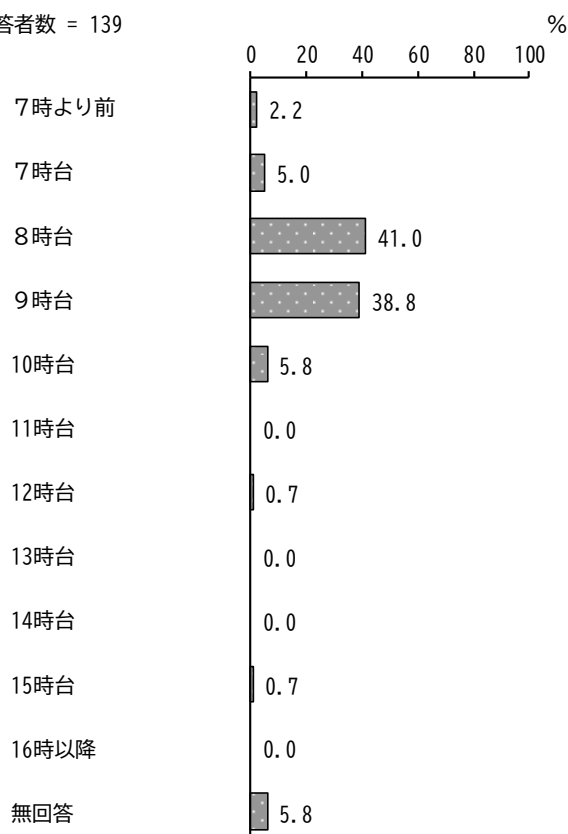


利用したい時間帯

開始時刻

「8 時台」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 38.8%となっています。

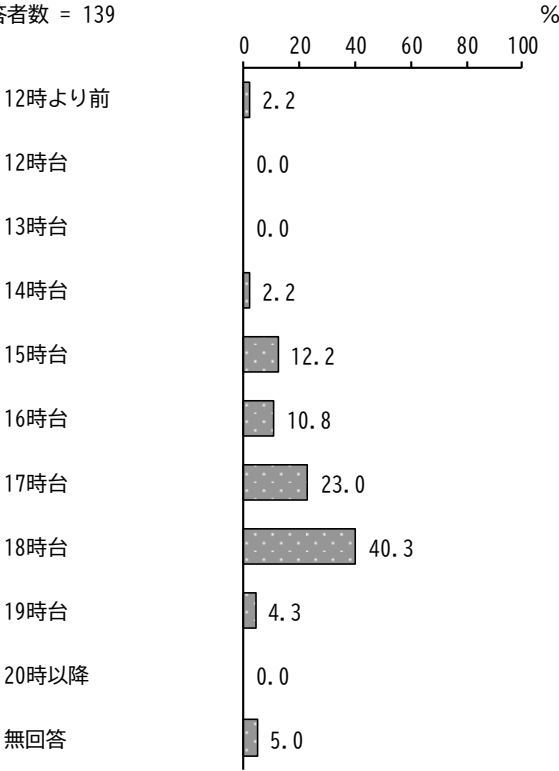
回答者数 = 139



終了時刻

「18 時台」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.0%、「15 時台」の割合が 12.2%となっています。

回答者数 = 139



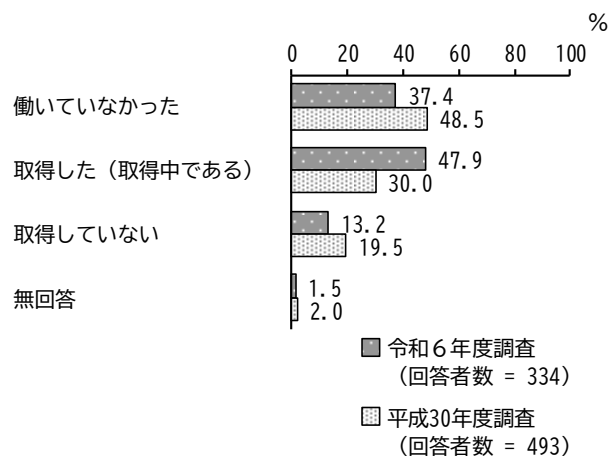
(12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 31 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ) また、取得していない方はその理由をご記入ください。(数字を記入)

母親 (○は1つ)

「取得した(取得中である)」の割合が47.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が37.4%、「取得していない」の割合が13.2%となっています。

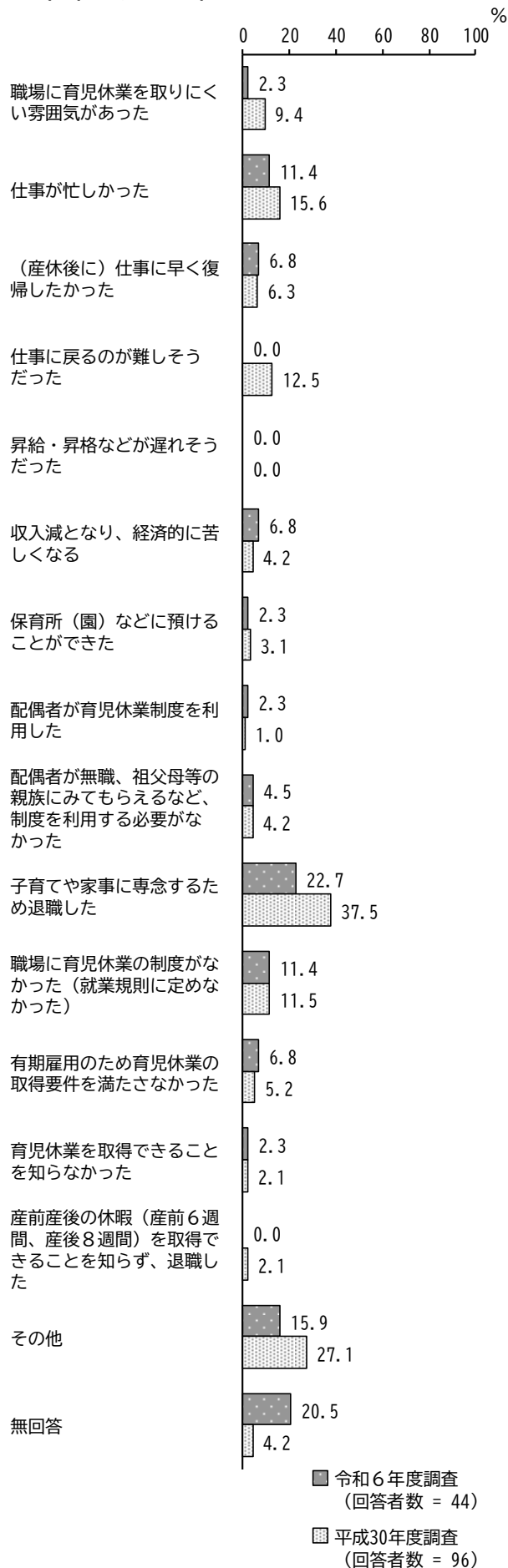
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」「取得していない」の割合が減少しています。



取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）」の割合が 11.4%となっています。

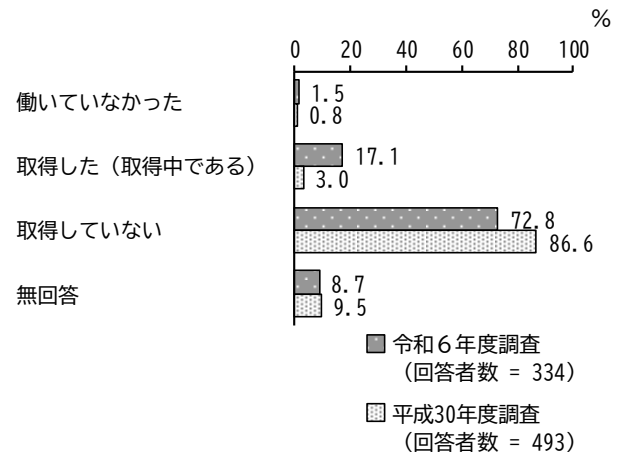
平成 30 年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。



父親（〇は1つ）

「取得していない」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 17.1%となっています。

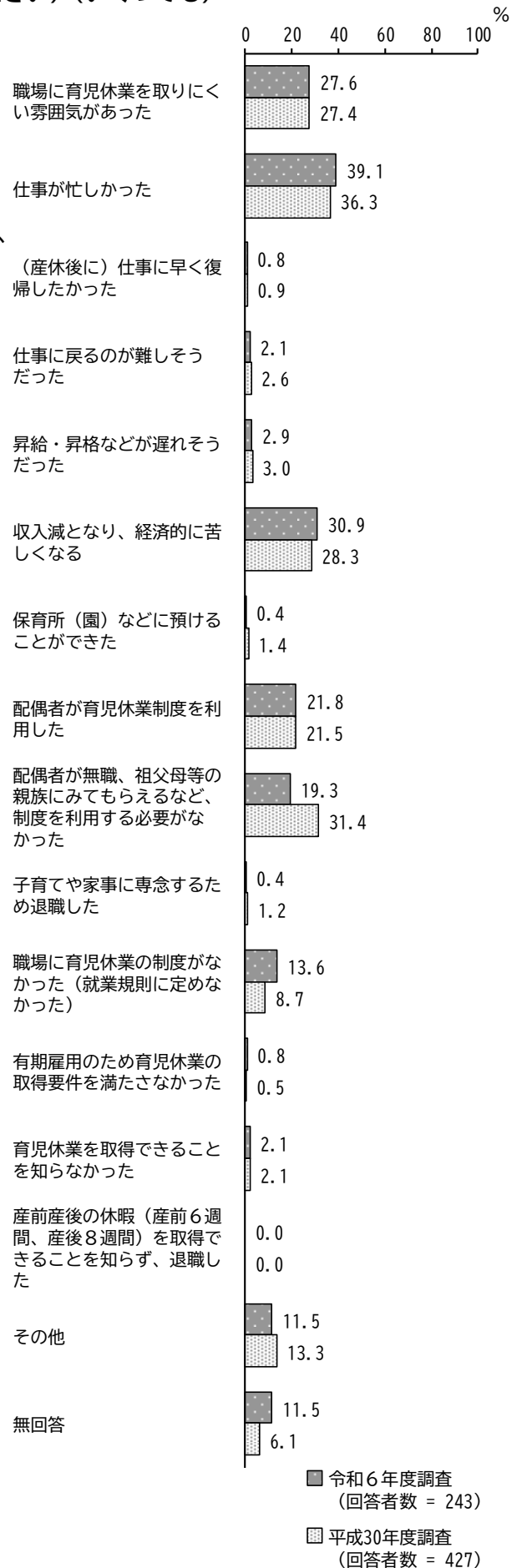
平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「仕事が忙しかった」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 30.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 27.6%となっています。

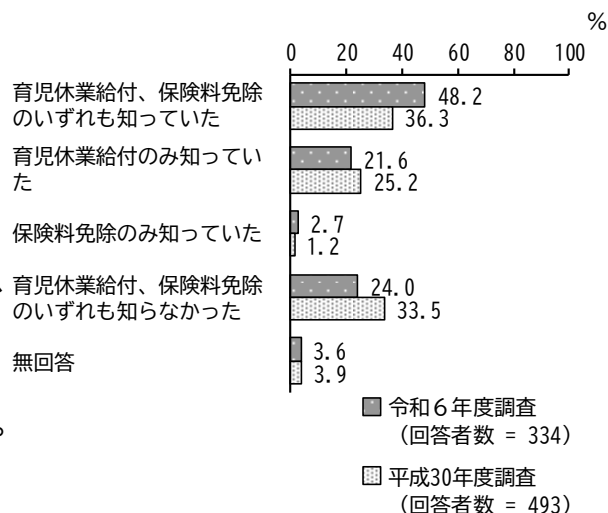
平成 30 年度調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問 31－1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（○は 1 つ）

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 24.0%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 21.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が減少しています。

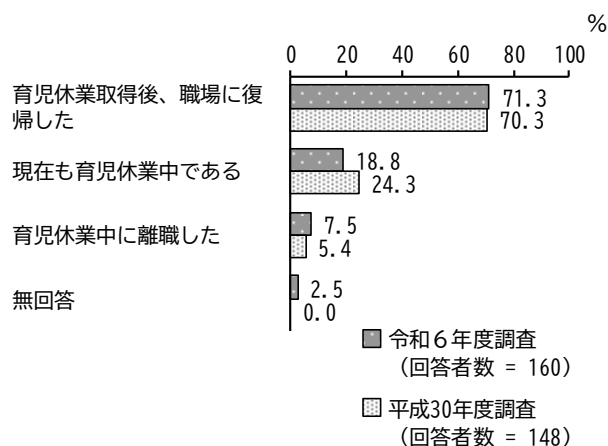


問 31－2 問 31 で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
（該当しない方は、問 32 へ）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は 1 つ）

（１）母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 18.8%となっています。

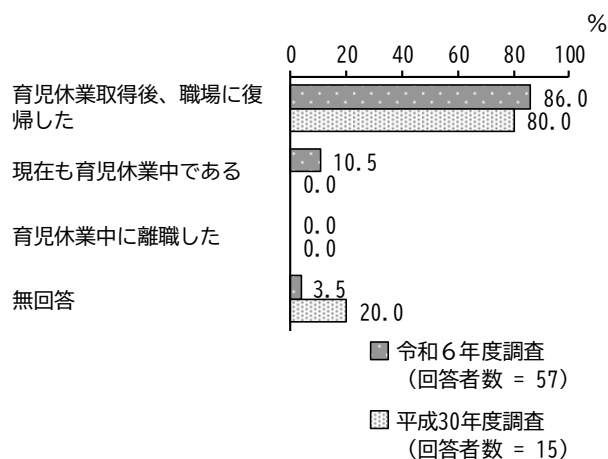
平成 30 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が減少しています。



（２）父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 86.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 10.5%となっています。

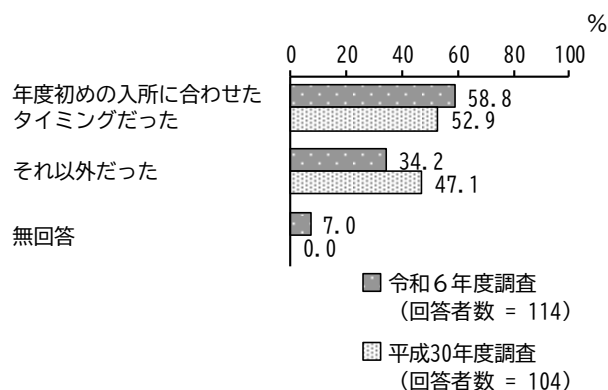
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。



問 31－3 問 31－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングで
したか。あるいはそれ以外でしたか。(○は1つ)

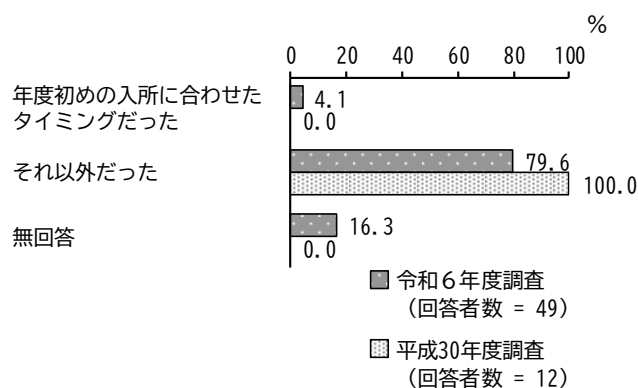
(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 58.8%、「それ以外だった」の割合が 34.2%となっています。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 4.1%、「それ以外だった」の割合が 79.6%となっています。



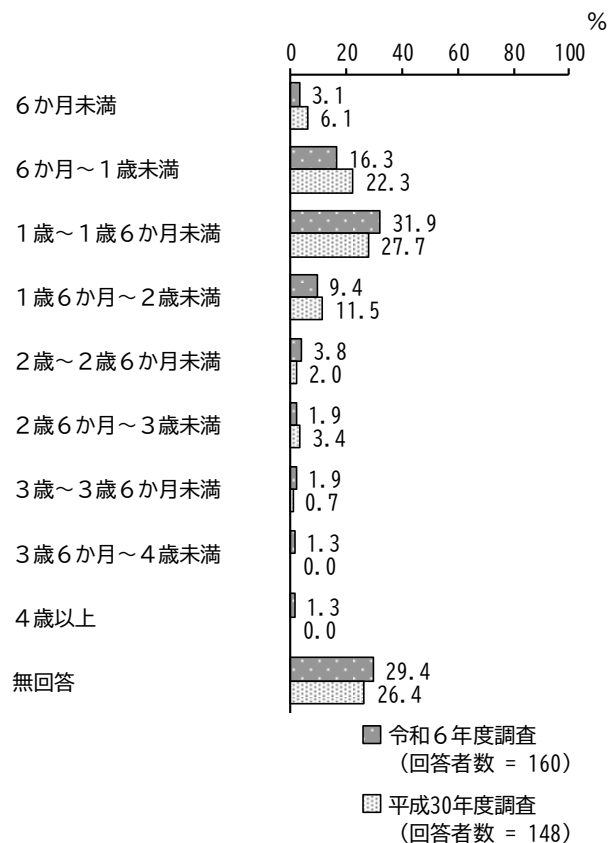
問 31－4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったのですか。（数字を記入）

（１）母親

実際の取得期間

「１歳～１歳６か月未満」の割合が31.9%と最も高く、次いで「６か月～１歳未満」の割合が16.3%となっています。

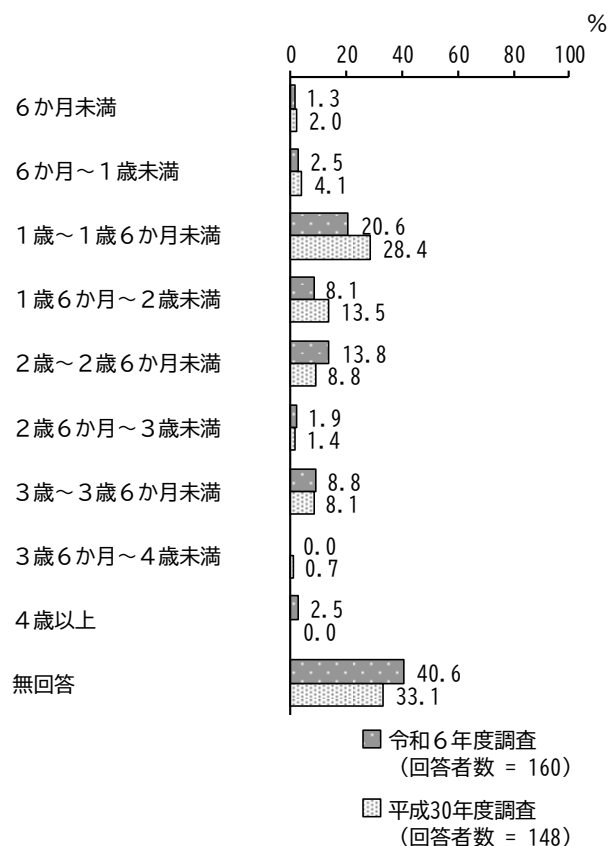
平成30年度調査と比較すると、「６か月～１歳未満」の割合が減少しています。



希望

「１歳～１歳６か月未満」の割合が20.6%と最も高く、次いで「２歳～２歳６か月未満」の割合が13.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「２歳～２歳６か月未満」の割合が増加しています。一方、「１歳～１歳６か月未満」「１歳６か月～２歳未満」の割合が減少しています。

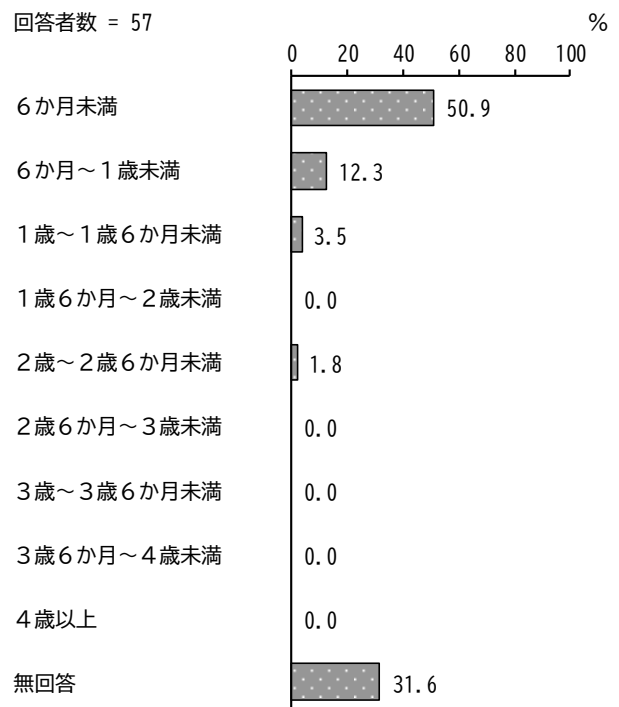


(2) 父親

実際の取得期間

「6か月未満」の割合が50.9%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」の割合が12.3%となっています。

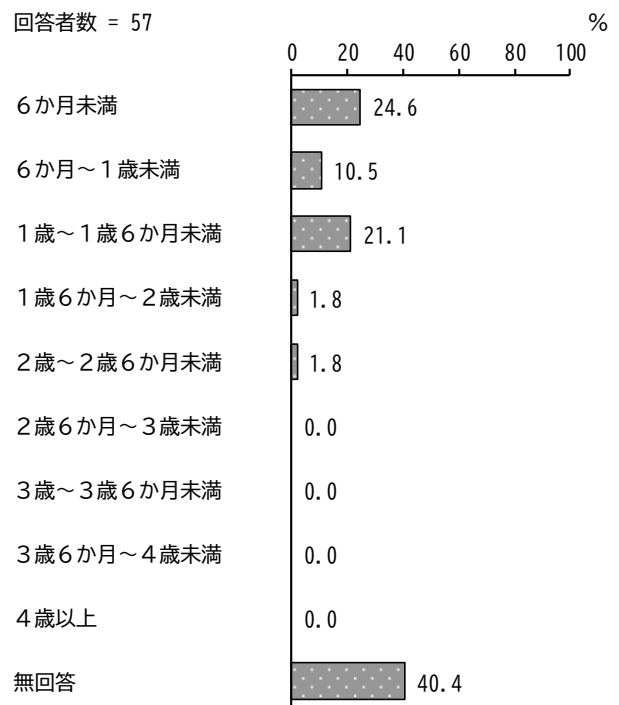
回答者数 = 57



希望

「6か月未満」の割合が24.6%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が21.1%、「6か月～1歳未満」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 57

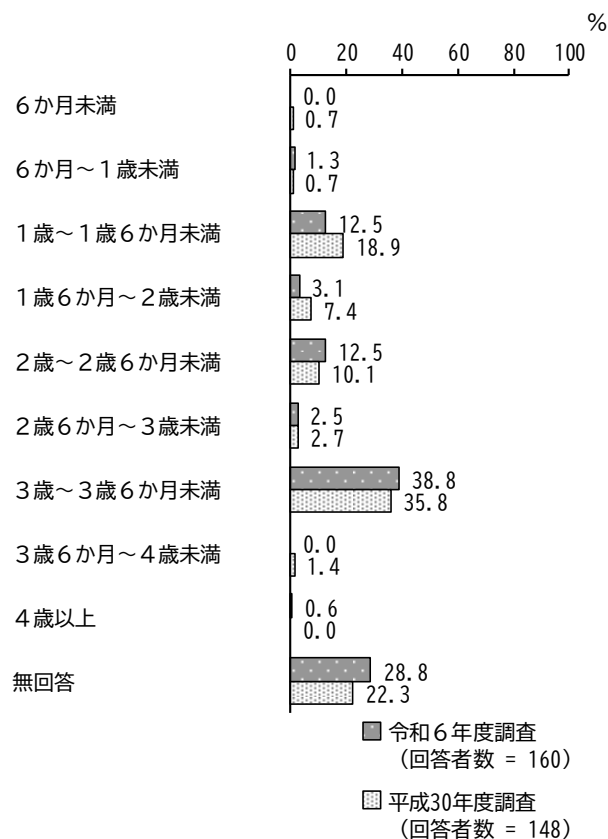


問 31－5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)

(1) 母親

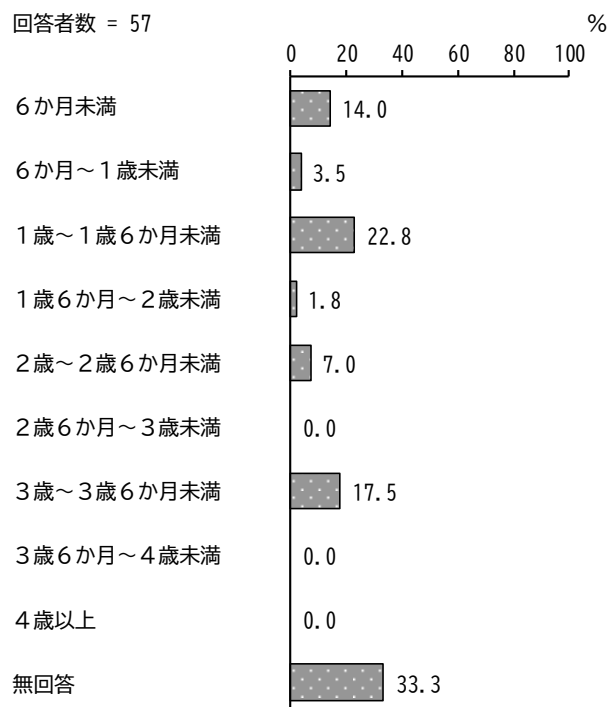
「3歳～3歳6か月未満」の割合が38.8%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」、「2歳～2歳6か月未満」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳～1歳6か月未満」の割合が減少しています。



(2) 父親

「1歳～1歳6か月未満」の割合が22.8%と最も高く、次いで「3歳～3歳6か月未満」の割合が17.5%、「6か月未満」の割合が14.0%となっています。



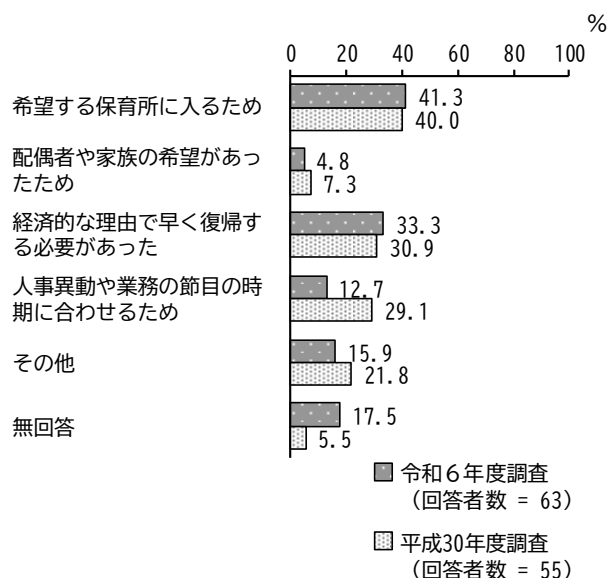
問 31－6 問 31－4 で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(○はいくつでも)

①母親

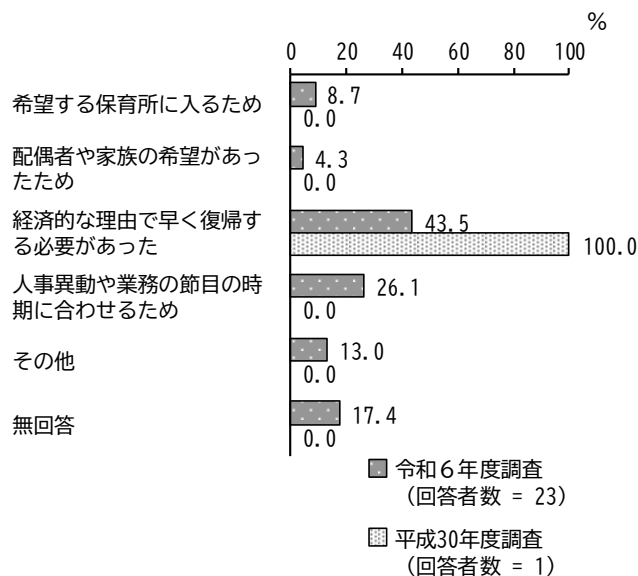
「希望する保育所に入るため」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 33.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 12.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。



②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 26.1%となっています。

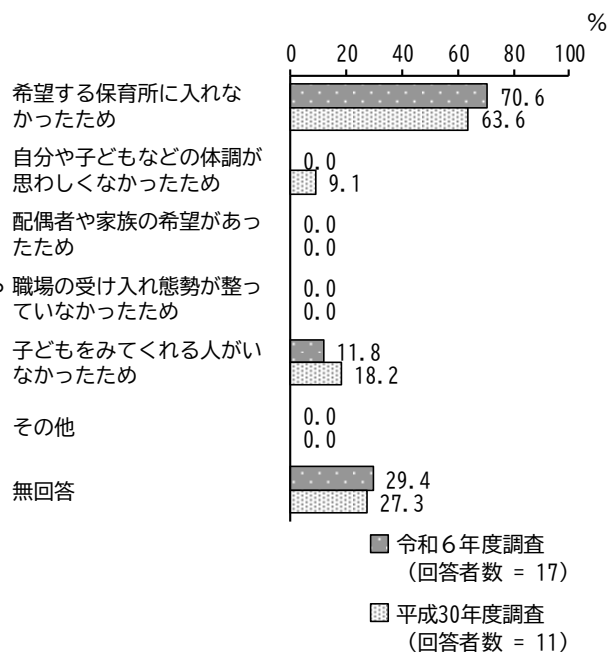


(2)「希望」より遅く復帰した方(○はいくつでも)

①母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が70.6%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が増加しています。一方、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が減少しています。



②父親

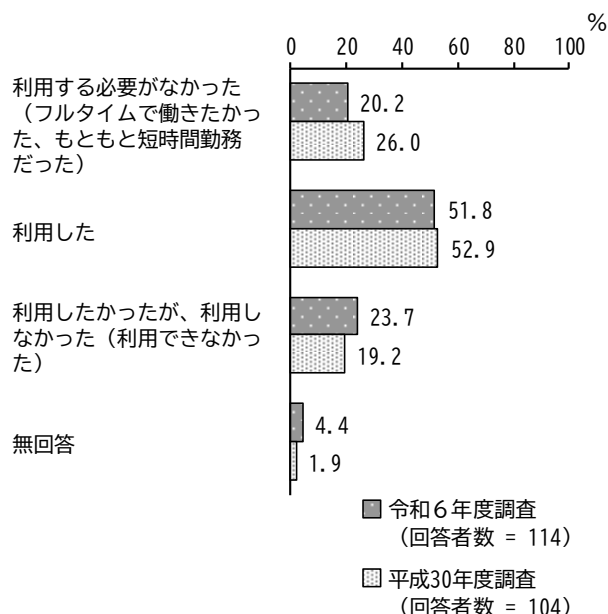
有効回答がありませんでした。

問 31－7 問 31－2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)

(1) 母親

「利用した」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が 23.7%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 20.2%となっています。

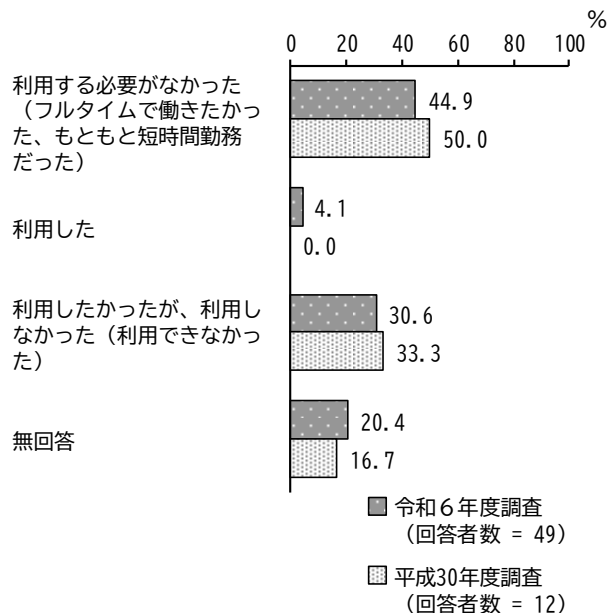
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が減少しています。



(2) 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が 30.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が減少しています。



問 31－8 問 31－7で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

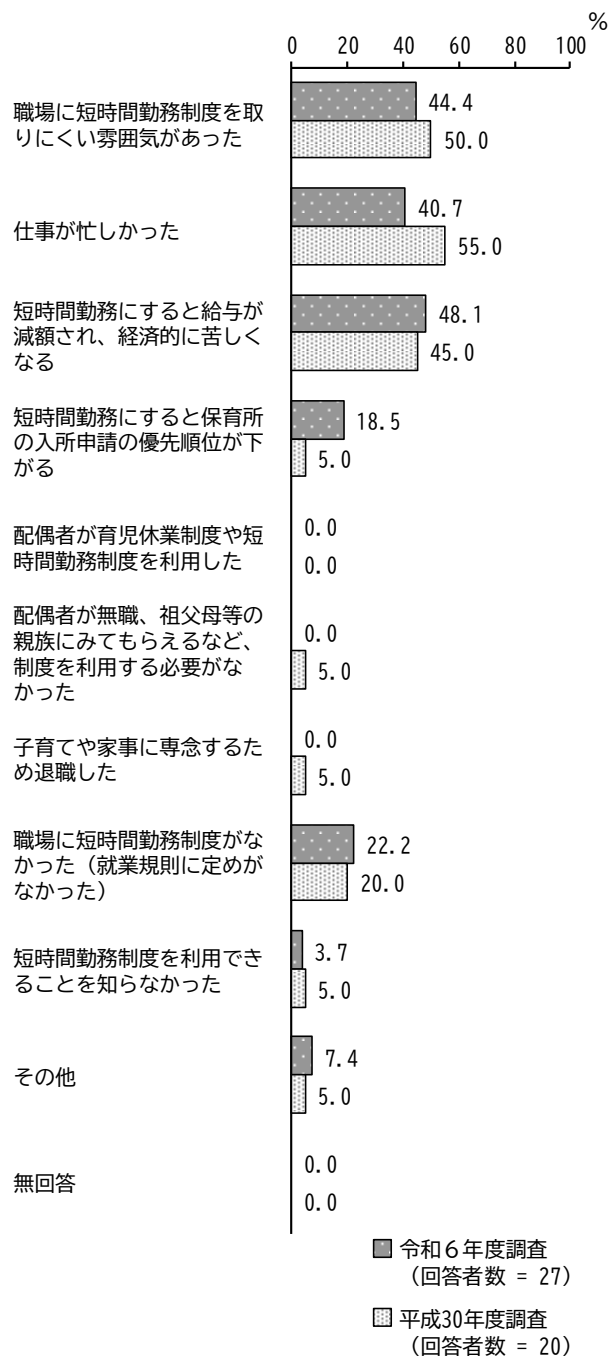
短時間勤務制度を利用しなかった、利用できなかった理由は何ですか。

（〇はいくつでも）

（１）母親

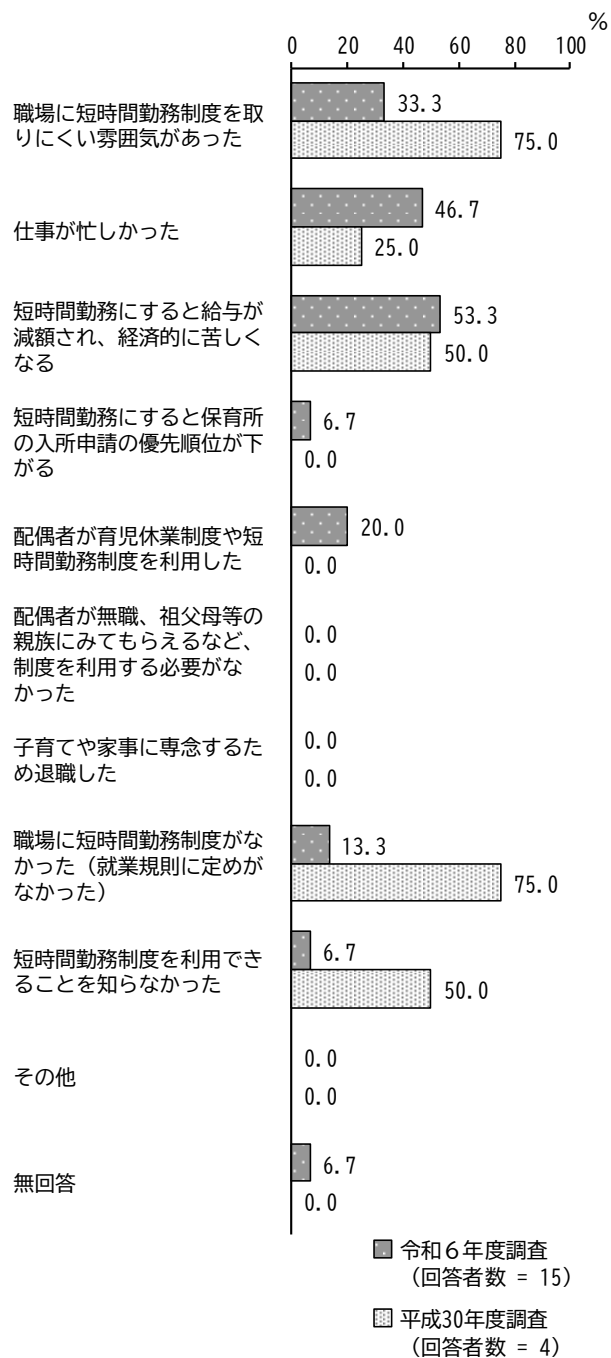
「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 44.4%、「仕事が忙しかった」の割合が 40.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が減少しています。



(2) 父親

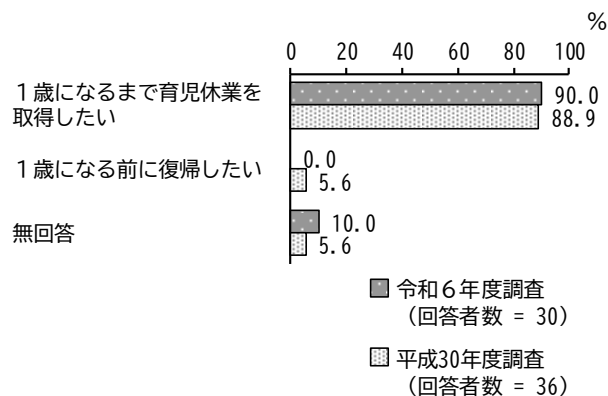
「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 46.7%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 33.3%となっています。



問 31－9 問 31－2で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(○はひとつ)

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が90.0%となっています。



(2) 父親

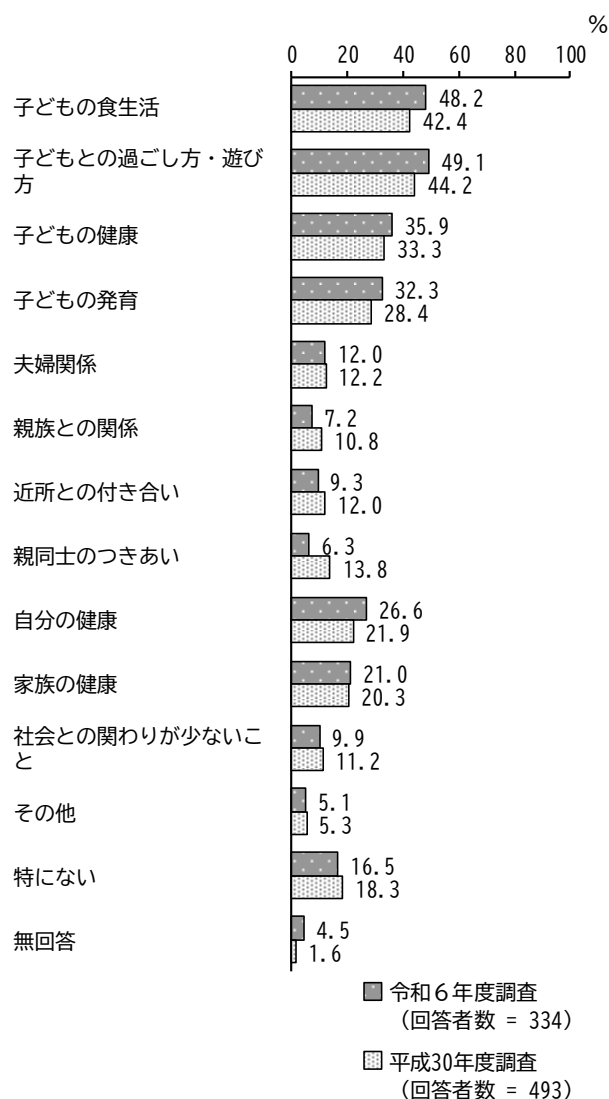
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が3件、「1歳になる前に復帰したい」が2件となっています。

(13) 現状での子育て環境の満足度等について

問 32 現在、子育てをしていて感じている悩みは何ですか。(〇はいくつでも)

「子どもとの過ごし方・遊び方」の割合が49.1%と最も高く、次いで「子どもの食生活」の割合が48.2%、「子どもの健康」の割合が35.9%となっています。

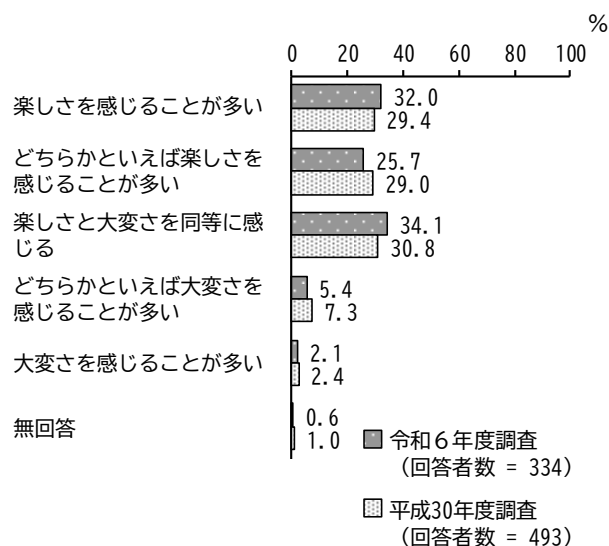
平成30年度調査と比較すると、「子どもの食生活」の割合が増加しています。一方、「親同士のつきあい」の割合が減少しています。



問 33 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。(〇は1つ)

「楽しさと同様に感じる」の割合が34.1%と最も高く、次いで「楽しさを感じる人が多い」の割合が32.0%、「どちらかといえば楽しさを感じる人が多い」の割合が25.7%となっています。

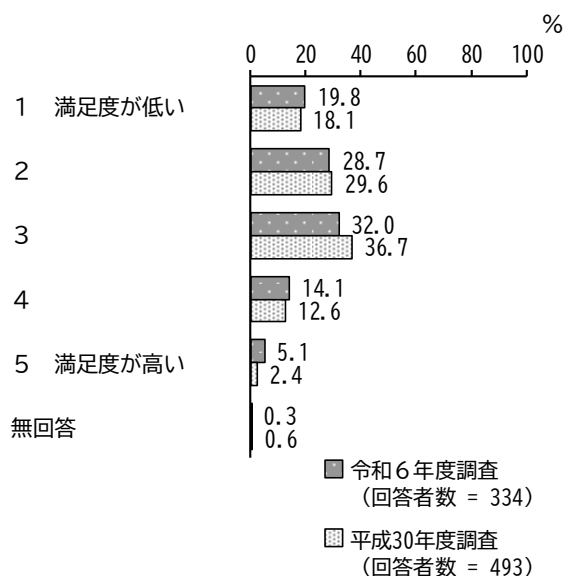
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(〇は1つ)

「3」の割合が32.0%と最も高く、次いで「2」の割合が28.7%、「1 満足度が低い」の割合が19.8%となっています。

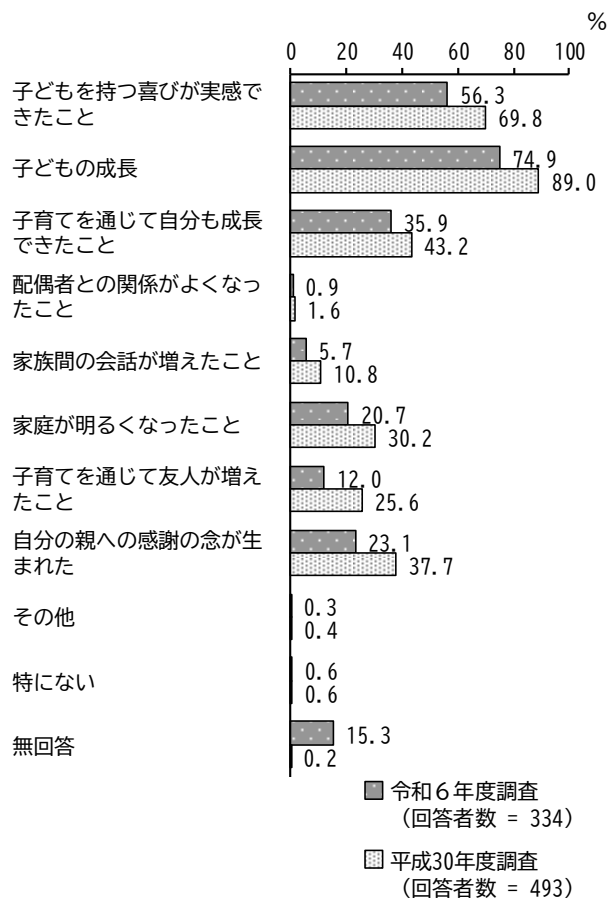
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 35 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。(〇は3つまで)

「子どもの成長」の割合が74.9%と最も高く、次いで「子どもを持つ喜びが実感できたこと」の割合が56.3%、「子育てを通じて自分も成長できたこと」の割合が35.9%となっています。

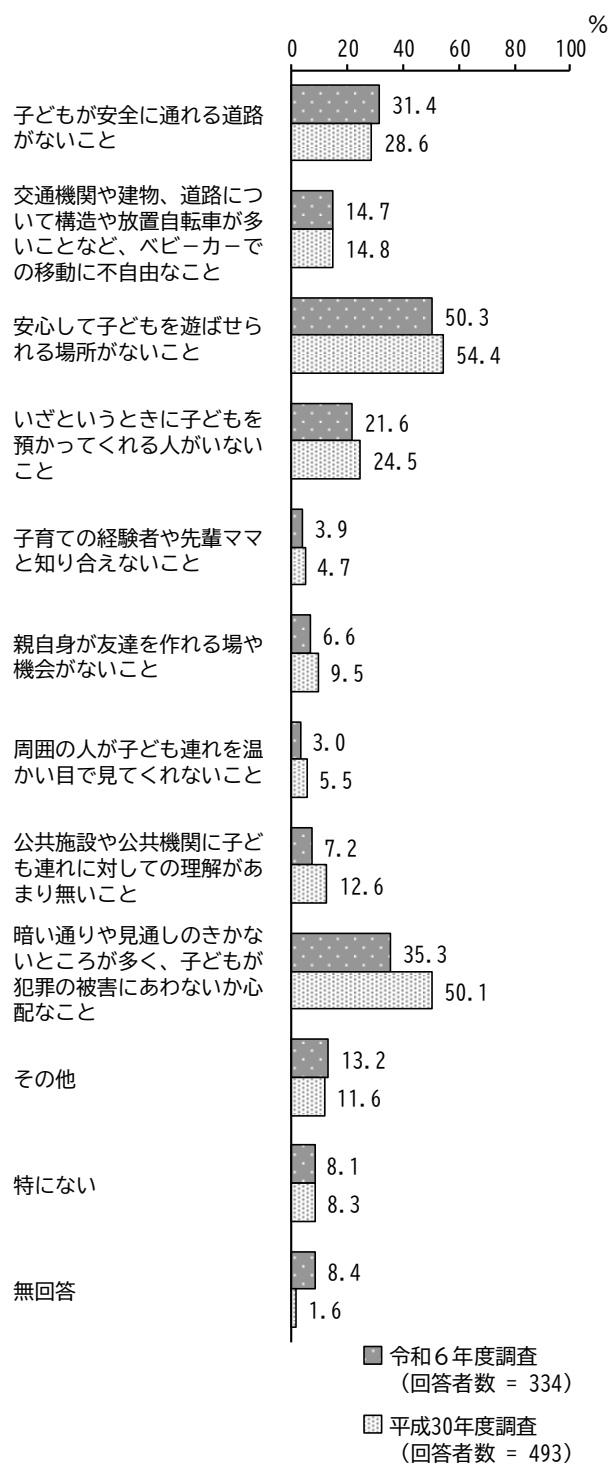
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもを持つ喜びが実感できたこと」「子どもの成長」「子育てを通じて自分も成長できたこと」「家族間の会話が増えたこと」「家庭が明るくなったこと」「子育てを通じて友人が増えたこと」「自分の親への感謝の念が生まれた」の割合が減少しています。



問 36 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。
(〇は3つまで)。

「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」の割合が 35.3%、「子どもが安全に通れる道路がないこと」の割合が 31.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「公共施設や公共機関に子ども連れに対しての理解があまり無いこと」「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」の割合が減少しています。



問 37 こどもまんなか社会（こどもたちにとって何が最も良いことなのかを常に考える社会）の実現に向かっていていると思いますか。（○は1つ）

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が35.0%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が34.1%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が28.4%となっています。

回答者数 = 334

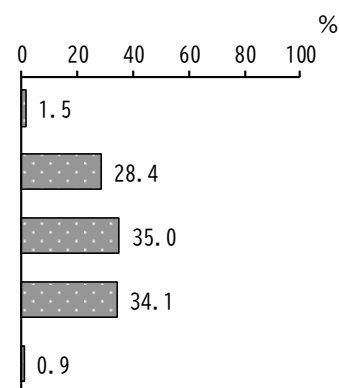
そう思う

どちらかといえば、そう思う

どちらかといえば、そう思わない

そう思わない

無回答



問 38 「こどもは権利の主体である」と思いますか。（○は1つ）

「どちらかといえば、そう思う」の割合が43.1%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が36.8%となっています。

回答者数 = 334

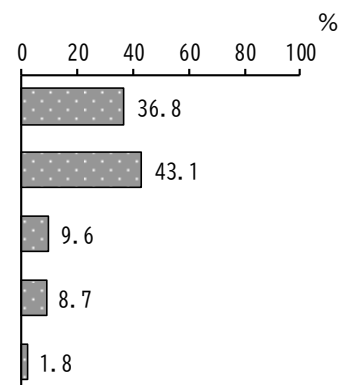
そう思う

どちらかといえば、そう思う

どちらかといえば、そう思わない

そう思わない

無回答



問 39 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか。（○は1つ）

「どちらかといえば、そう思う」の割合が32.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」の割合が32.0%、「そう思わない」の割合が29.6%となっています。

回答者数 = 334

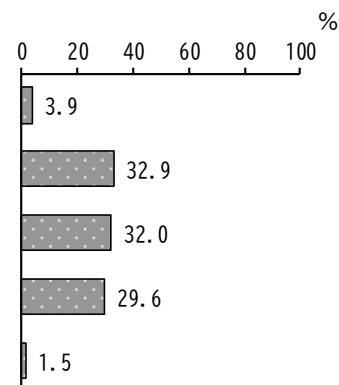
そう思う

どちらかといえば、そう思う

どちらかといえば、そう思わない

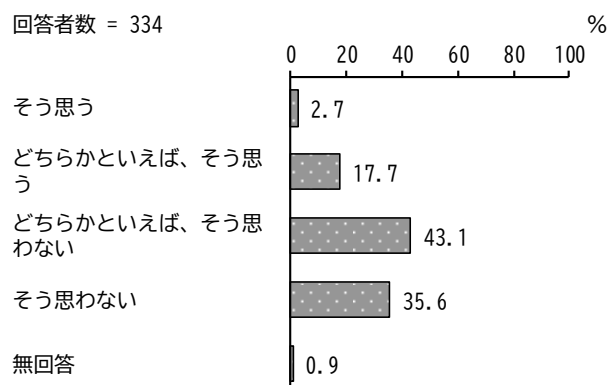
そう思わない

無回答



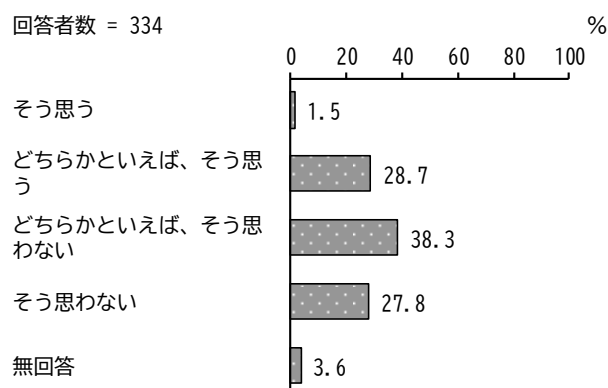
問 40 あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が35.6%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が17.7%となっています。



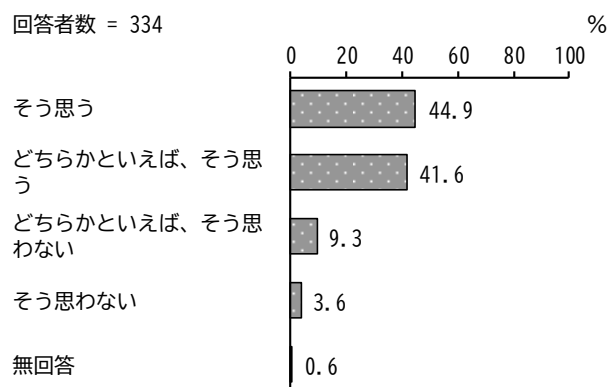
問 41 障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されていると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が38.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が28.7%、「そう思わない」の割合が27.8%となっています。



問 42 「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。(○は1つ)

「そう思う」の割合が44.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が41.6%となっています。

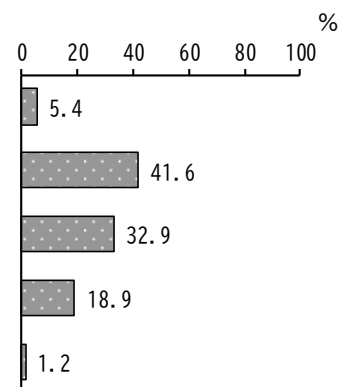


問 43 保護者の子育てが地域で支えられていると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」の割合が41.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」の割合が32.9%、「そう思わない」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 334

そう思う
どちらかといえば、そう思う
どちらかといえば、そう思わない
そう思わない
無回答

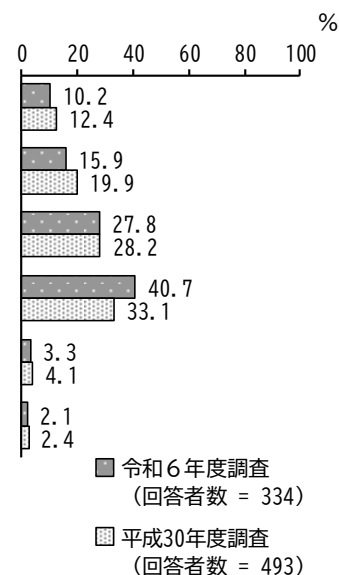


問 44 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。(○は1つ)

「会えばあいさつぐらいはする」の割合が40.7%と最も高く、次いで「たまに立ち話ぐらいはする」の割合が27.8%、「気のあった人と親しくしている」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「会えばあいさつぐらいはする」の割合が増加しています。

困ったとき相談したり、助け合ったりする
気のあった人と親しくしている
たまに立ち話ぐらいはする
会えばあいさつぐらいはする
顔もよく知らない
無回答

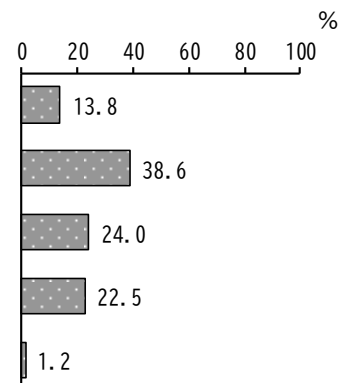


問 45 社会において、共働き・共育て（家庭内で男女ともに仕事や家事、子育てに参画すること）が推進されていると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」の割合が38.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」の割合が24.0%、「そう思わない」の割合が22.5%となっています。

回答者数 = 334

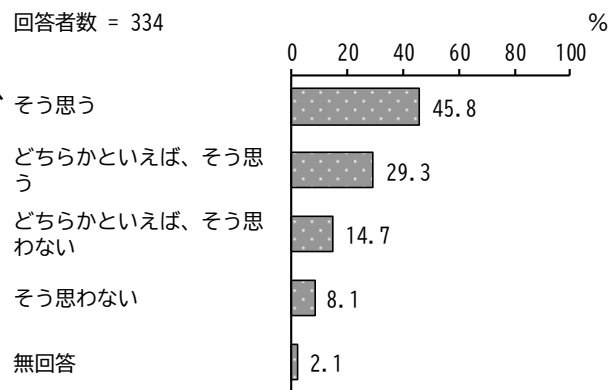
そう思う
どちらかといえば、そう思う
どちらかといえば、そう思わない
そう思わない
無回答



問 46 妊娠・出産について満足していますか。(○は1つ)

「そう思う」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が 29.3%、「どちらかといえば、そう思わない」の割合が 14.7%となっています。

回答者数 = 334

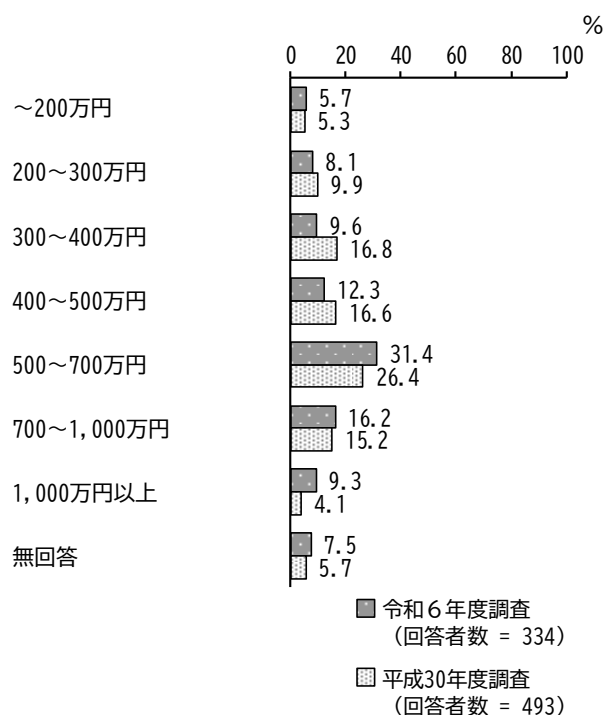


(14) 子育てにかかる費用等について

問 47 世帯の年収をおうかがいします（○は1つ）

「500～700 万円」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「700～1,000 万円」の割合が 16.2%、「400～500 万円」の割合が 12.3%となっています。

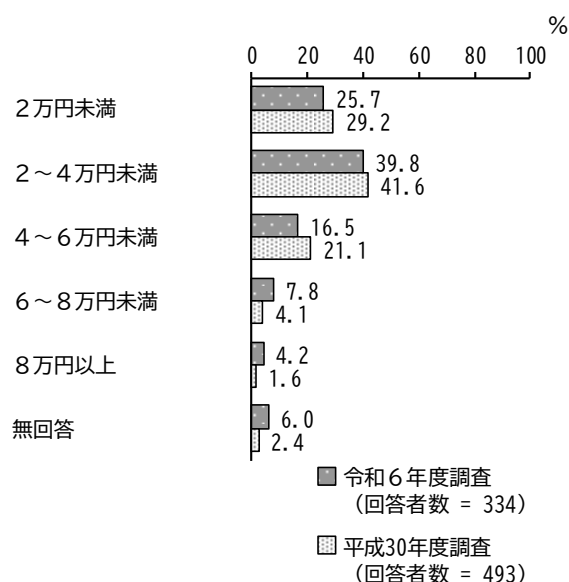
平成 30 年度調査と比較すると、「500～700 万円」「1,000 万円以上」の割合が増加しています。一方、「300～400 万円」の割合が減少しています。



問 48 あて名のお子さんの子育てにかかっている費用は1 カ月いくら位ですか。（○は1つ）

「2～4 万円未満」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「2 万円未満」の割合が 25.7%、「4～6 万円未満」の割合が 16.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



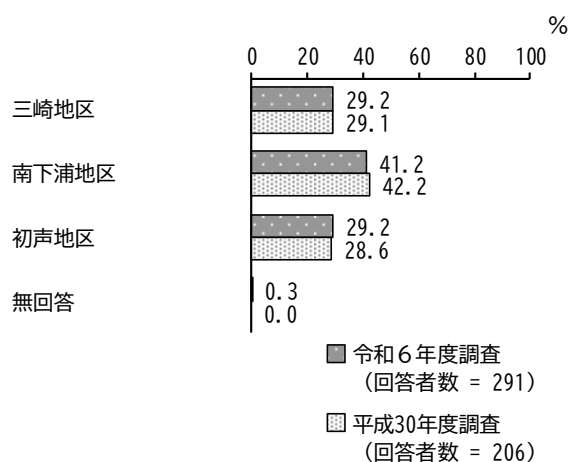
2 小学生の保護者

(1) 居住地域

問1 お住まいの地区（○は1つ）

「南下浦地区」の割合が41.2%と最も高く、次いで「三崎地区」、「初声地区」の割合が29.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

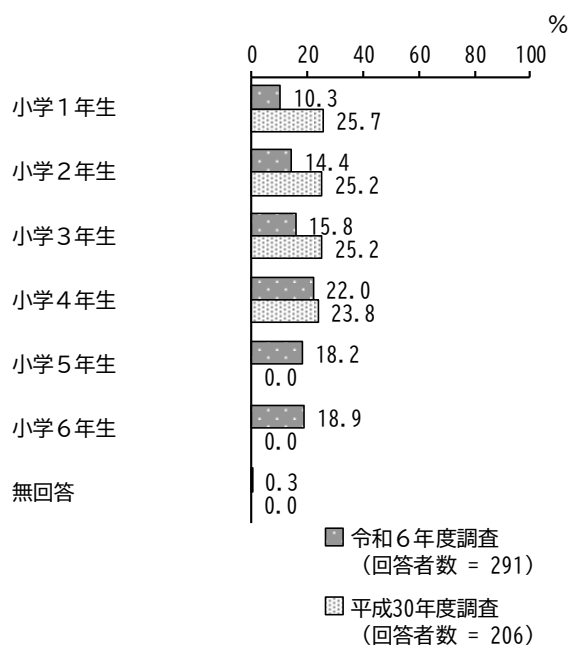


(2) お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの学年 (数字で記入)

「小学4年生」の割合が22.0%と最も高く、次いで「小学6年生」の割合が18.9%、「小学5年生」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「小学5年生」「小学6年生」の割合が増加しています。一方、「小学1年生」「小学2年生」「小学3年生」の割合が減少しています。

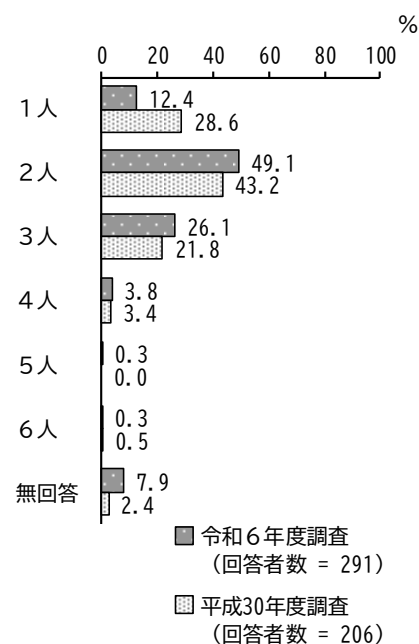


問3 あて名のお子さんのきょうだいはあて名のお子さんを含めて何人ですか。(数字で記入) お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

「2人」の割合が49.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.1%、「1人」の割合が12.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。一方、「1人」の割合が減少しています。



末子の年齢

「9歳～11歳」の割合が28.9%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が26.3%、「3歳～5歳」の割合が22.8%となっています。

回答者数 = 232

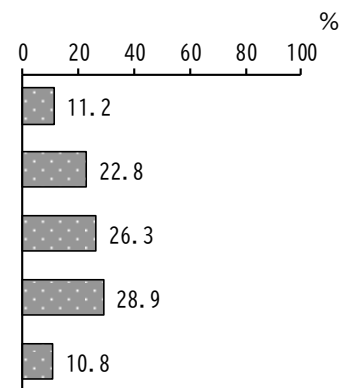
0歳～2歳

3歳～5歳

6歳～8歳

9歳～11歳

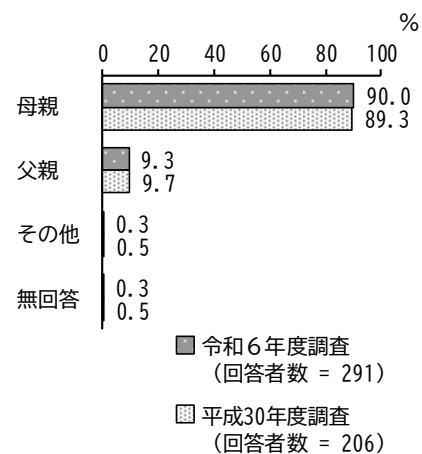
無回答



問4 この調査票にご回答いただく方はあて名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

「母親」の割合が90.0%、「父親」の割合が9.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(○は1つ)

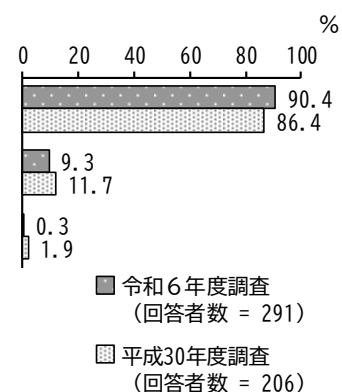
「配偶者がいる」の割合が90.4%、「配偶者はいない」の割合が9.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

配偶者がいる

配偶者はいない

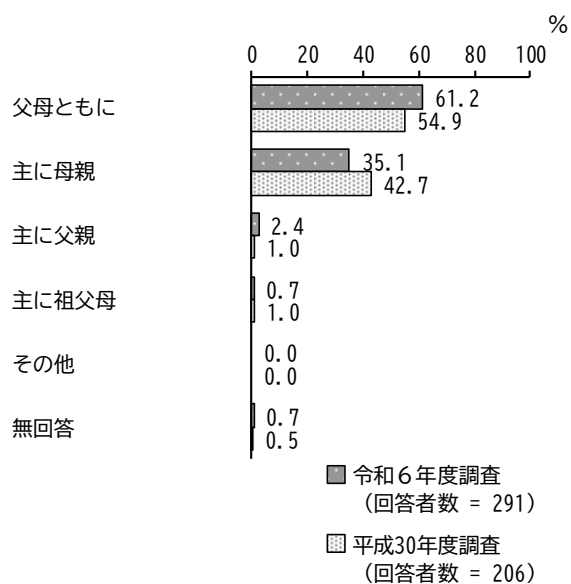
無回答



問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはあて名のお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）

「父母ともに」の割合が61.2%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が35.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

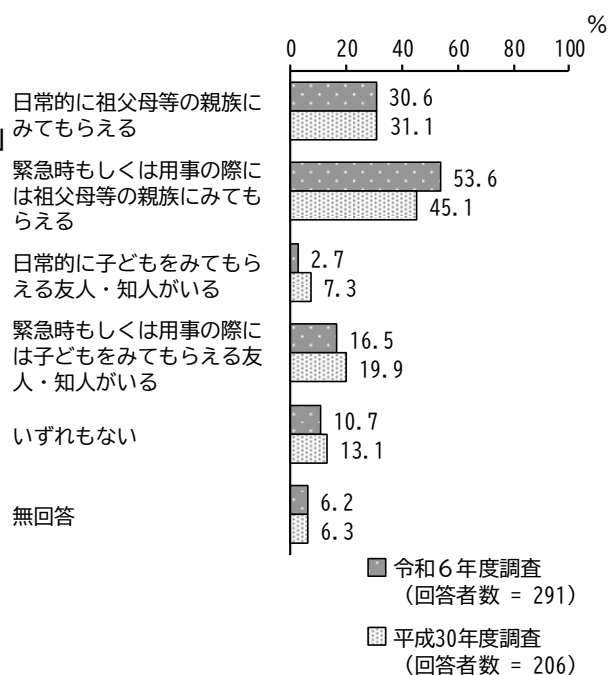


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が53.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が30.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が16.5%となっています。

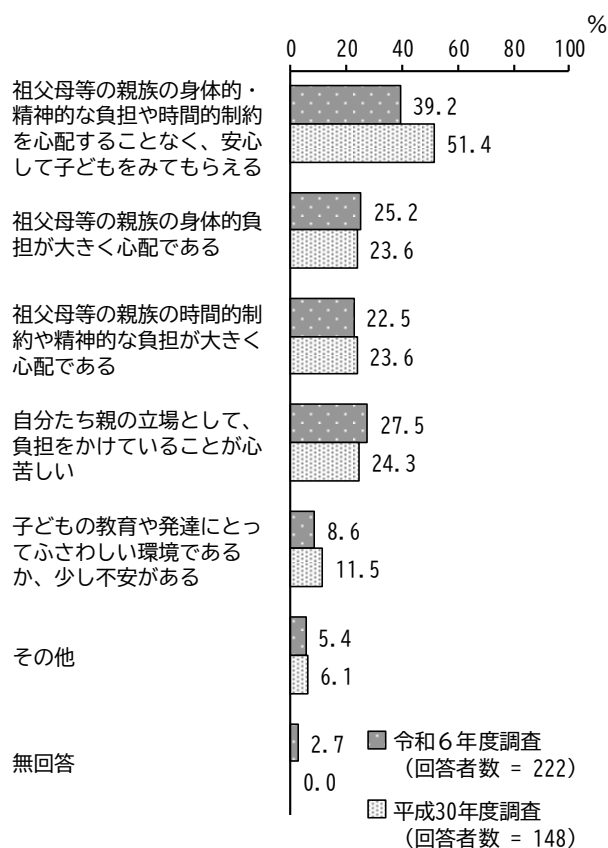
平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しています。



問7-1 問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に回答された方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が39.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が27.5%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が25.2%となっています。

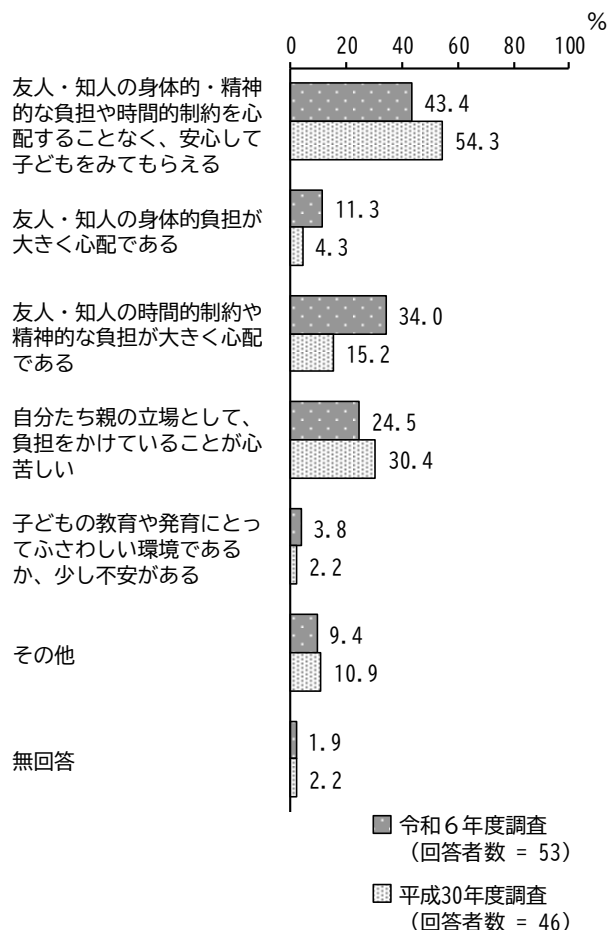
平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問7-2 問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に回答された方にかかっています。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(○はいくつでも)

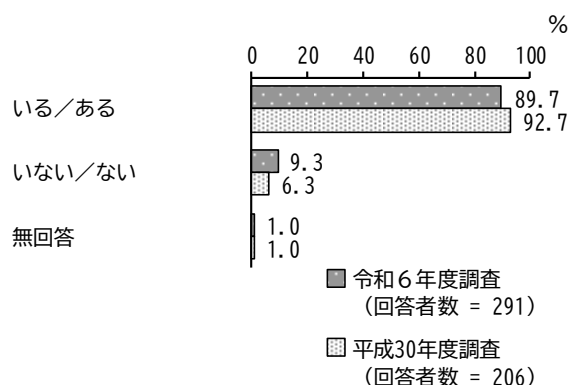
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が43.4%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が34.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が24.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が増加しています。一方、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が89.7%、「いない／ない」の割合が9.3%となっています。

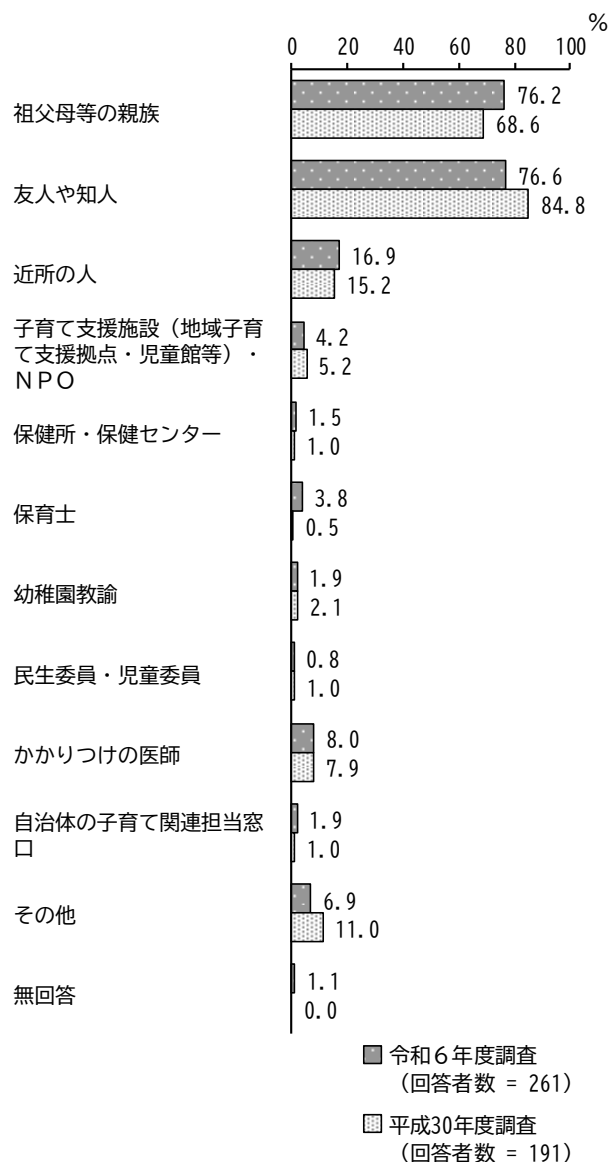


問8－1 問8で「いる／ある」に回答された方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

「友人や知人」の割合が76.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が76.2%、「近所の人」の割合が16.9%となっています。

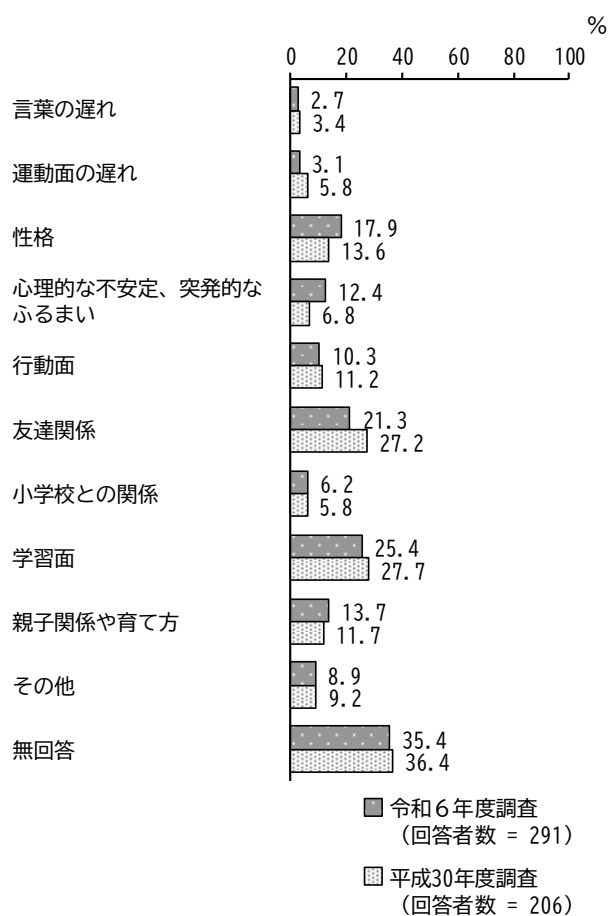
平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」の割合が増加しています。一方、「友人や知人」の割合が減少しています。



問9 あて名のお子さんの発達や育ちについて気になることや心配なことはありますか。
(〇はいくつでも)

「学習面」の割合が25.4%と最も高く、次いで
「友達関係」の割合が21.3%、「性格」の割合が
17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「心理的な不安
定、突発的なふるまい」の割合が増加しています。
一方、「友達関係」の割合が減少しています。



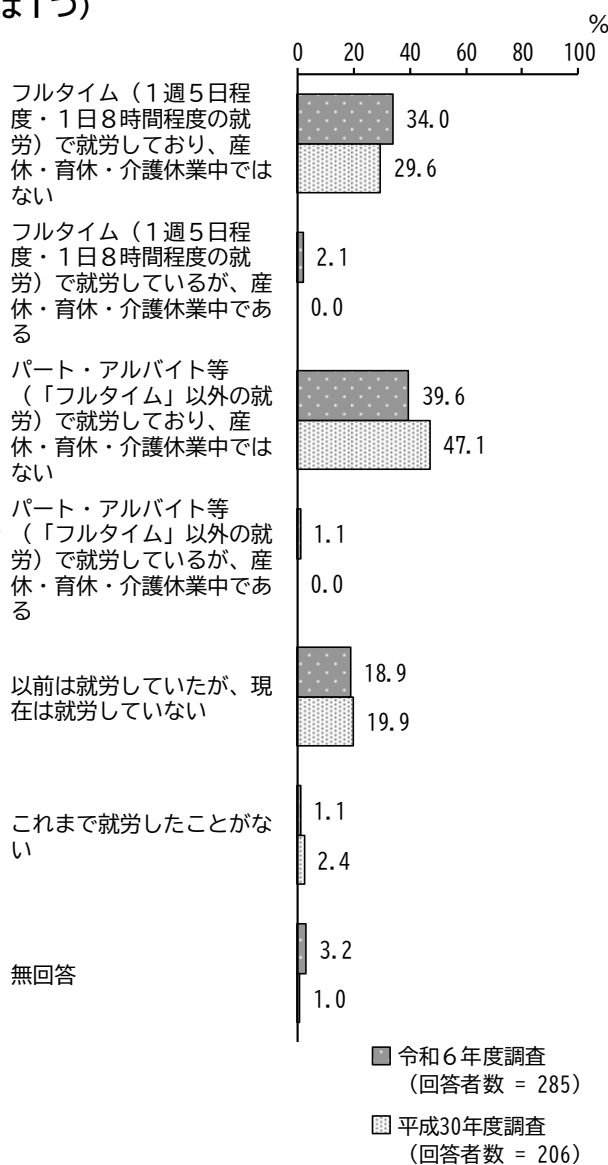
(4) 保護者の就労状況について

問 11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業者を含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 34.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



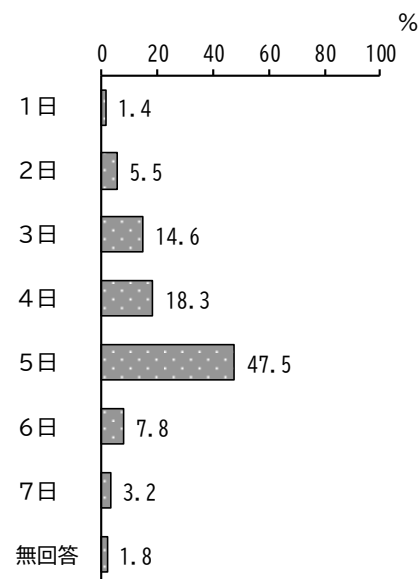
(1) - 1 (1)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たりの就労日数

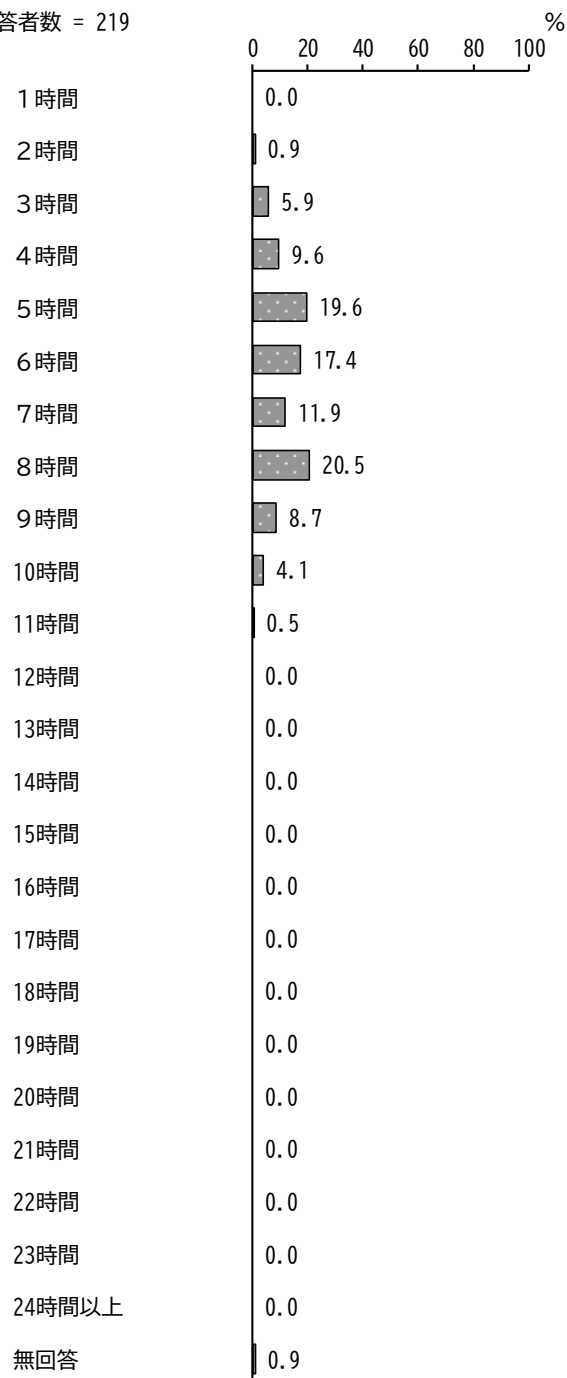
「5日」の割合が47.5%と最も高く、次いで
「4日」の割合が18.3%、「3日」の割合が14.6%
となっています。

回答者数 = 219



1 日当たりの就労時間

「8時間」の割合が 20.5%と最も高く、次いで 回答者数 = 219
「5時間」の割合が 19.6%、「6時間」の割合が
17.4%となっています。



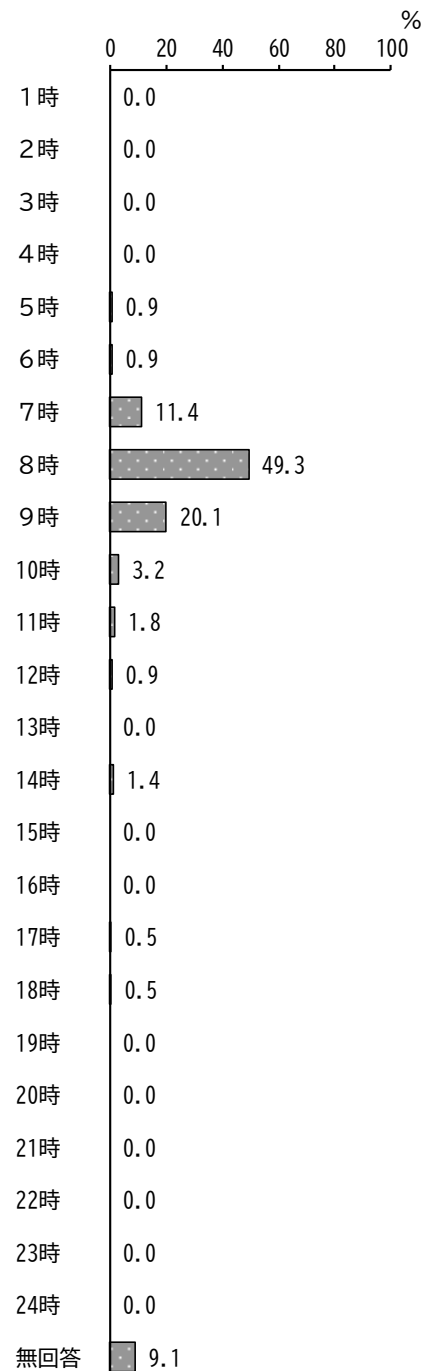
(1)－2 (1)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入) 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制で記入してください。

家を出る時間

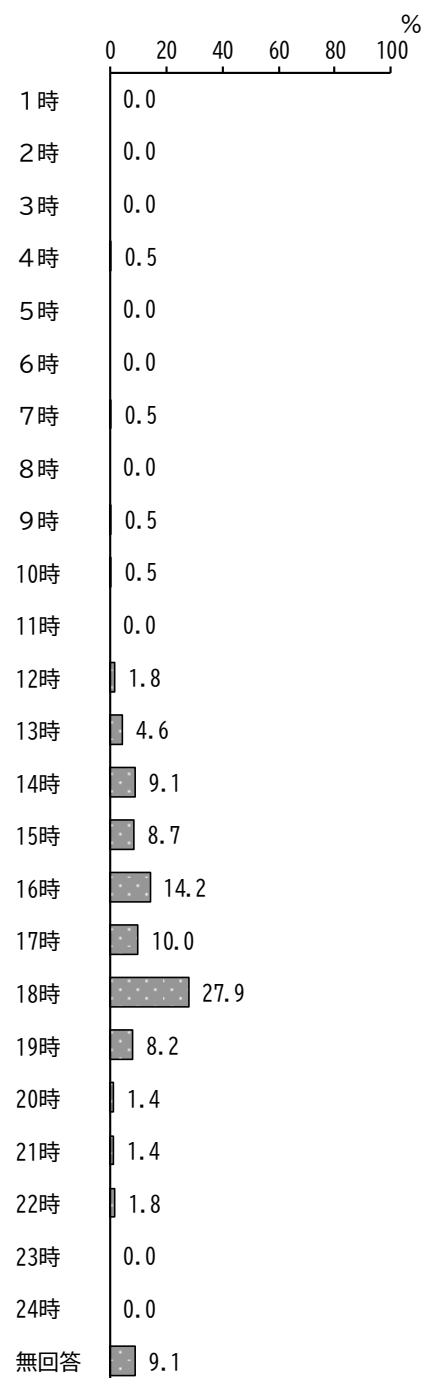
「8時」の割合が49.3%と最も高く、次いで 回答者数 = 219

「9時」の割合が20.1%、「7時」の割合が11.4%
となっています。



帰宅時間

「18 時」の割合が 27.9%と最も高く、次いで 回答者数 = 219
「16 時」の割合が 14.2%、「17 時」の割合が 10.0%
となっています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が88.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

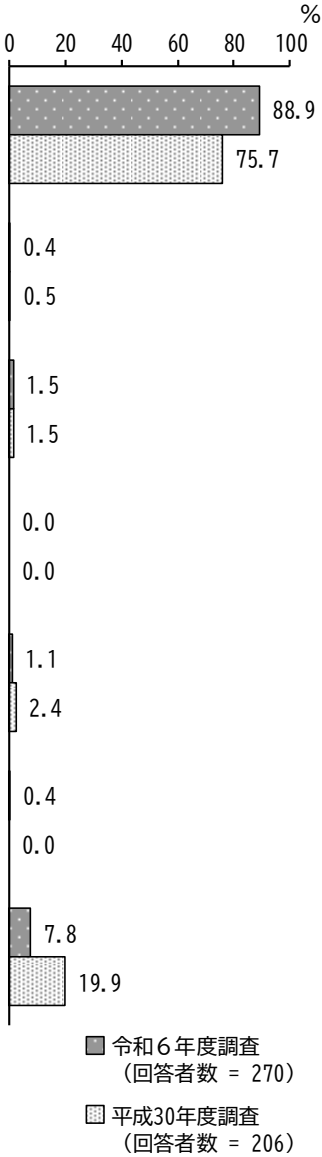
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



(2) - 1 (2)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に回答された方にうかがいます。

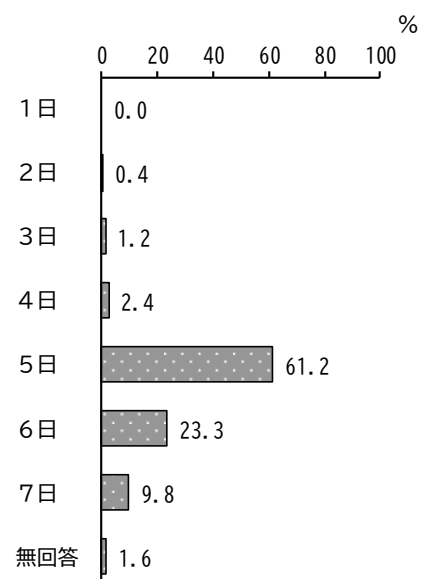
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(数字を記入)

1週当たりの就労日数

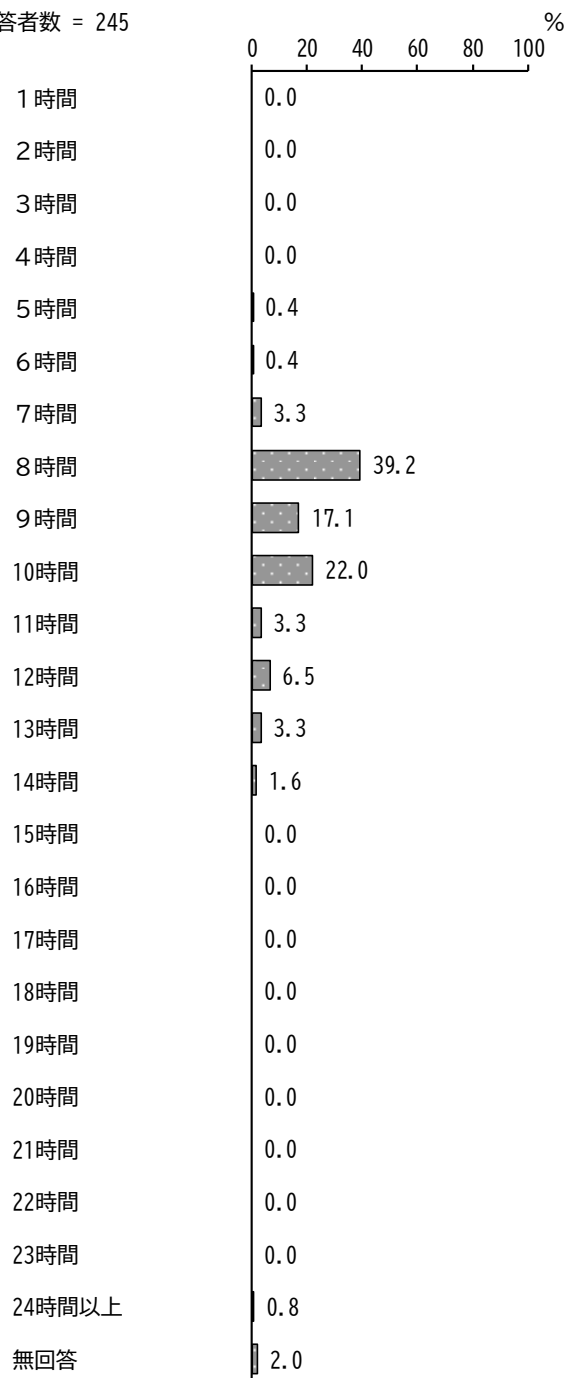
「5日」の割合が61.2%と最も高く、次いで 回答者数 = 245

「6日」の割合が23.3%となっています。



1 日当たりの就労時間

「8時間」の割合が 39.2%と最も高く、次いで 回答者数 = 245
「10 時間」の割合が 22.0%、「9 時間」の割合が
17.1%となっています。



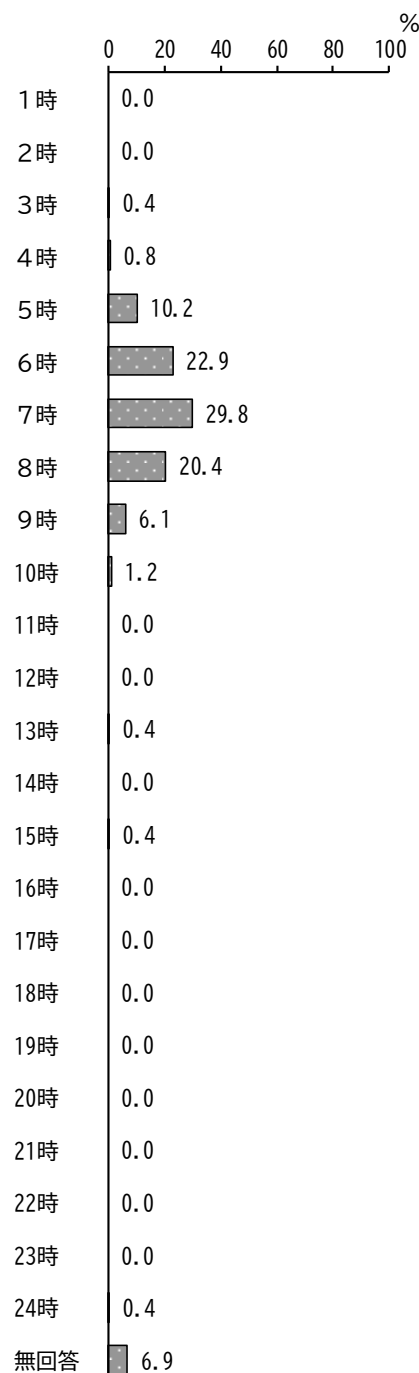
(1) - 2 (2) で「フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労しており、育休・介護休業中ではない～「パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労) で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している) に回答された方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入) 時間は、必ず (例) 08 時～18 時のように、24 時間制で記入してください。

家を出る時間

「7 時」の割合が 29.8% と最も高く、次いで 回答者数 = 245

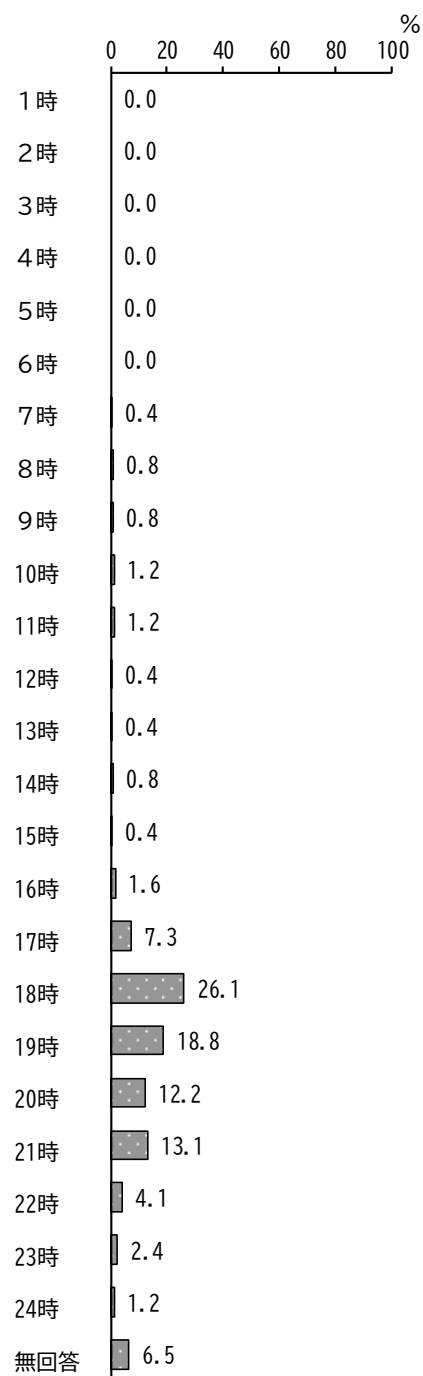
「6 時」の割合が 22.9%、「8 時」の割合が 20.4% となっています。



帰宅時間

「18 時」の割合が 26.1%と最も高く、次いで 回答者数 = 245

「19 時」の割合が 18.8%、「21 時」の割合が 13.1%
となっています。

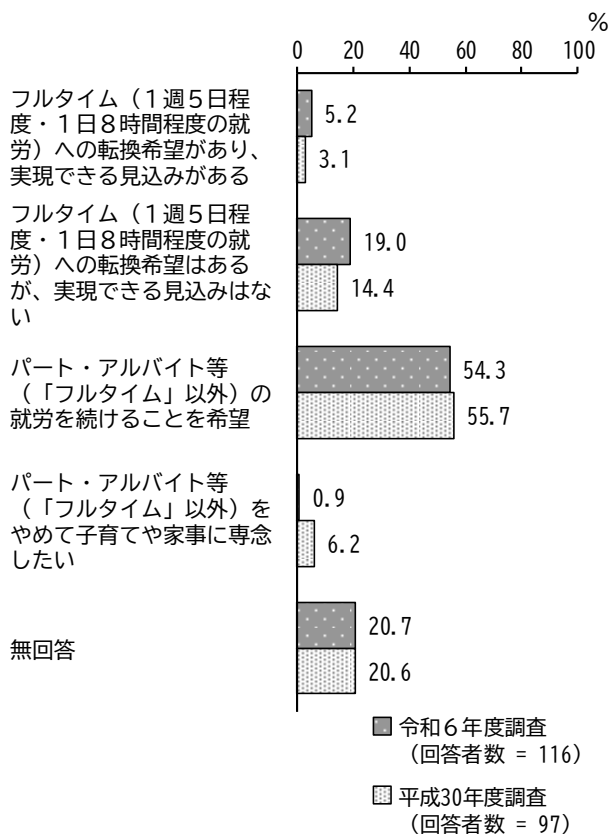


問12 問11の(1)または(2)で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」・「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である(パート・アルバイト等で就労している)に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が54.3%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が19.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が減少しています。



(2) 父親

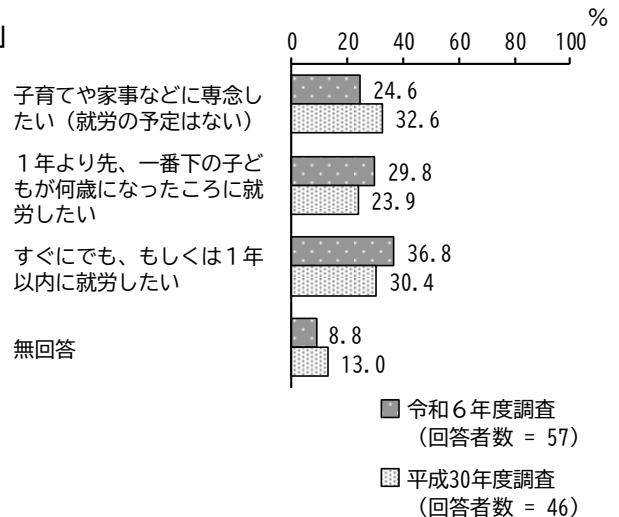
「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が1件となっています。

問13 問11の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に回答された方にうかがいます。
該当しない方は、問14へお進みください。
就労したいという希望はありますか。(それぞれ○は1つ)(□内に数字を記入)

(1) 母親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が36.8%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が29.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が24.6%となっています。

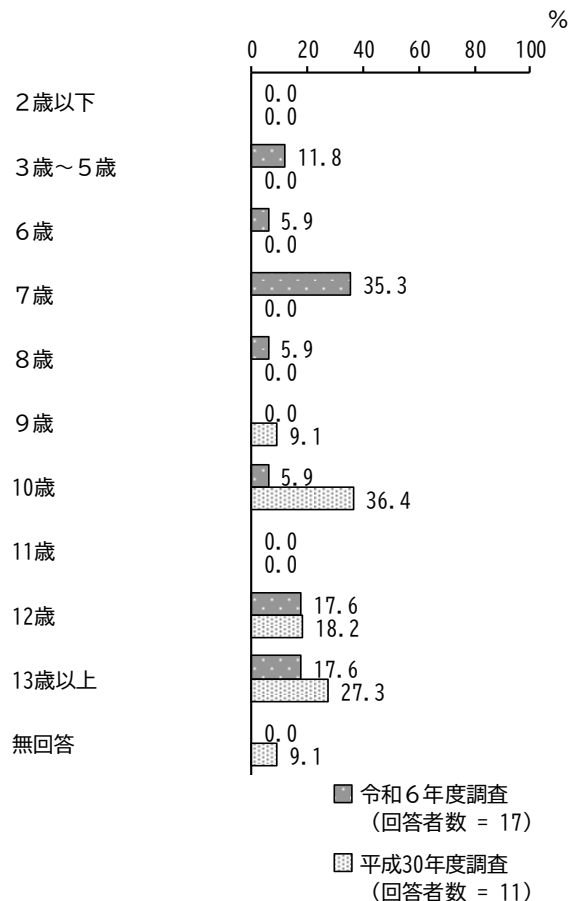
平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が減少しています。



就労したい時の末子の年齢

「7歳」の割合が35.3%と最も高く、次いで「12歳」「13歳以上」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3歳～5歳」「6歳」「7歳」「8歳」の割合が増加しています。一方、「9歳」「10歳」「13歳以上」の割合が減少しています。

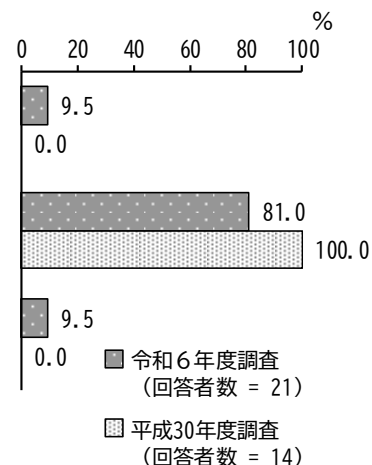


希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が9.5%、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」以外）」の割合が81.0%となっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」以外）

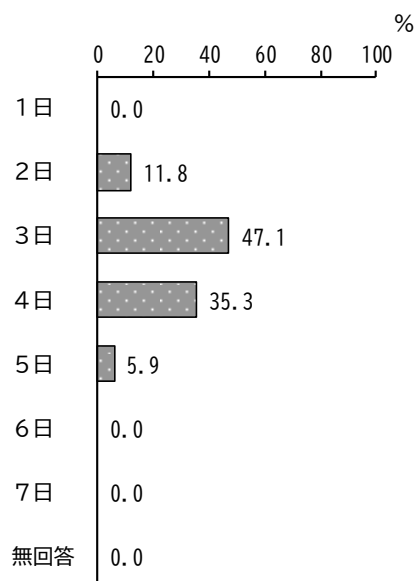
無回答



パートタイム、アルバイト等の1週当たりの希望日数

「3日」の割合が47.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が35.3%、「2日」の割合が11.8%となっています。

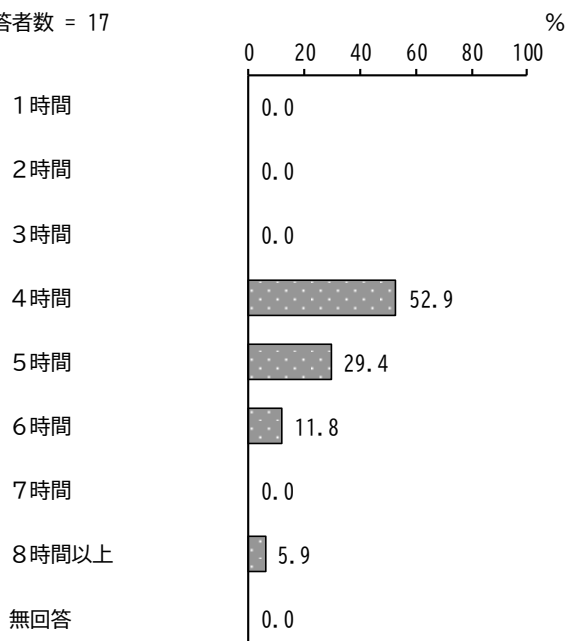
回答者数 = 17



パートタイム、アルバイト等の1日当たりの希望時間

「4時間」の割合が52.9%と最も高く、次いで「5時間」の割合が29.4%、「6時間」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 17



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

就労したい時の末子の年齢

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件となっています。

パートタイム、アルバイト等の1週当たりの希望日数

有効回答がありませんでした。

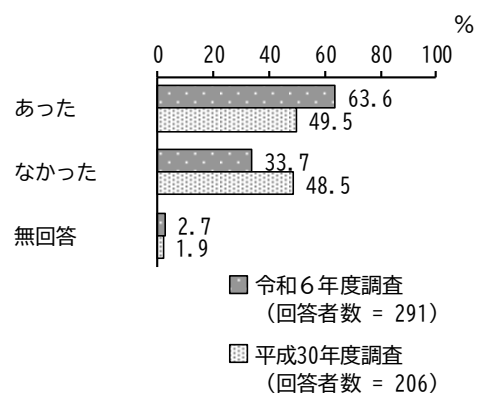
パートタイム、アルバイト等の1日当たりの希望時間

有効回答がありませんでした。

（５）お子さんの病気の際の対応について

問 14 この１年間にあて名のお子さんが病気やケガで通学できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 63.6%、「なかった」の割合が 33.7%となっています。



【子どもの学年別】

子どもの学年別にみると、小学２年生で「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体	291	63.6	33.7	2.7
小学１年生	30	60.0	40.0	—
小学２年生	42	71.4	28.6	—
小学３年生	46	69.6	30.4	—
小学４年生	64	64.1	32.8	3.1
小学５年生	53	56.6	39.6	3.8
小学６年生	55	60.0	32.7	7.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が高くなっています。

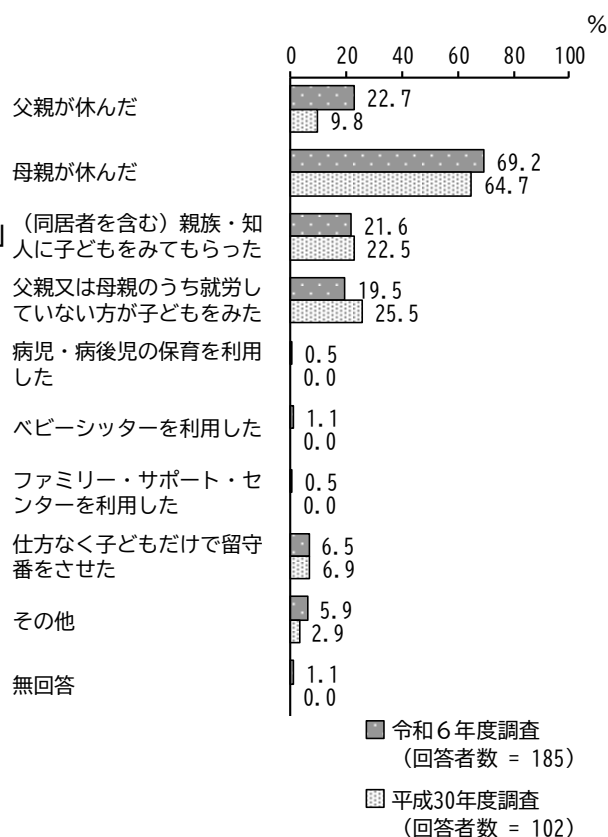
単位：％

区分	回答者数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体	285	63.9	33.3	2.8
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	97	70.1	27.8	2.1
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	100.0	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	113	58.4	37.2	4.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	66.7	—	33.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	54	61.1	38.9	—
これまで就労したことがない	3	66.7	33.3	—

問 14－1 あて名のお子さんが病気やけがで休んだ場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(〇はいくつでも) また、それぞれの日数もご記入ください(数字を記入)。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が69.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が22.7%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が21.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



【子どもの学年別】

子どもの学年別にみると、小学1年生で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	族・知人に子どもをみてもらった(同居者を含む) 親	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	185	22.7	69.2	21.6	19.5	0.5	1.1	0.5	6.5	5.9	1.1
小学1年生	18	33.3	83.3	27.8	11.1	5.6	5.6	—	—	—	—
小学2年生	30	23.3	56.7	20.0	26.7	—	—	—	—	20.0	—
小学3年生	32	21.9	65.6	25.0	25.0	—	3.1	—	6.3	3.1	—
小学4年生	41	19.5	73.2	22.0	22.0	—	—	—	2.4	2.4	2.4
小学5年生	30	26.7	70.0	33.3	13.3	—	—	3.3	13.3	3.3	3.3
小学6年生	33	18.2	72.7	6.1	12.1	—	—	—	15.2	6.1	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	族・知人に子どもを みてもらった (同居者を含む)親	父親又は母親のう ちが子どもをみた 方	病児・病後児の保育 を利用した
全 体	182	22.0	70.3	21.4	19.8	0.5
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	68	27.9	83.8	23.5	2.9	－
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	83.3	66.7	50.0	33.3	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	66	15.2	81.8	19.7	15.2	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	－	100.0	50.0	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	33	3.0	21.2	15.2	63.6	－
これまで就労したことがない	2	50.0	50.0	－	－	50.0

区分	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけを留守番をさせた	その他	無回答
全 体	1.1	0.5	6.0	6.0	1.1
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.5	1.5	10.3	8.8	－
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	－	－	6.1	6.1	1.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	－	－	－	3.0	3.0
これまで就労したことがない	50.0	－	－	－	－

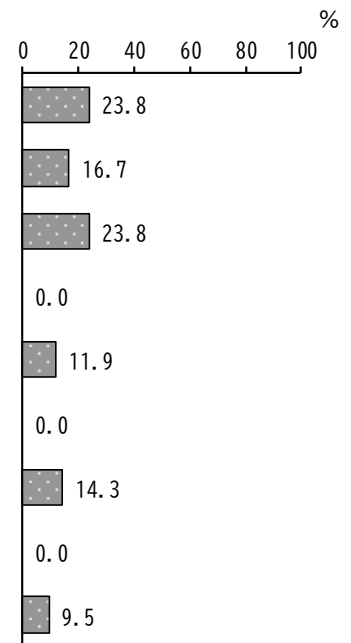
年間日数

父親が休んだ

「1日」、「3日」の割合が23.8%と最も高く、
次いで「2日」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 42

1日	23.8
2日	16.7
3日	23.8
4日	0.0
5日	11.9
6日～9日	0.0
10日～19日	14.3
20日以上	0.0
無回答	9.5

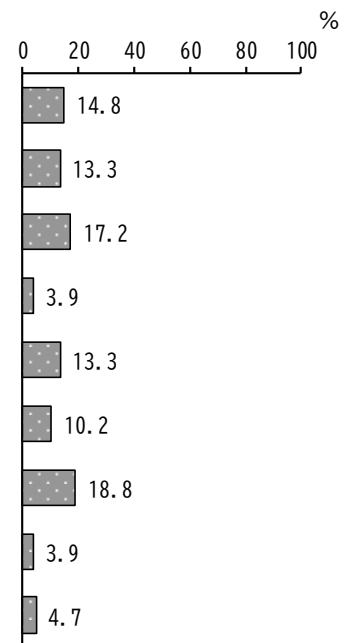


母親が休んだ

「10日～19日」の割合が18.8%と最も高く、
次いで「3日」の割合が17.2%、「1日」の割合
が14.8%となっています。

回答者数 = 128

1日	14.8
2日	13.3
3日	17.2
4日	3.9
5日	13.3
6日～9日	10.2
10日～19日	18.8
20日以上	3.9
無回答	4.7

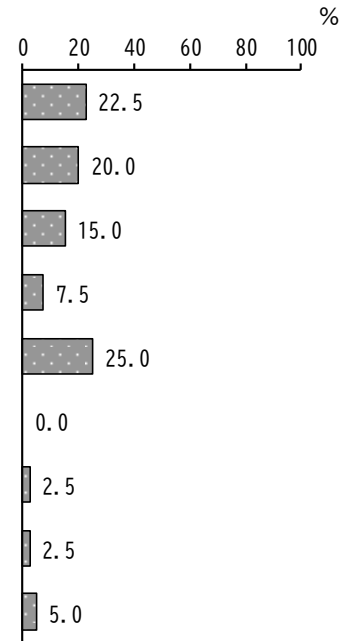


(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「5日」の割合が 25.0%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 22.5%、「2日」の割合が 20.0%
となっています。

回答者数 = 40

1日
2日
3日
4日
5日
6日～9日
10日～19日
20日以上
無回答

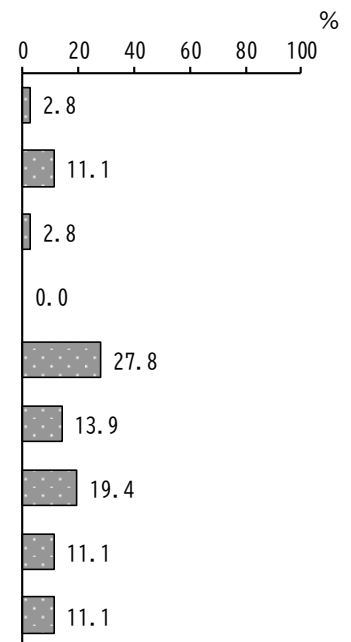


父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

「5日」の割合が 27.8%と最も高く、次いで
「10日～19日」の割合が 19.4%、「6日～9日」
の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 36

1日
2日
3日
4日
5日
6日～9日
10日～19日
20日以上
無回答



病児・病後児の保育を利用した

「2日」が1件となっています。

ベビーシッターを利用した

「4日」が1件となっています。

ファミリー・サポート・センターを利用した

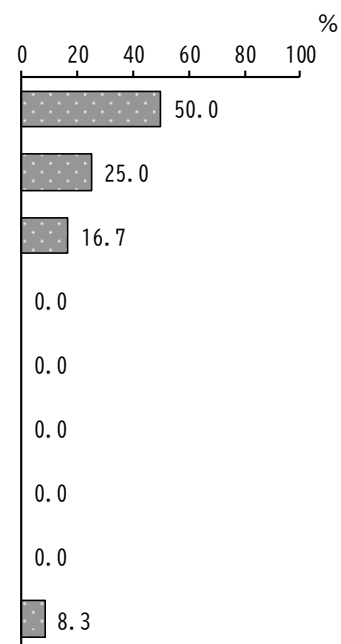
「5日」が1件となっています。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 25.0%、「3日」の割合が 16.7%
となっています。

回答者数 = 12

1日
2日
3日
4日
5日
6日～9日
10日～19日
20日以上
無回答

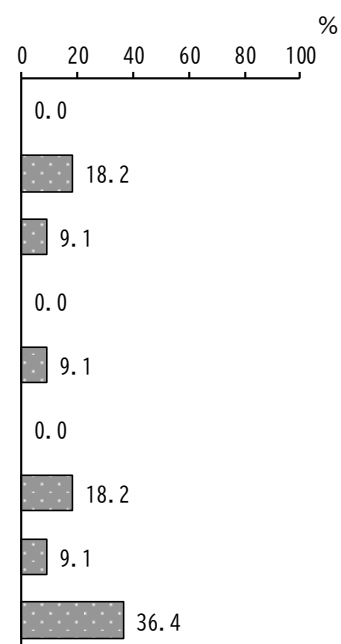


その他

「2日」、「10日～19日」の割合が 18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11

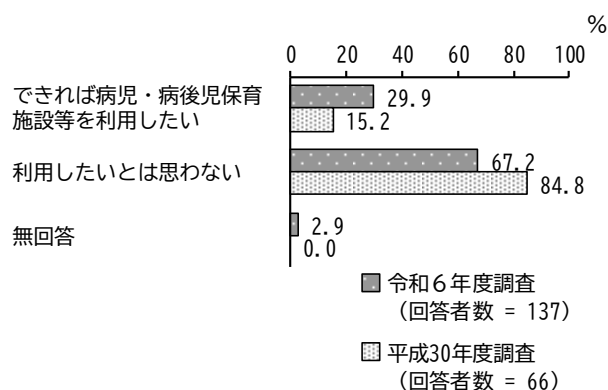
1日
2日
3日
4日
5日
6日～9日
10日～19日
20日以上
無回答



問 14－2 問 14－1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(○は1つ) また、その日数もご記入ください。(数字を記入)

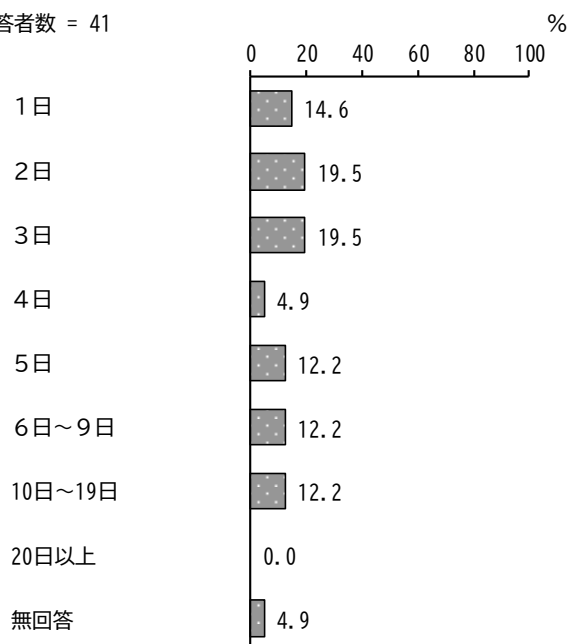
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 29.9%、「利用したいとは思わない」の割合が 67.2%となっています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2日」「3日」の割合が 19.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が 14.6%となっています。

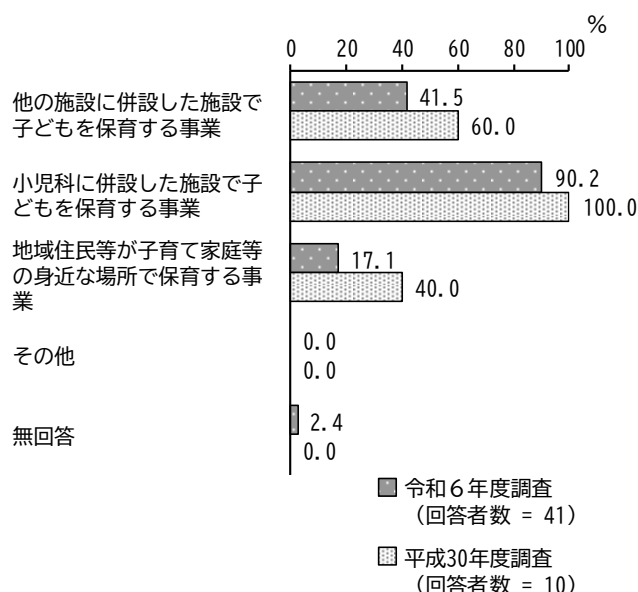
回答者数 = 41



問 14－3 問 14－2で「できれば、病児・病後児保育施設等を利用したい」に回答された方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が90.2%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が41.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が17.1%となっています。

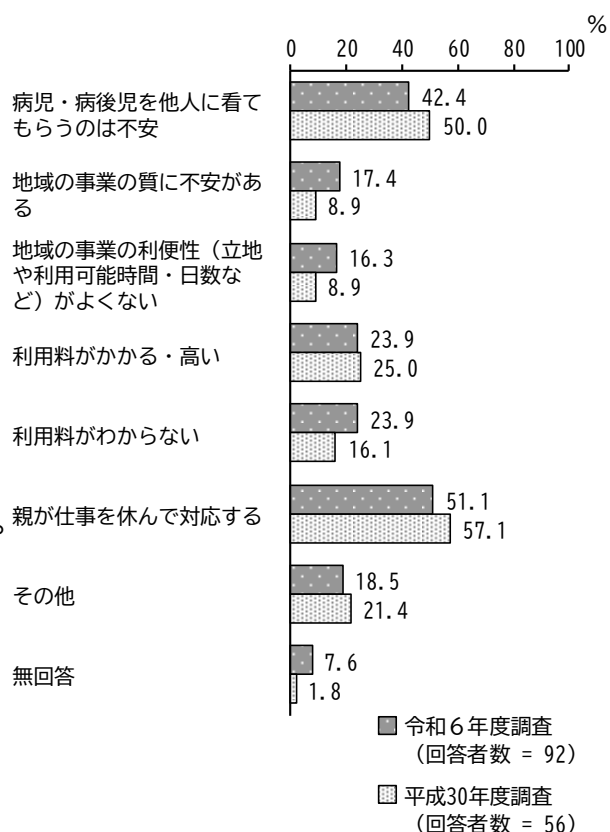
平成30年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が減少しています。



問 14－4 問 14－2で「利用したいと思わない」に回答された方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

「親が仕事を休んで対応する」の割合が51.1%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が42.4%、「利用料がかかる・高い」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域の事業の質に不安がある」「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」「利用料がかかる・高い」「利用料がわからない」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。

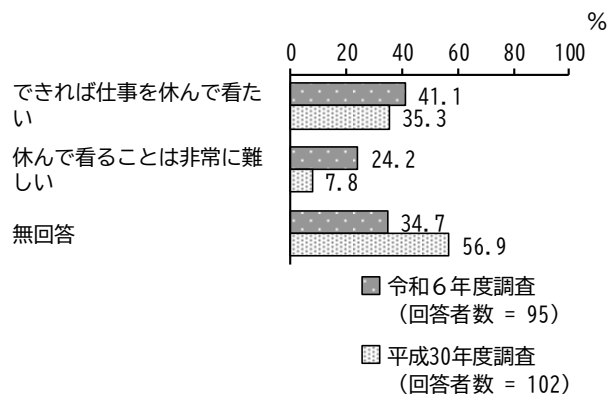


問 14-5 問 14-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかに回答された方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

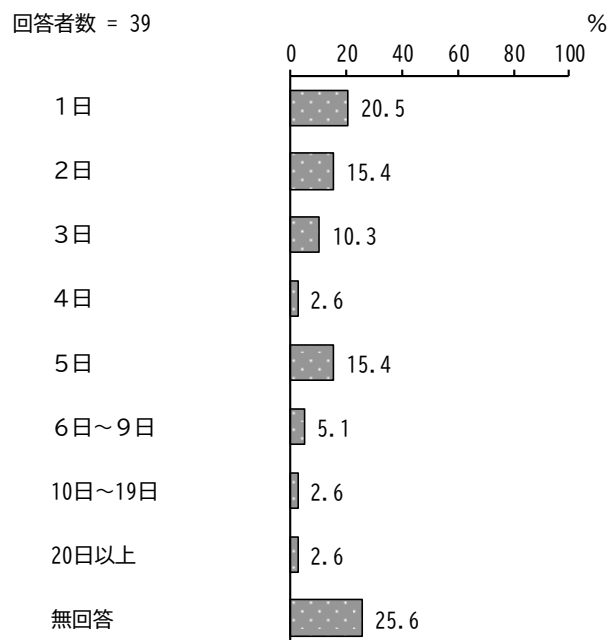
(○は1つ) また、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもお記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が41.1%、「休んで看することは非常に難しい」の割合が24.2%となっています。



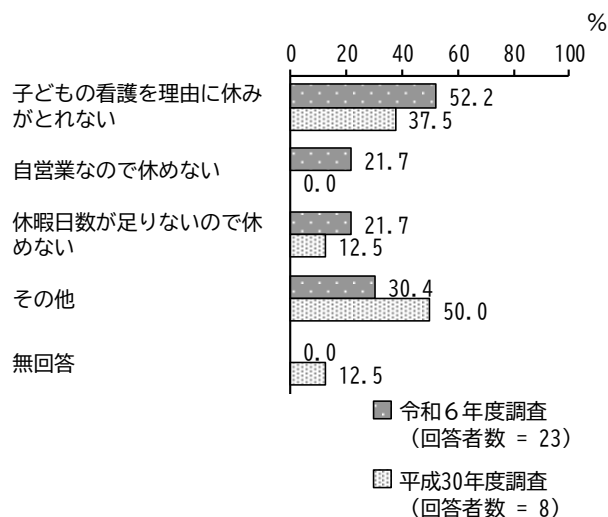
できれば仕事を休んで看たい日数

「1日」の割合が20.5%と最も高く、次いで「2日」、「5日」の割合が15.4%となっています。



問 14-6 問 14-5で「休んで看することは非常に難しい」に回答された方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が52.2%と最も高く、次いで「自営業なので休めない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が21.7%となっています。

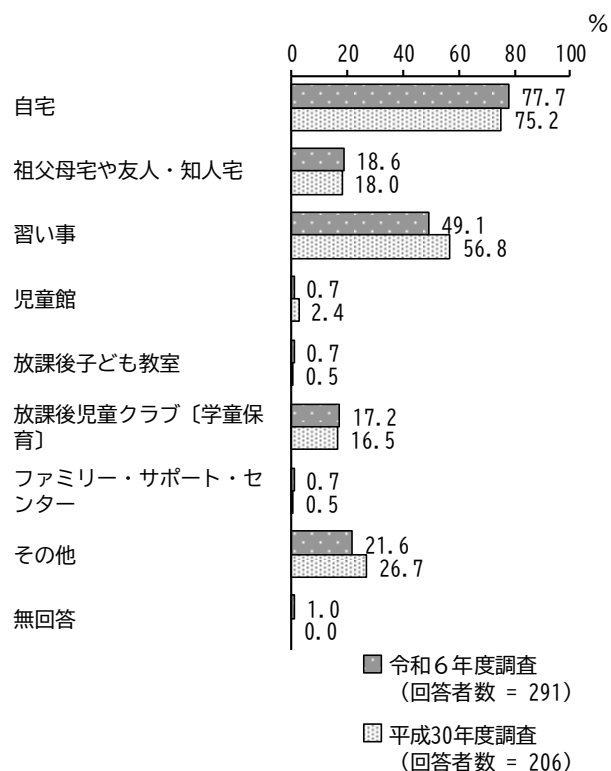


(6) お子さんの放課後の過ごし方について

問 15 あて名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。（○はいくつでも）また、それぞれ利用している週当たり日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）

「自宅」の割合が 77.7%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 49.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 18.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「習い事」の割合が減少しています。

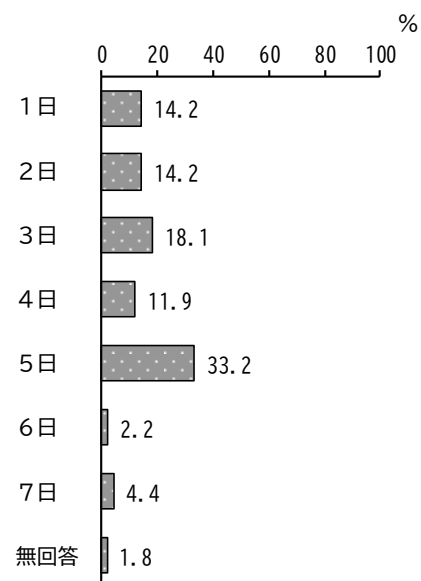


利用している日数

自宅

「5日」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が 18.1%、「1日」、「2日」の割合が 14.2%となっています。

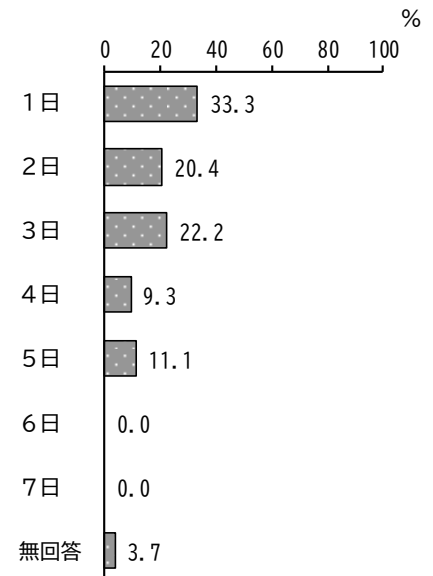
回答者数 = 226



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 22.2%、「2日」の割合が 20.4%
となっています。

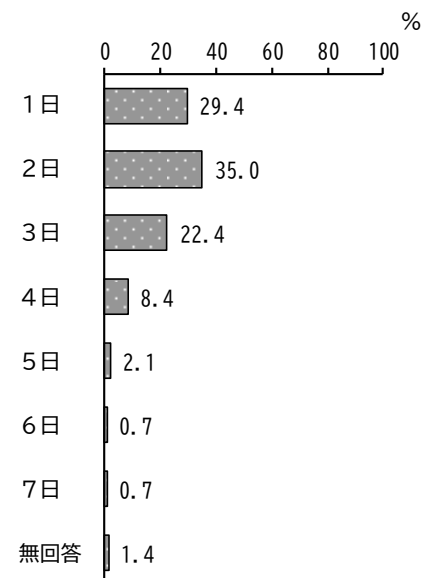
回答者数 = 54



習い事

「2日」の割合が 35.0%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 29.4%、「3日」の割合が 22.4%
となっています。

回答者数 = 143



児童館

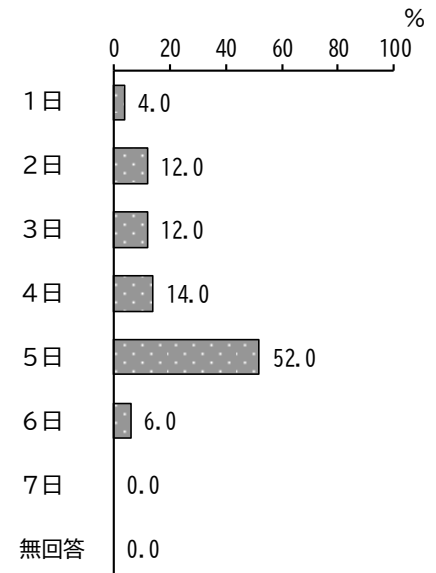
「1日」が2件となっています。

放課後子ども教室

有効回答がありませんでした。

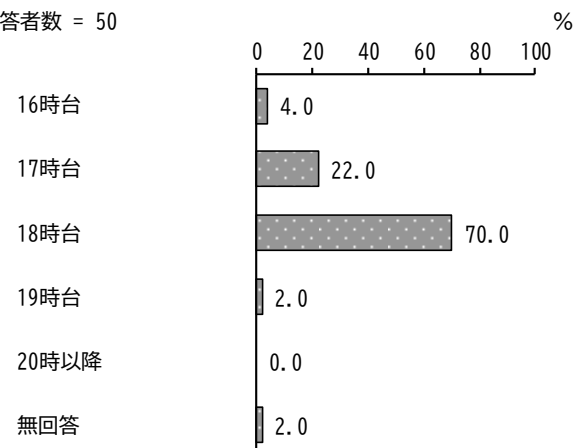
放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」の割合が 52.0%と最も高く、次いで 回答者数 = 50
「4日」の割合が 14.0%、「2日」、「3日」の割合が 12.0%となっています。



放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.0%となっています。 回答者数 = 50



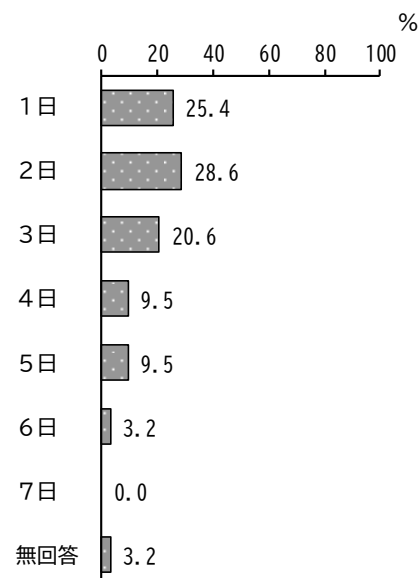
ファミリー・サポート・センター

「1日」、「6日」が1件となっています。

その他

「2日」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が 25.4%、「3日」の割合が 20.6%となっています。

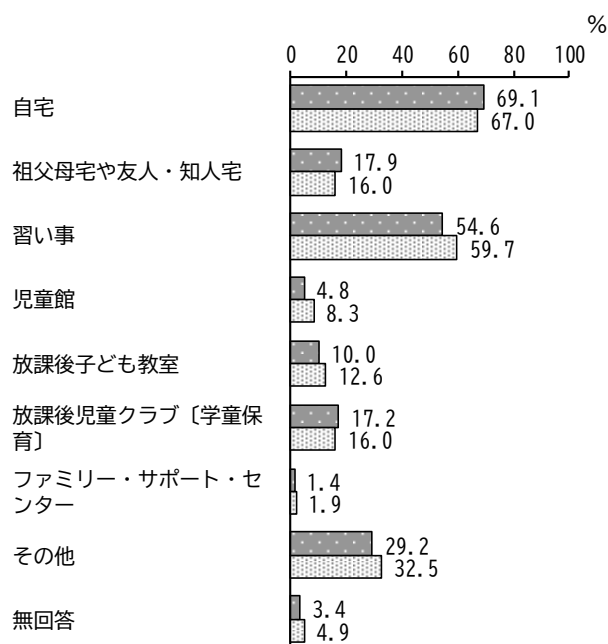
回答者数 = 63



問 16 今後、あて名のお子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また、それぞれ利用したい週当たり日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間をご記入ください。（数字を記入）

「自宅」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 54.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「習い事」の割合が減少しています。



■ 令和6年度調査
(回答者数 = 291)

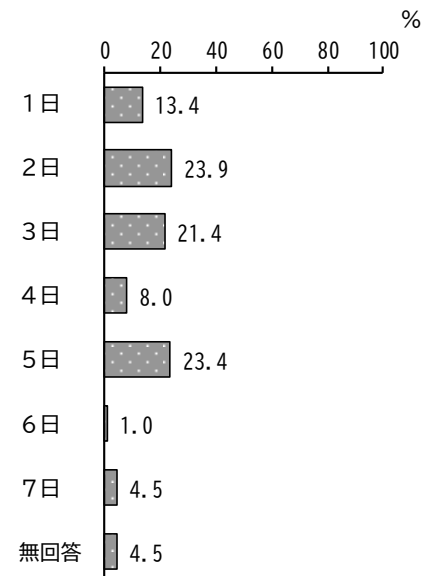
□ 平成30年度調査
(回答者数 = 206)

利用している日数

自宅

「2日」の割合が 23.9%と最も高く、次いで
「5日」の割合が 23.4%、「3日」の割合が 21.4%
となっています。

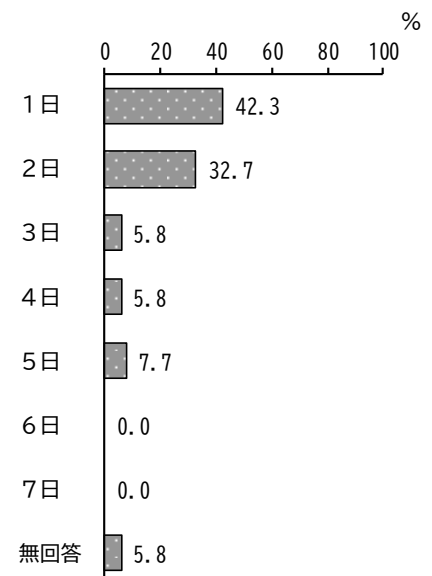
回答者数 = 201



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 42.3%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 32.7%となっています。

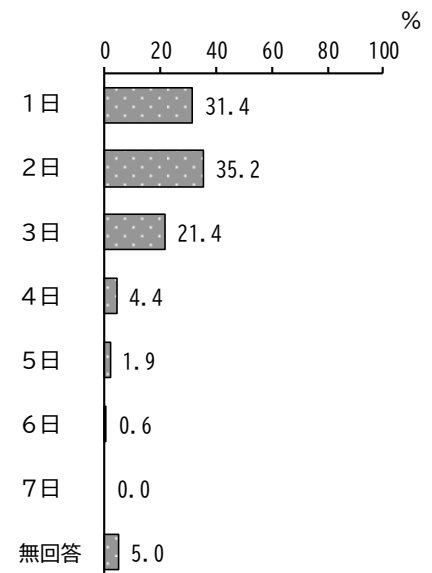
回答者数 = 52



習い事

「2日」の割合が 35.2%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 31.4%、「3日」の割合が 21.4%
となっています。

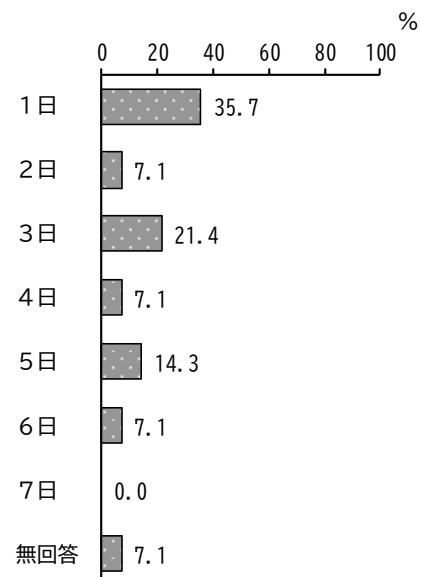
回答者数 = 159



児童館

「1日」の割合が 35.7%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 21.4%、「5日」の割合が 14.3%
となっています。

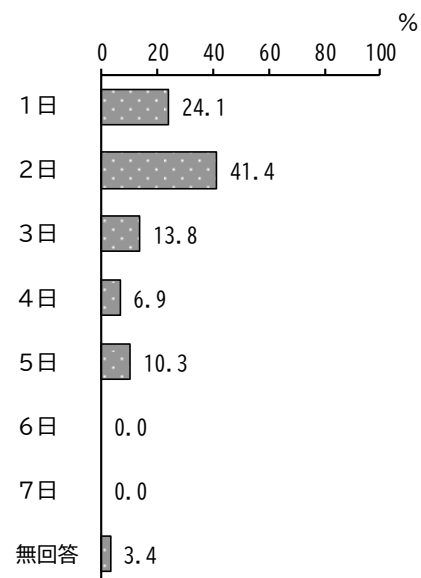
回答者数 = 14



放課後子ども教室

「2日」の割合が 41.4%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 24.1%、「3日」の割合が 13.8%
となっています。

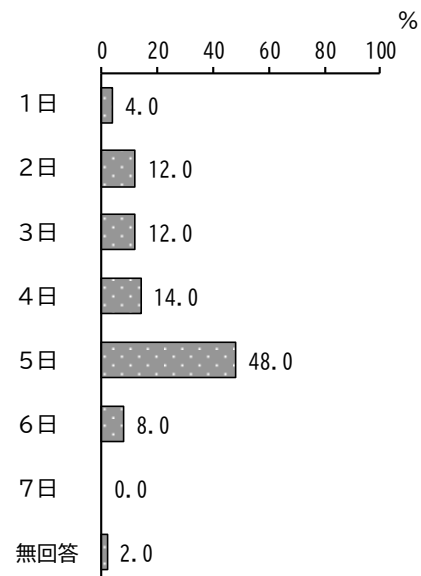
回答者数 = 29



放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」の割合が 48.0%と最も高く、次いで
「4日」の割合が 14.0%、「2日」、「3日」の割
合が 12.0%となっています。

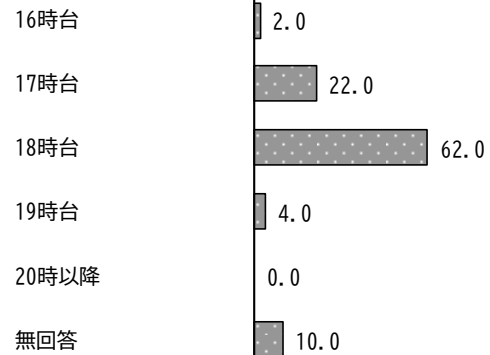
回答者数 = 50



放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.0%となっています。

回答者数 = 50



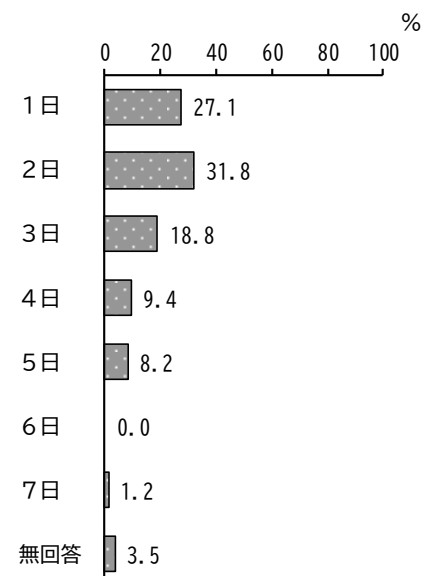
ファミリー・サポート・センター

「1 日」が 2 件、「4 日」、「6 日」が 1 件となっています。

その他

「2 日」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「1 日」の割合が 27.1%、「3 日」の割合が 18.8%となっています。

回答者数 = 85

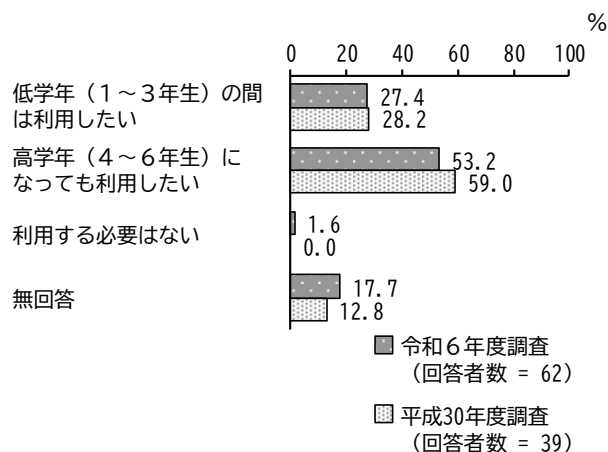


問 17 問 15 または問 16 で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に回答された方にうかがいます。
 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望をご記入ください。
 ((1)～(3) それぞれに○は1つ) また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(数字を記入)

(1) 平日

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 27.4%となっています。

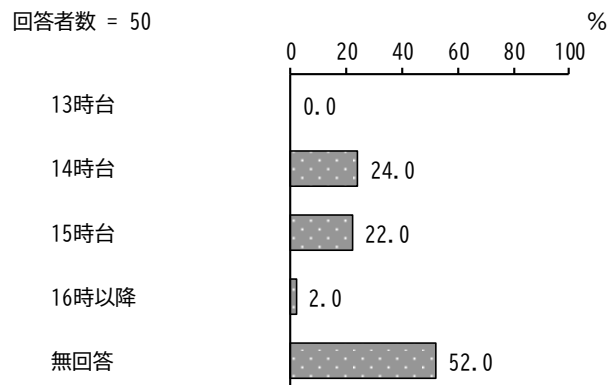
平成 30 年度調査と比較すると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が減少しています。



利用したい時間帯

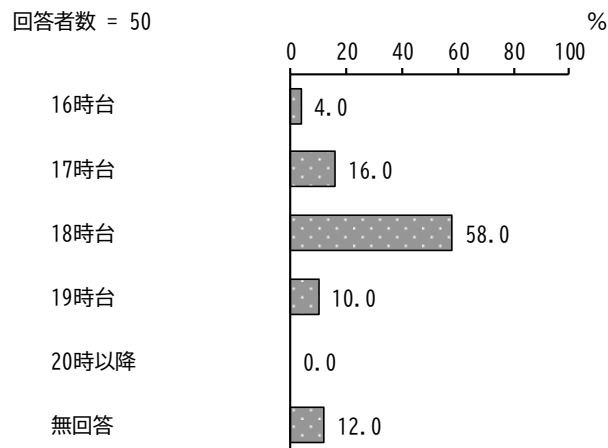
開始時刻

「14 時台」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 22.0%となっています。



終了時刻

「18 時台」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 16.0%、「19 時台」の割合が 10.0%となっています。

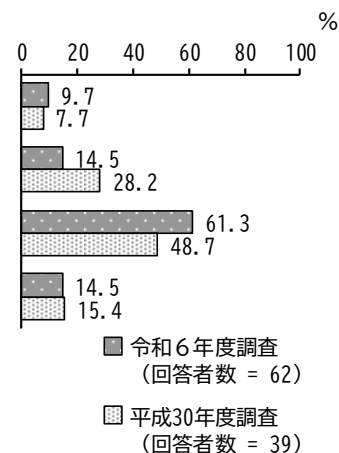


(2) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が61.3%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用する必要はない
無回答



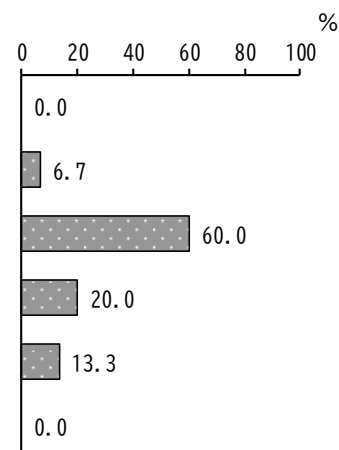
利用したい時間帯

開始時刻

「8時台」の割合が60.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.0%、「10時以降」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 15

7時より前
7時台
8時台
9時台
10時以降
無回答

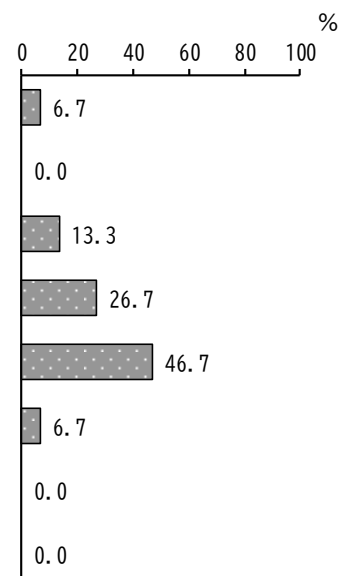


終了時刻

「18時台」の割合が46.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.7%、「16時台」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 15

15時より前
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時以降
無回答

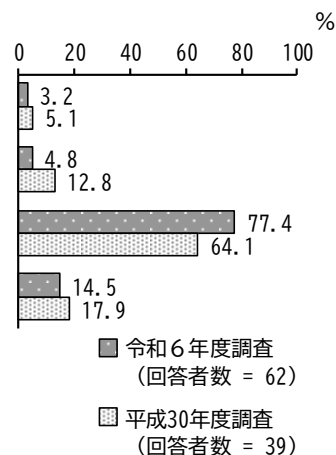


(3) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が77.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用する必要はない
無回答



利用したい時間帯

開始時刻

「8時台」が4件、「9時台」が1件となっています。

終了時刻

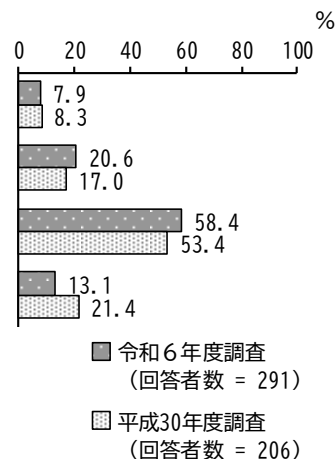
「18時台」が4件、「17時台」が1件となっています。

問18 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ）事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09時～18時のように、24時間制で記入してください。

「利用する必要はない」の割合が58.4%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が20.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用する必要はない
無回答



利用したい時間帯

開始時刻

「8 時台」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 30.1%、「7 時台」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 83

7 時より前

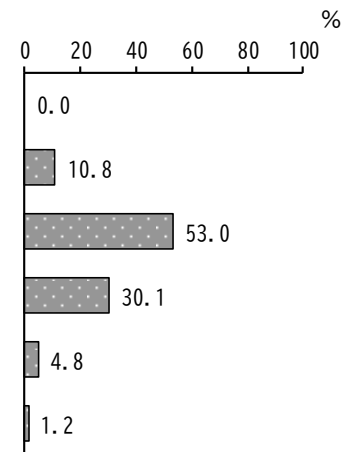
7 時台

8 時台

9 時台

10 時以降

無回答



終了時刻

「18 時台」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.3%、「15 時台」の割合が 12.0%となっています。

回答者数 = 83

15 時より前

15 時台

16 時台

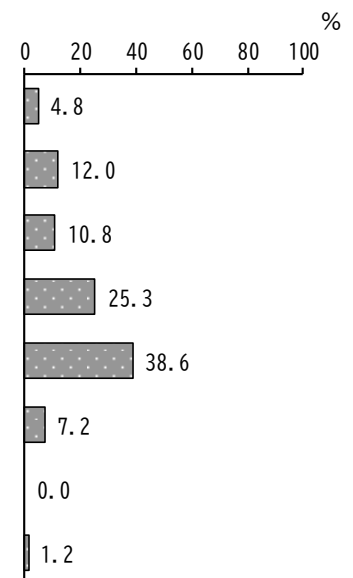
17 時台

18 時台

19 時台

20 時以降

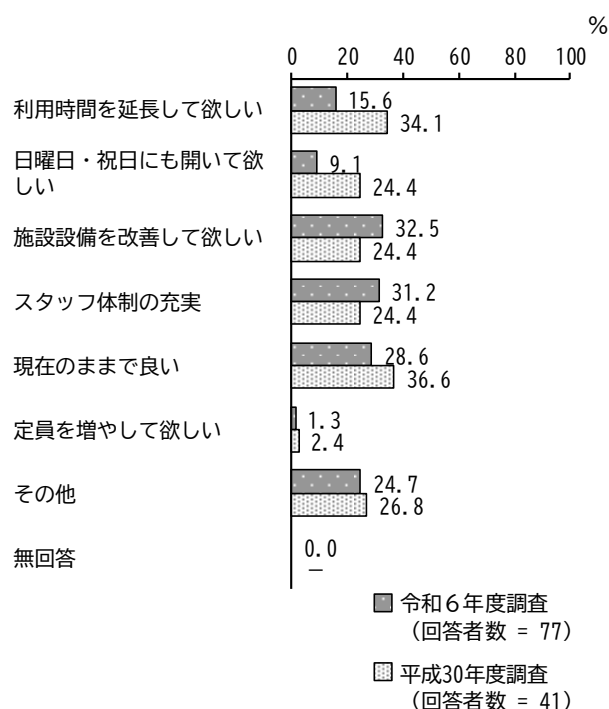
無回答



問 19 放課後児童クラブを利用している、または、利用したことがある方にうかがいます。
改善希望はありますか。(〇はいくつでも)

「施設設備を改善して欲しい」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「スタッフ体制の充実」の割合が 31.2%、「現在のままで良い」の割合が 28.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「施設設備を改善して欲しい」「スタッフ体制の充実」の割合が増加しています。一方、「利用時間を延長して欲しい」「日曜日・祝日にも開いて欲しい」「現在のままで良い」の割合が減少しています。

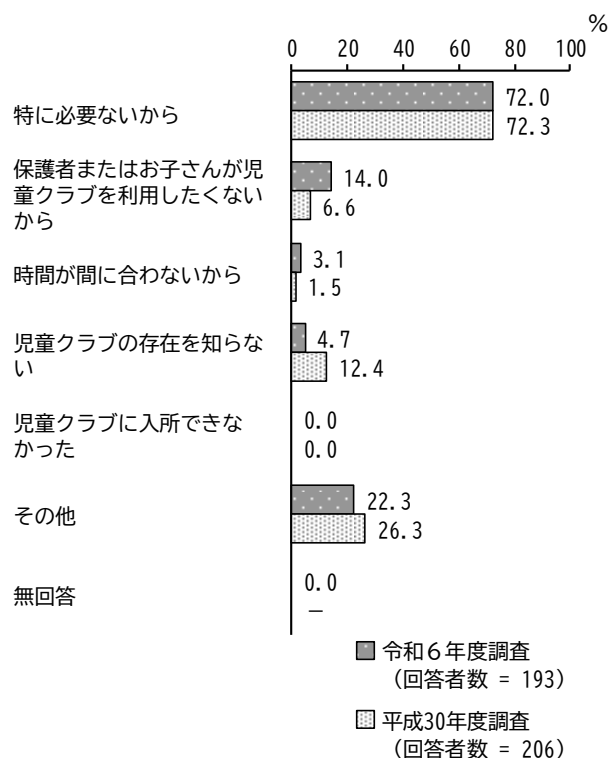


※問 19 は、無回答を除外して算出しています。

問 20 放課後児童クラブを利用したことがない方にうかがいます。
利用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「特に必要ないから」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「保護者またはお子さんが児童クラブを利用したくないから」の割合が 14.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保護者またはお子さんが児童クラブを利用したくないから」の割合が増加しています。一方、「児童クラブの存在を知らない」の割合が減少しています。



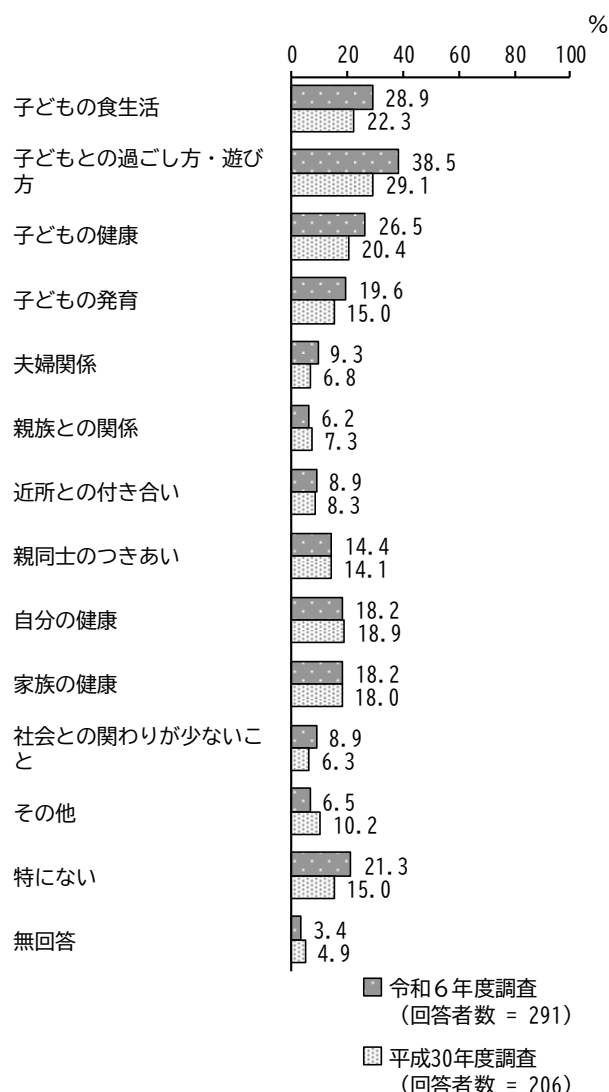
※問 20 は、無回答を除外して算出しています。

(7) 三浦市の子育て環境について

問 21 現在、子育てをしていて感じている悩みは何ですか。(〇はいくつでも)

「子どもとの過ごし方・遊び方」の割合が38.5%と最も高く、次いで「子どもの食生活」の割合が28.9%、「子どもの健康」の割合が26.5%となっています。

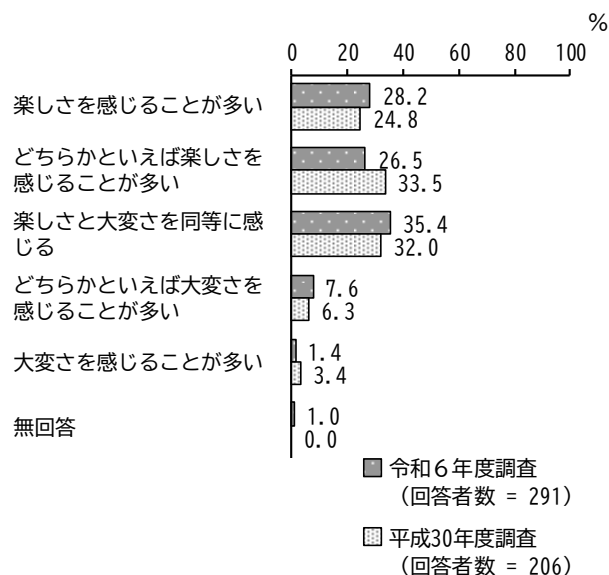
平成30年度調査と比較すると、「子どもの食生活」「子どもとの過ごし方・遊び方」「子どもの健康」「特にない」の割合が増加しています。



問 22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。(〇は1つ)

「楽しさと大変さを同等に感じる」の割合が35.4%と最も高く、次いで「楽しさを感じる人が多い」の割合が28.2%、「どちらかといえば楽しさを感じる人が多い」の割合が26.5%となっています。

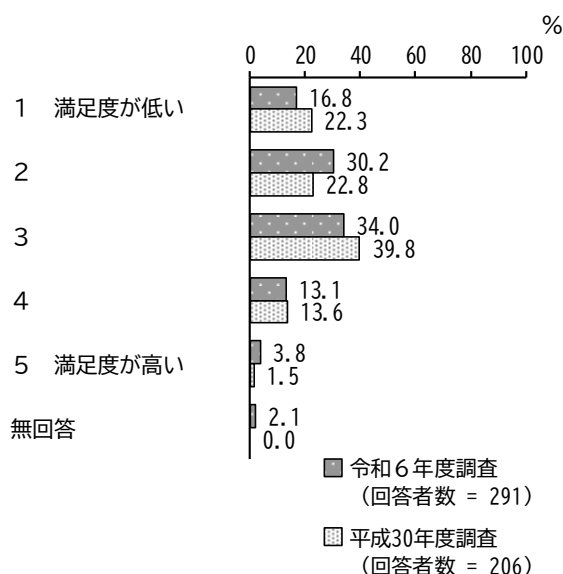
平成30年度調査と比較すると、「どちらかといえば楽しさを感じる人が多い」の割合が減少しています。



問 23 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。
(○は1つ)

「3」の割合が34.0%と最も高く、次いで「2」の割合が30.2%、「1 満足度が低い」の割合が16.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2」の割合が増加しています。一方、「1 満足度が低い」「3」の割合が減少しています。

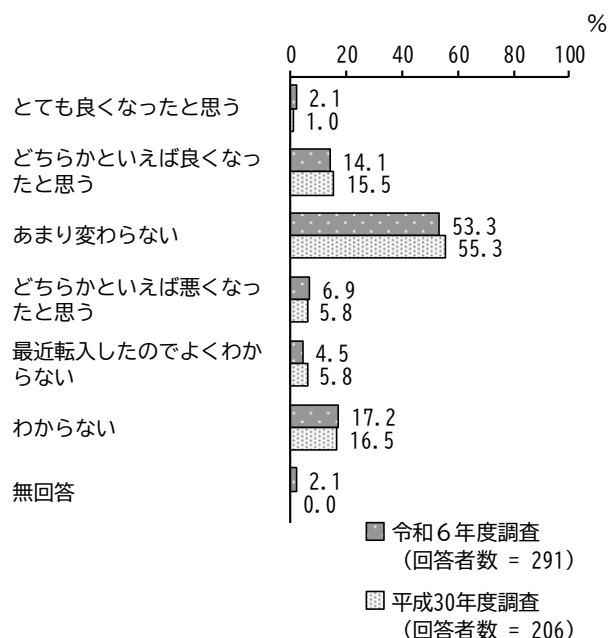


※平成30年度調査では、「2」の選択肢が「満足度がやや低い」に、「3」の選択肢が「満足度は普通」に、「4」の選択肢が「満足度がやや高い」になっていました。

問 24 以前（5年前程度）と比べ、三浦市の子育て環境は良くなったと思いますか。
(○は1つ)

「あまり変わらない」の割合が53.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.2%、「どちらかといえば良くなったと思う」の割合が14.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

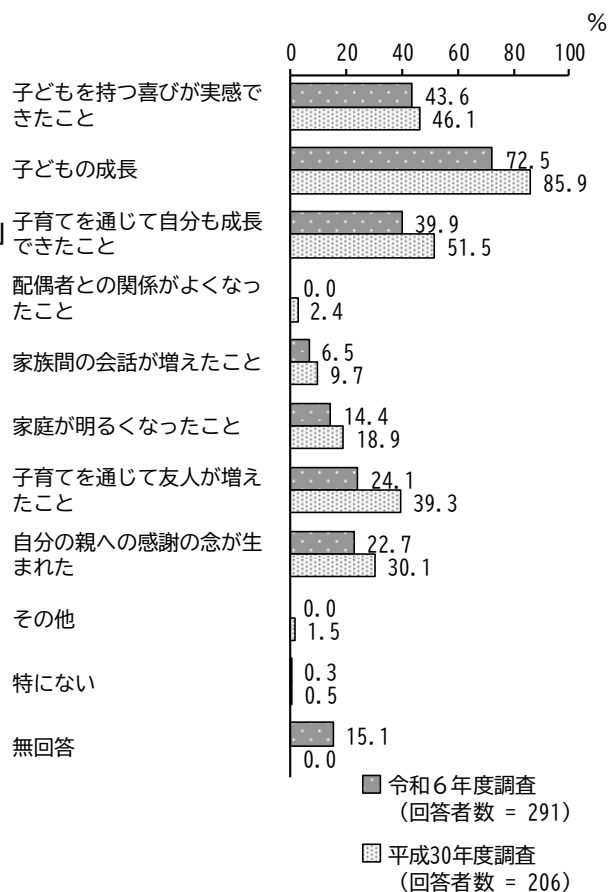


※平成30年度調査の「どちらかといえば悪くなったと思う」の数値は、「どちらかといえば悪くなったと思う」と「とても悪くなったと思う」の合計値です。

問 25 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。(○は3つまで)

「子どもの成長」の割合が 72.5%と最も高く、
次いで「子どもを持つ喜びが実感できたこと」の
割合が 43.6%、「子育てを通じて自分も成長でき
たこと」の割合が 39.9%となっています。

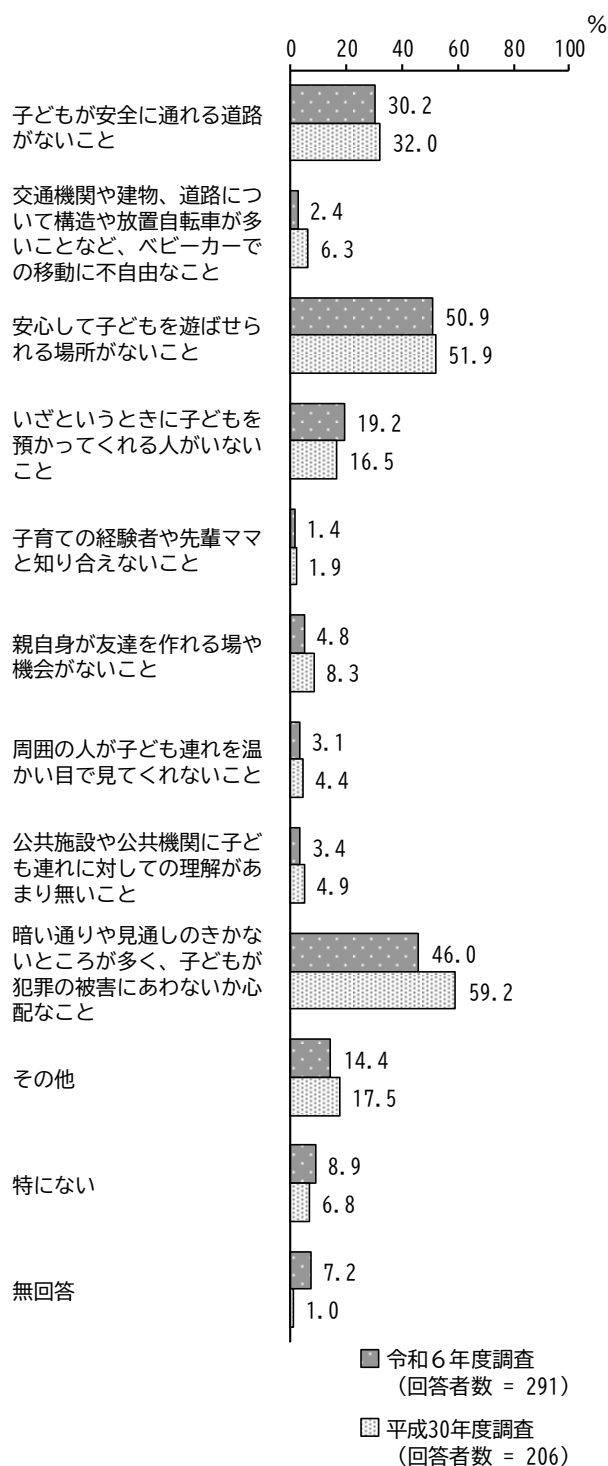
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの成長」
「子育てを通じて自分も成長できたこと」「子育て
を通じて友人が増えたこと」「自分の親への感
謝の念が生まれた」の割合が減少しています。



問 26 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。
(〇は3つまで)。

「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」の割合が 46.0%、「子どもが安全に通れる道路がないこと」の割合が 30.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」の割合が減少しています。



問 27 こどもまんなか社会（こどもたちにとって何が最も良いことなのかを常に考える社会）の実現に向かっていていると思いますか。（○は1つ）

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が31.3%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 291

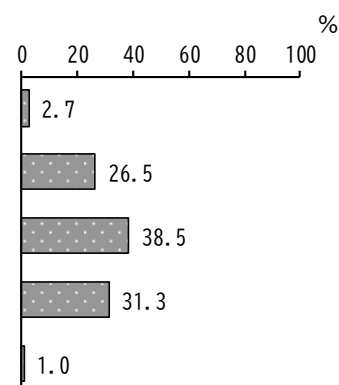
そう思う

どちらかといえば、そう思う

どちらかといえば、そう思わない

そう思わない

無回答



問 28 「こどもは権利の主体である」と思いますか。（○は1つ）

「どちらかといえば、そう思う」の割合が39.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が31.6%、「どちらかといえば、そう思わない」の割合が16.5%となっています。

回答者数 = 291

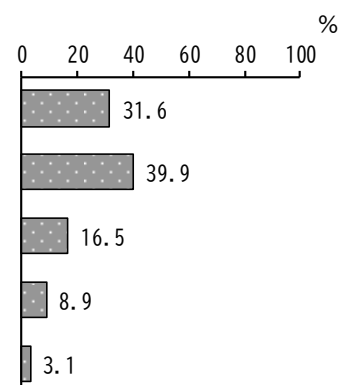
そう思う

どちらかといえば、そう思う

どちらかといえば、そう思わない

そう思わない

無回答



問 29 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか。（○は1つ）

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が35.4%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が31.6%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が29.2%となっています。

回答者数 = 291

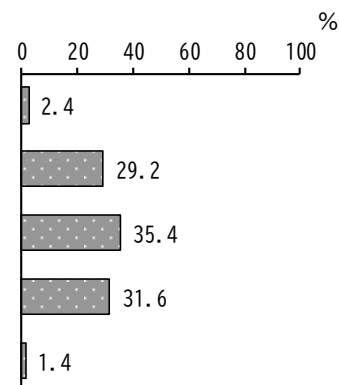
そう思う

どちらかといえば、そう思う

どちらかといえば、そう思わない

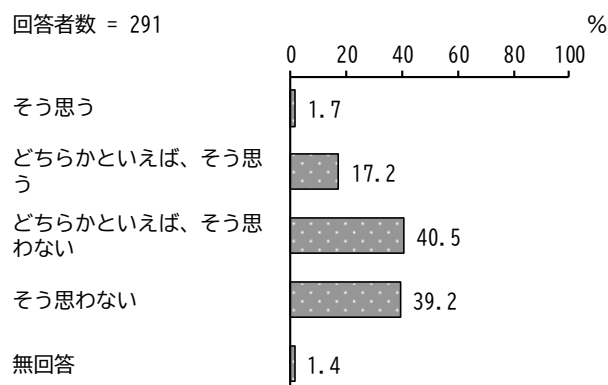
そう思わない

無回答



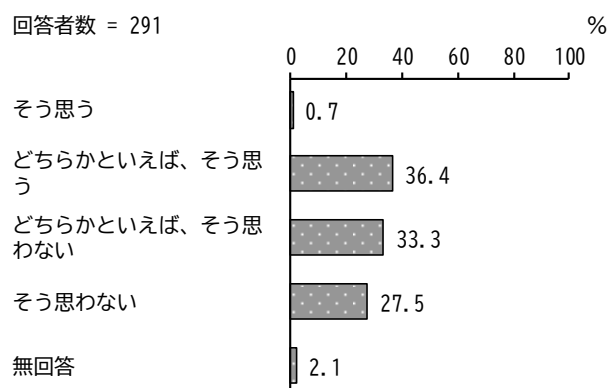
問 30 あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思わない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が39.2%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が17.2%となっています。



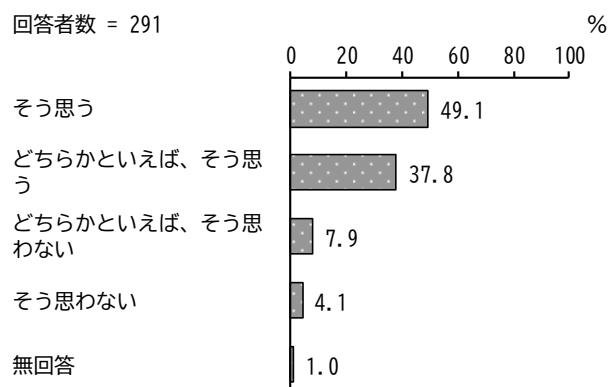
問 31 障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されていると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」の割合が36.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」の割合が33.3%、「そう思わない」の割合が27.5%となっています。



問 32 「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。(○は1つ)

「そう思う」の割合が49.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が37.8%となっています。

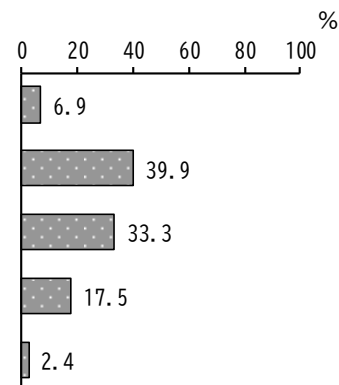


問 33 保護者の子育てが地域で支えられていると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」の割合が39.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」の割合が33.3%、「そう思わない」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 291

そう思う
どちらかといえば、そう思う
どちらかといえば、そう思わない
そう思わない
無回答

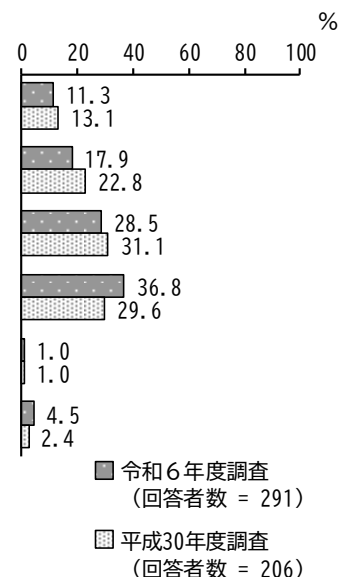


問 34 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。(○は1つ)

「会えばあいさつぐらいはする」の割合が36.8%と最も高く、次いで「たまに立ち話ぐらいはする」の割合が28.5%、「気のあった人と親しくしている」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「会えばあいさつぐらいはする」の割合が増加しています。

困ったとき相談したり、助け合ったりする
気のあった人と親しくしている
たまに立ち話ぐらいはする
会えばあいさつぐらいはする
顔もよく知らない
無回答

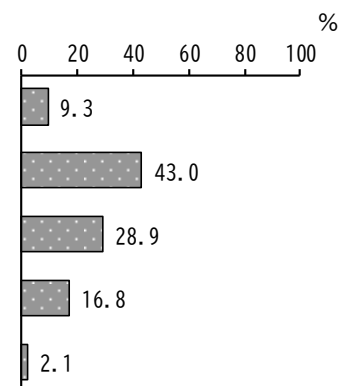


問 35 社会において、共働き・共育て（家庭内で男女ともに仕事や家事、子育てに参画すること）が推進されていると思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」の割合が43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」の割合が28.9%、「そう思わない」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 291

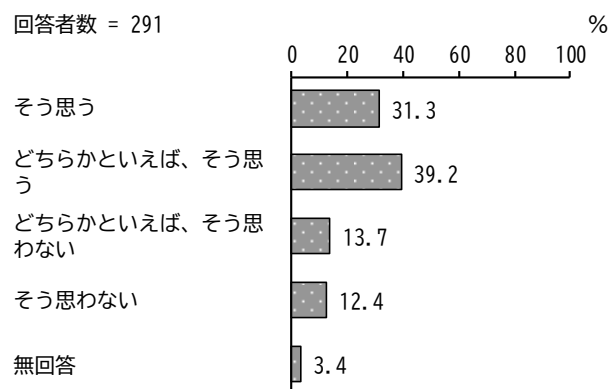
そう思う
どちらかといえば、そう思う
どちらかといえば、そう思わない
そう思わない
無回答



問 36 妊娠・出産について満足していますか。(○は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」の割合が39.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が31.3%、「どちらかといえば、そう思わない」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 291

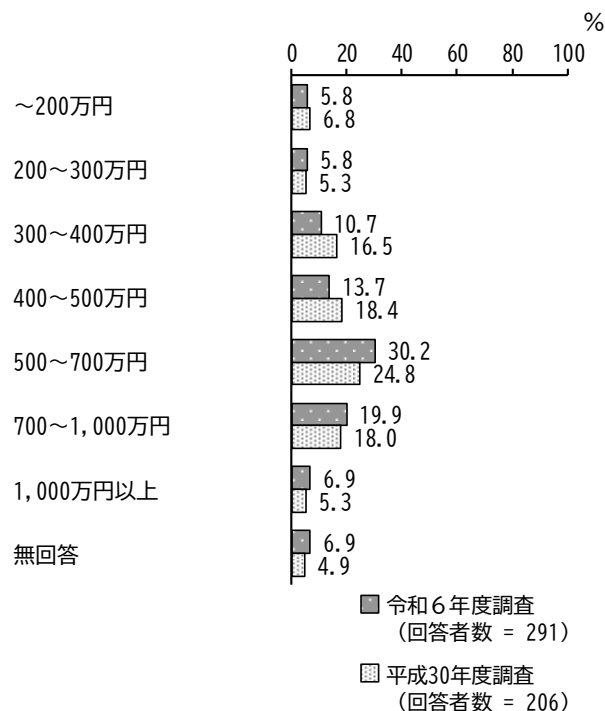


(8) お子さんの子育てにかかる費用等について

問 37 世帯の年収をおうかがいします。(○は1つ)

「500～700 万円」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「700～1,000 万円」の割合が 19.9%、「400～500 万円」の割合が 13.7%となっています。

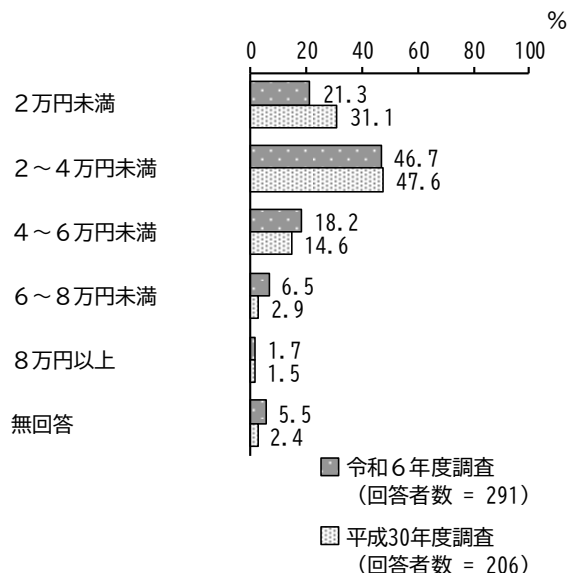
平成 30 年度調査と比較すると、「500～700 万円」の割合が増加しています。一方、「300～400 万円」の割合が減少しています。



問 38 あて名のお子さんの子育てにかかっている費用は1カ月いくら位ですか。(○は1つ)

「2～4万円未満」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「2万円未満」の割合が 21.3%、「4～6万円未満」の割合が 18.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2万円未満」の割合が減少しています。



三浦市

子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査
結果報告書

令和6年11月

三浦市 保健福祉部 子ども課
〒238-0298
神奈川県三浦市城山町1番1号
電話 046-882-1111（代表）内線 365
E-Mail : hoken0701@city.miura.kanagawa.jp